

令和7年度生活満足度調査 中間報告

令和8年3月13日
柏市地域医療推進課

在宅医療・介護連携の評価指標のひとつである

生活満足度調査(利用者・家族対象)および**医療・介護サービス従事者調査**
を今年度を実施します。

【参考】前回調査

生活満足度調査(H30年度, R1年度, R4年度)

医療従事者調査(H30年度)

介護サービス従事者調査(H30年度, R1年度, R4年度)

在宅医療・介護連携の評価指標

アウトカム指標		利用者・家族の生活満足度 医療・介護サービス従事者満足度 在宅療養率
活動状況・ 連携状況	プロセス 指標	在宅医療の認知度 場所別の死亡割合（死亡小票分析） 入退院時の連携（退院時共同指導料，退院調整加算， 介護支援連携指導料）
提供体制等		最期を迎えたい場所の希望割合 在宅医療・介護サービスの実績 （医科，歯科，薬剤，看護，リハビリ，定期巡回等）
	ストラク チャー 指標	訪問診療を行う診療所数 訪問歯科診療を行う診療所数 訪問薬剤指導を行う薬局数 訪問看護ステーション数，訪問リハビリ事業所数 居宅介護支援事業所数，訪問介護事業所数 地域密着型サービス数，高齢者入所施設数 等

※平成30年度第1回多職種連携協議会資料より

生活満足度調査(利用者・家族対象) 地域医療推進課実施

目的

在宅医療を利用する市民とその家族の生活満足度等を確認し、柏市在宅医療・介護連携推進事業の評価として活用する(概ね3年毎に実施)

対象

介護保険被保険者のうち、何らかの介護保険サービスを利用している者(利用者)とその家族

回答状況

【本人】
配布数:3,128通 回収数:1,671通(回答率53.4%) 有効回答数:1,234通(有効回答率39.5%)
【家族】
配布数:3,128通 回収数:1,521通(回答率48.6%) 有効回答数:1,510通(有効回答率48.3%)

時期

令和7年10月14日(火)～令和7年11月4日(火)

内容

質問数:20問
質問内容:主観的健康観, 主観的幸福感, 生活満足度, 抑うつに関する設問,
介護・医療サービスへの満足度, 意向に関する設問,
生活満足度の向上に寄与すると考えられる要因。(※) ※新設した質問

調査方法

- ・利用者宛に家族分を同封して郵送。回答は、利用者と家族が返信用封筒を分けて返送していただく。
- ・利用者が自力で記入できない場合は、家族等が聞き取りにより代筆可能(推測しての代筆は不可)。

	医療従事者調査 地域医療推進課実施	介護サービス従事者調査 高齢者支援課調査の中で実施
目的	在宅医療に携わる医療従事者および介護従事者の満足度等を確認し、柏市在宅医療・介護連携推進事業の評価として活用する(概ね3年毎に実施)	
対象	在宅医療に関わる医療従事者 医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 薬剤師, 診療所看護師, 管理栄養士等	介護保険サービス従事者 介護支援専門員, 訪問介護員, 介護職員, 生活(支援)相談員・福祉用具相談員, 訪問看護師, 施設看護師, 保健師, リハビリ職等
時期	令和7年9月1日(月)～令和7年9月30日(火)	令和7年9月12日(金)～令和7年10月14日(火)
回答数 (回答率)	91名／約1,814名(5.0%)	1,041名／約8,000名(13.0%)
内容	仕事および生活満足度, 医療・介護連携, 自分事化, 意向に沿った支援に関する 質問 20問程度	<該当部分> 仕事および生活満足度, 医療・介護連携, 自分事化, 意向に沿った支援に関する 質問9問程度
調査 方法	回答フォームURLが入った依頼文等を郵送し, Webで回答いただく	

1 生活満足度調査

I 本人調査

○調査概要

対象	…介護保険被保険者のうち、何らかの介護保険サービスを利用している者3,128名
方法	…郵送
実施期間	…R7.10.14～R7.11.4
回収数	…1,671通(回収率53.4%)
有効回答数	…1,234通(有効回答率39.5%)

【設問】

Q1・Q2 アンケート記入者・・・7～8ページ

Q3 記入者が家族の場合の続柄と年齢・・・9～10ページ

Q4 健康状態・・・11ページ

Q5 幸福度・・・12ページ

Q6 生活満足度・・・13ページ

Q7 憂鬱・・・14ページ

Q8 興味関心・・・15ページ

Q9・Q10・Q11 サービス満足度・・・16～18ページ

Q12 食事・痛み・住宅環境の清潔さ・在宅生活の安心感に関する満足度・・・19～22ページ

Q13・Q14 相談相手・・・23～24ページ

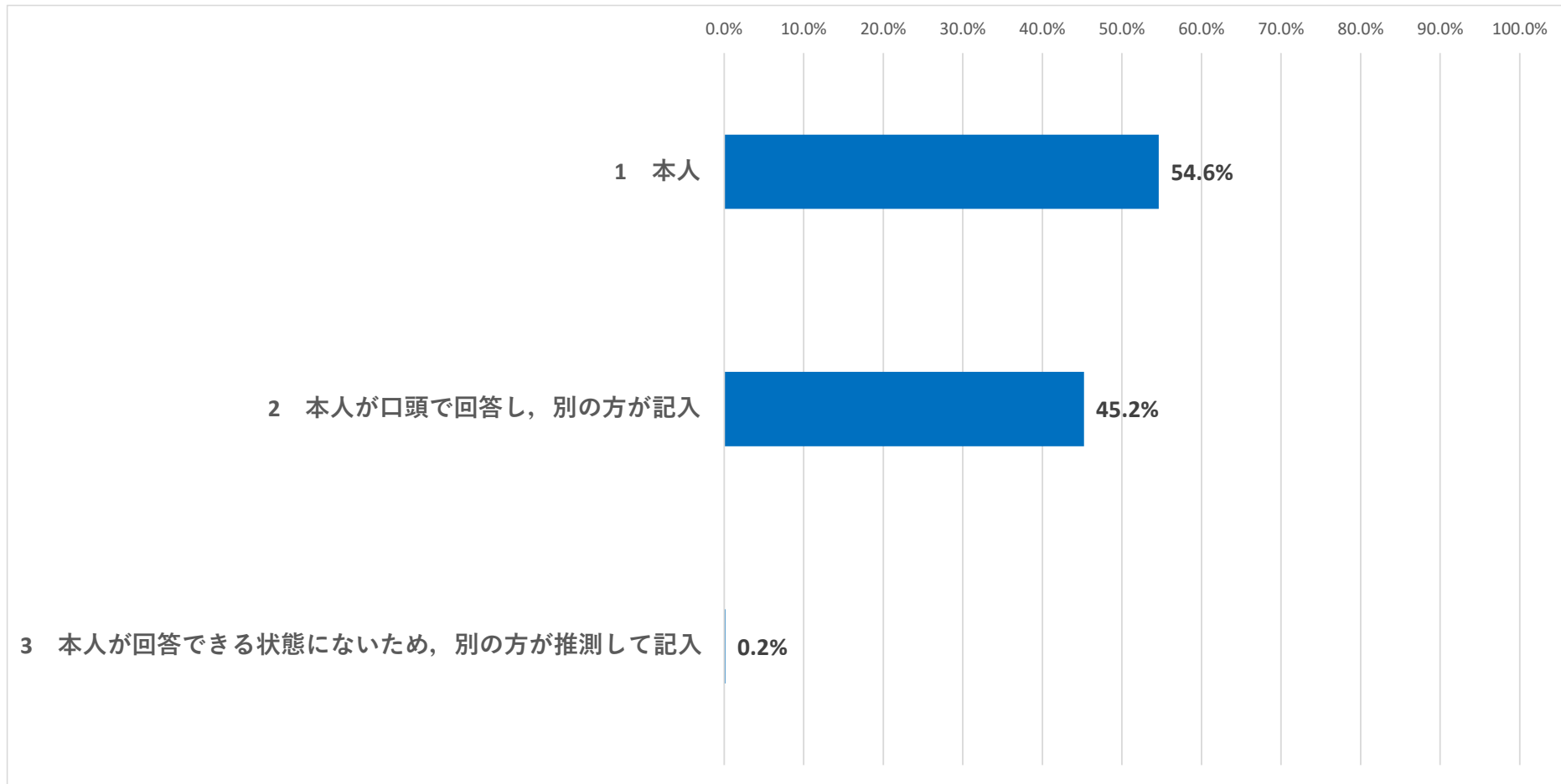
Q15・Q16・Q17 意向伝達・・・25～27ページ

Q18・Q19・Q20 望む暮らし・・・28～30ページ

I 本人調査

Q1 このアンケートにはどなたが記入されていますか

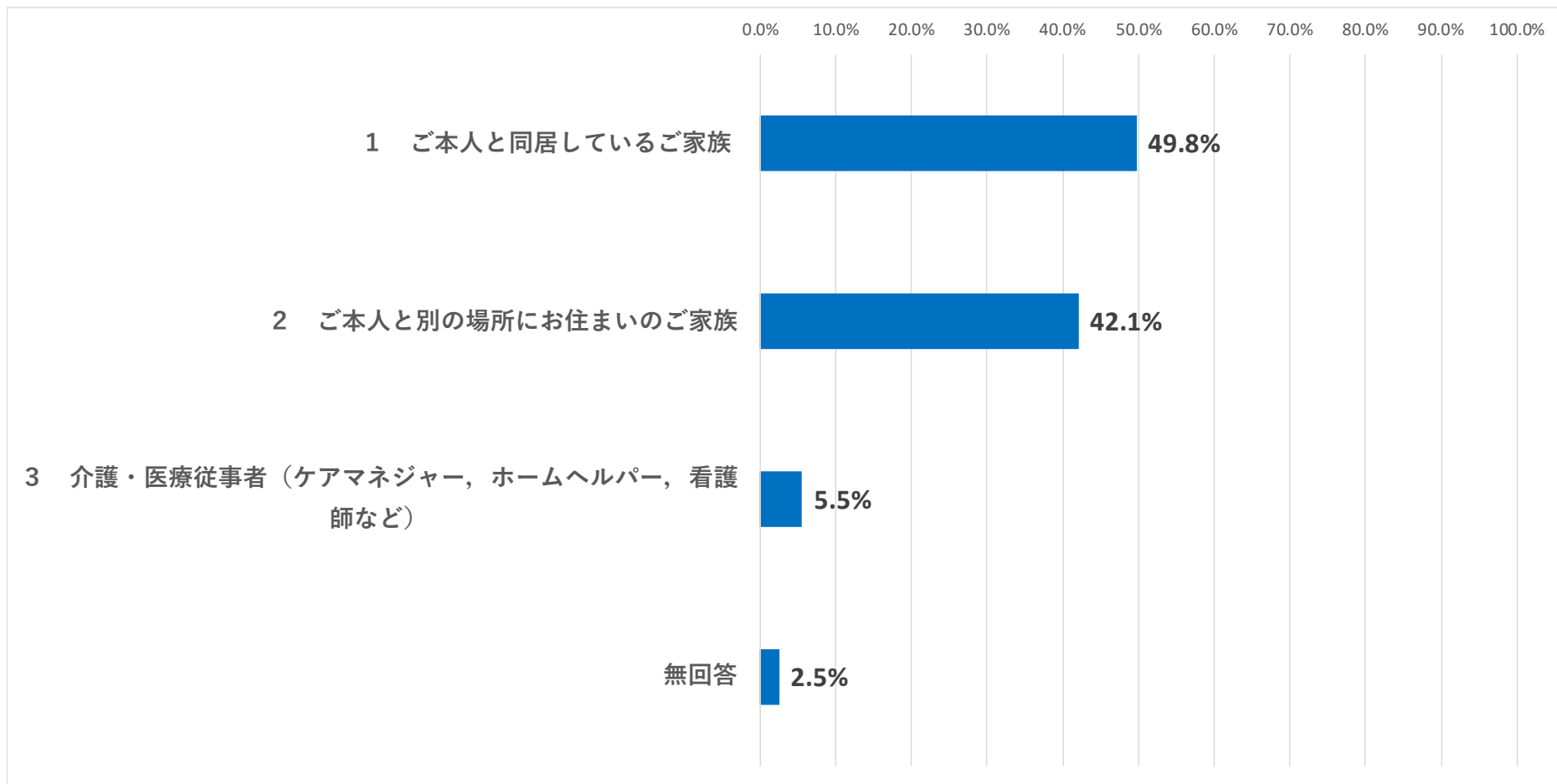
回答者数=1,234



I 本人調査

Q2 ご本人以外の方が記入されている場合、 その方のお立場をお答えください

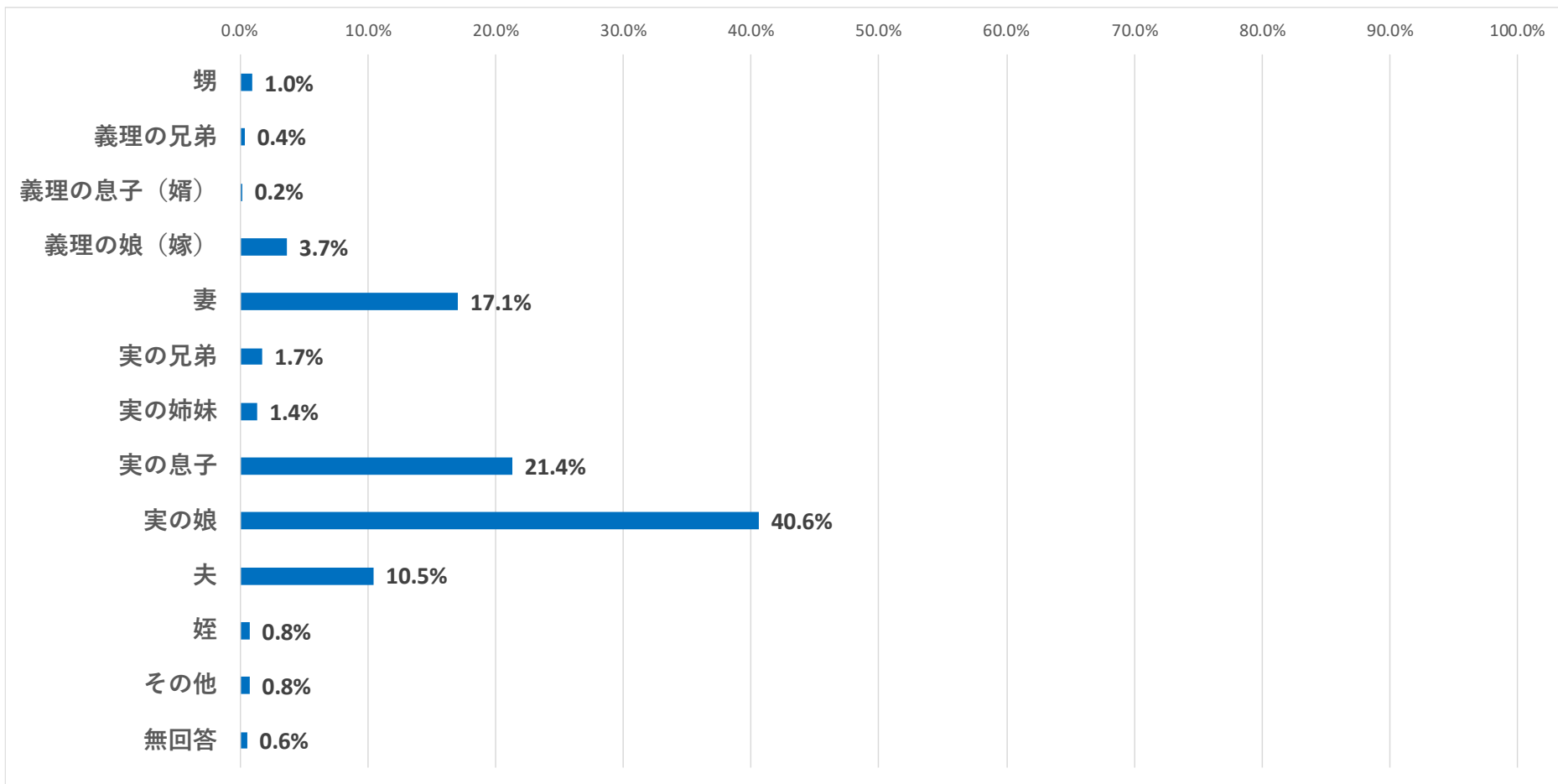
回答者数=560



I 本人調査

Q3 ご家族が記入されている場合, 続柄と年齢を教えてください

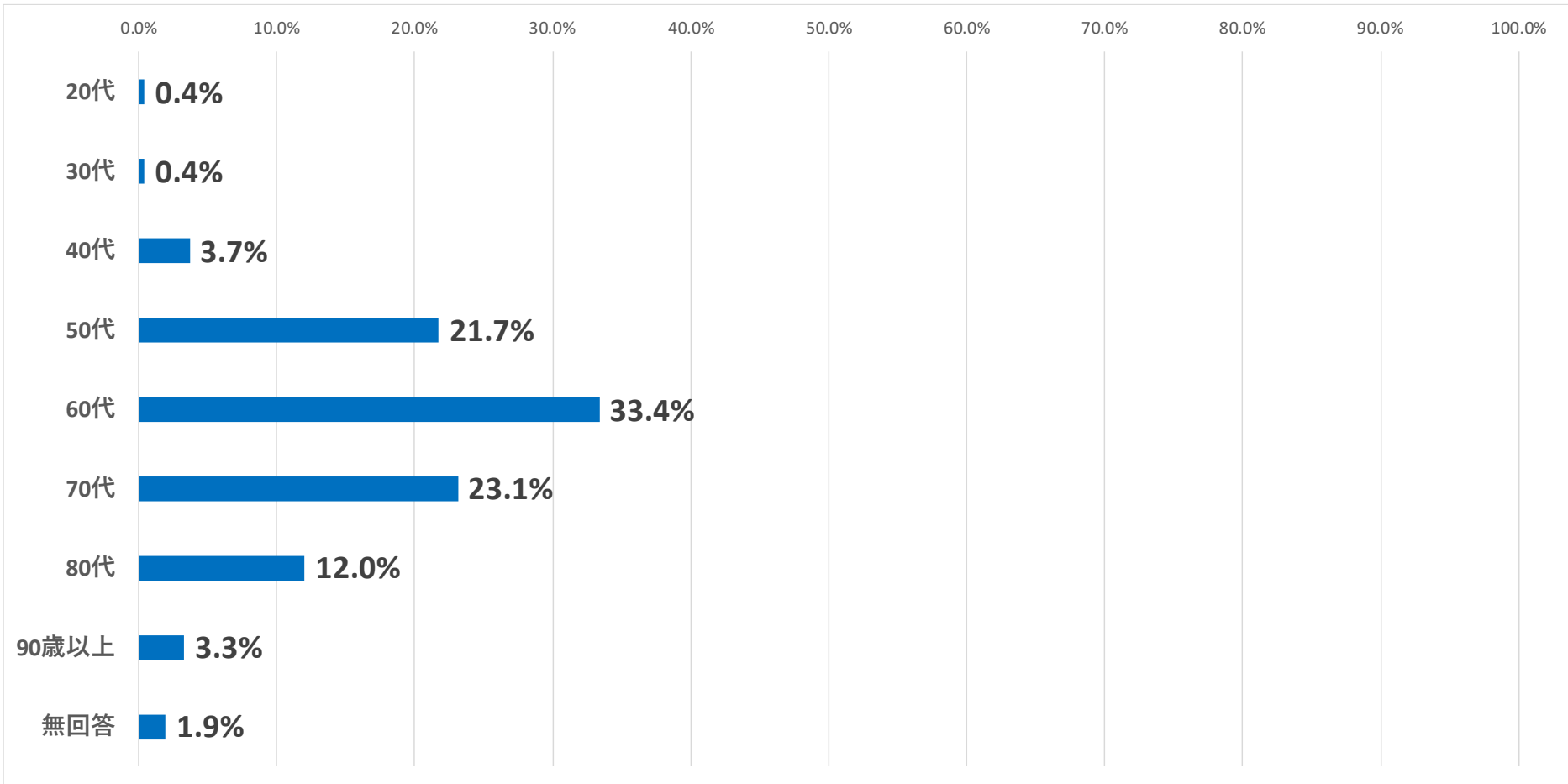
ご本人からみた続柄 回答者数=515



I 本人調査

Q3 ご家族が記入されている場合, 続柄と年齢を教えてください

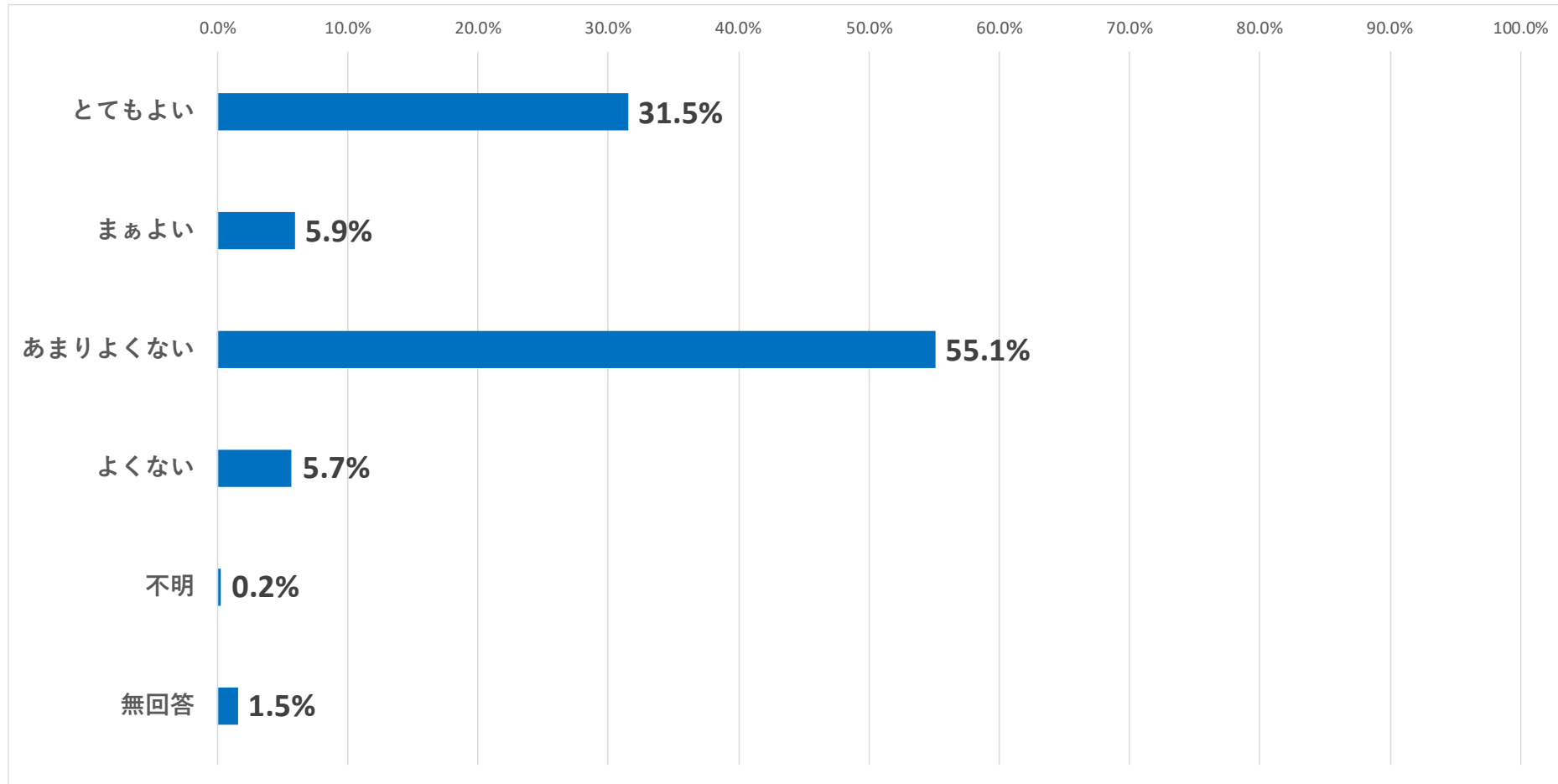
年齢(調査時点) 回答者数=515



I 本人調査

Q4 現在のあなたの健康状態はいかがですか

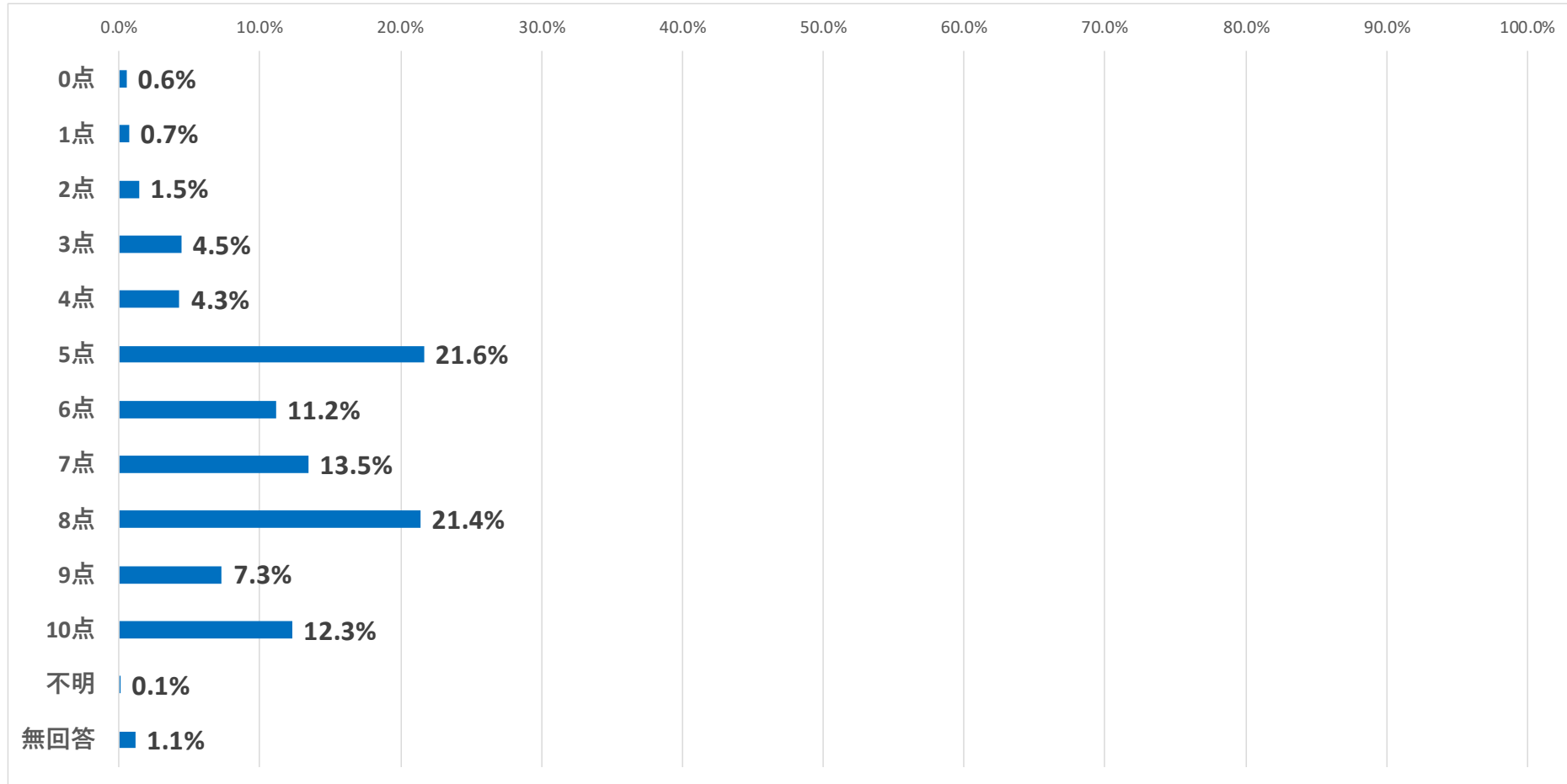
回答者数=1,234



I 本人調査

Q5 あなたは, 現在どの程度幸せですか

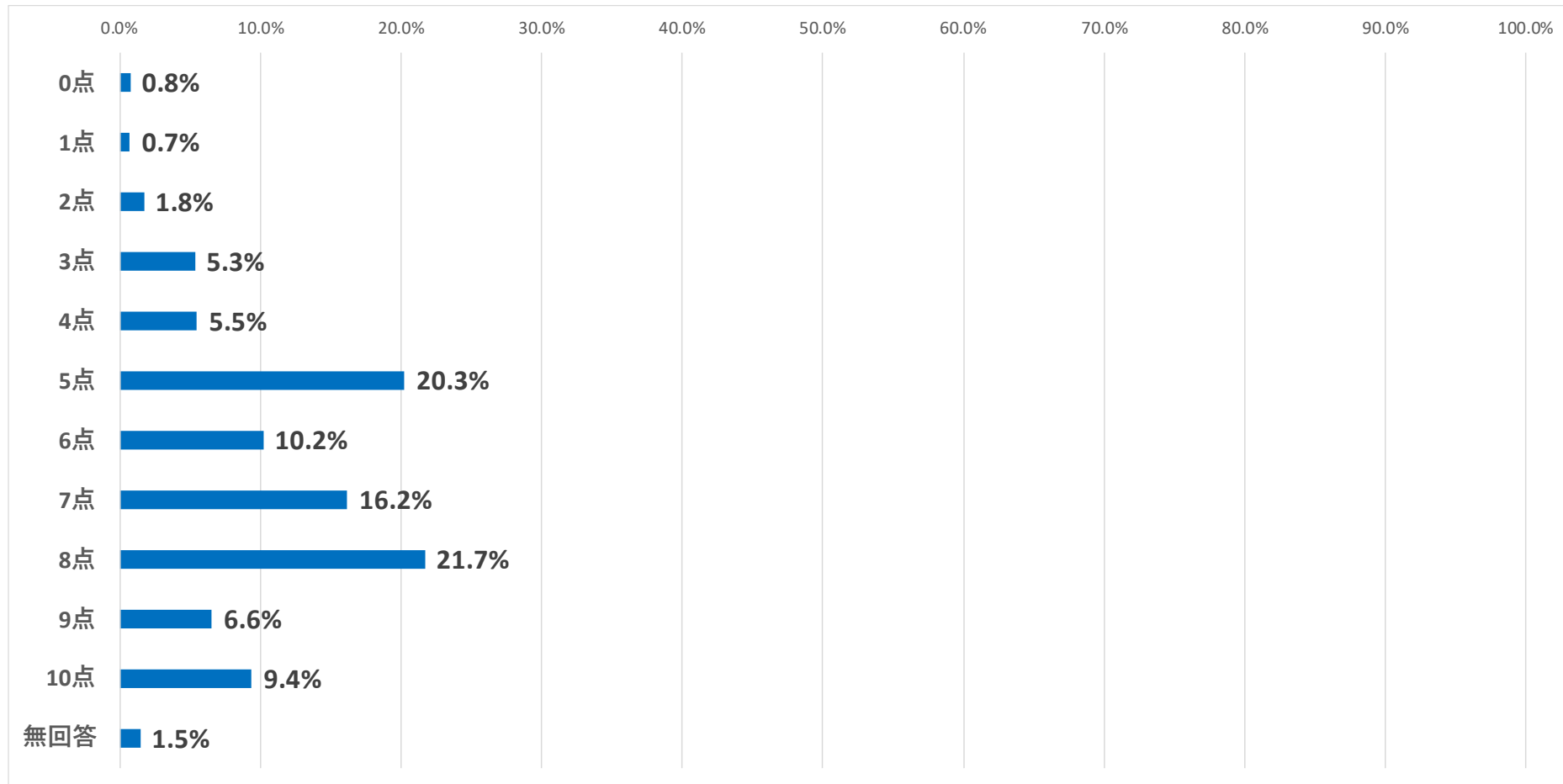
回答者数=1,234



I 本人調査

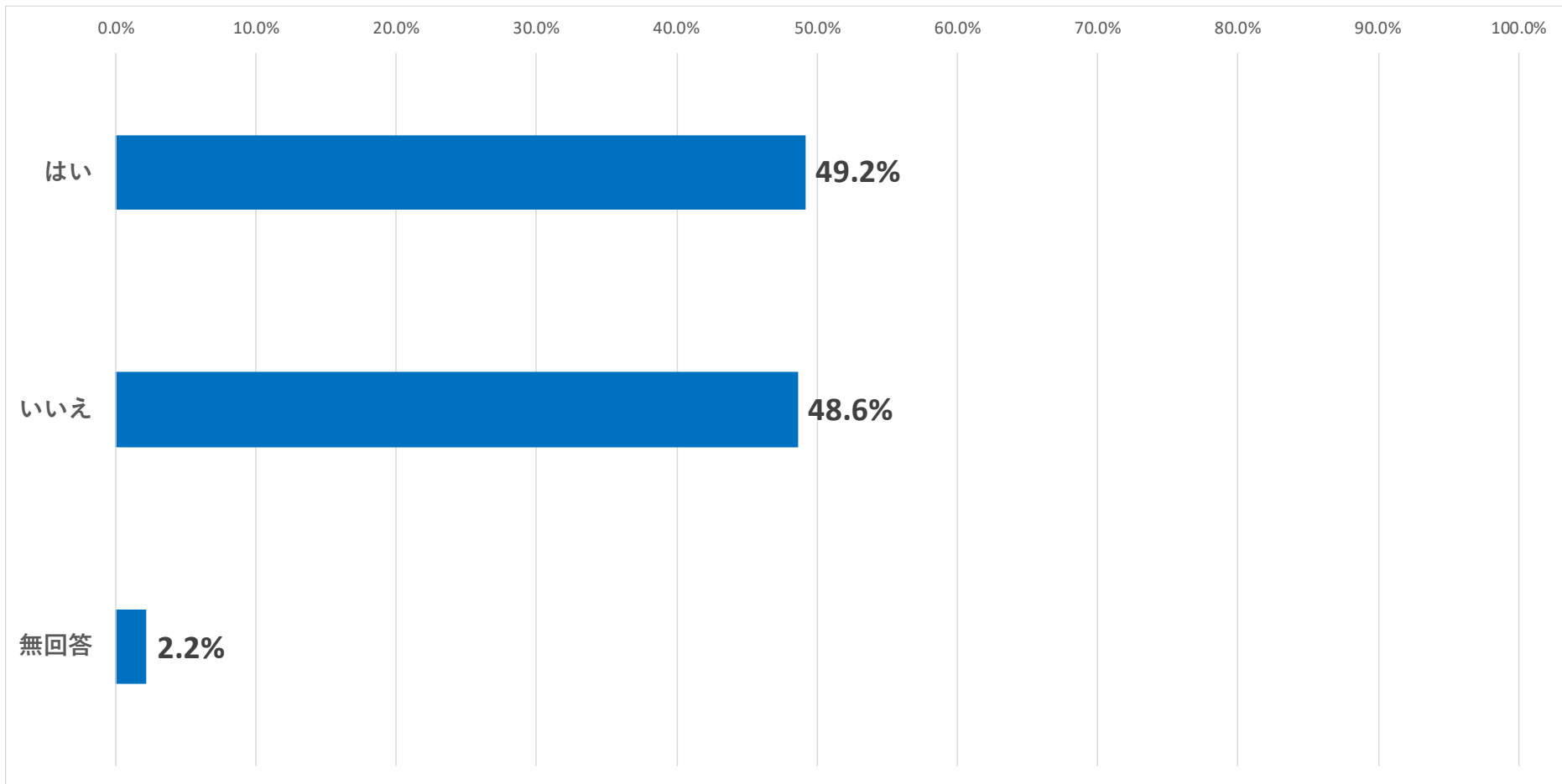
Q6 あなたは、全体として、最近の生活にどの程度満足していますか

回答者数=1,234



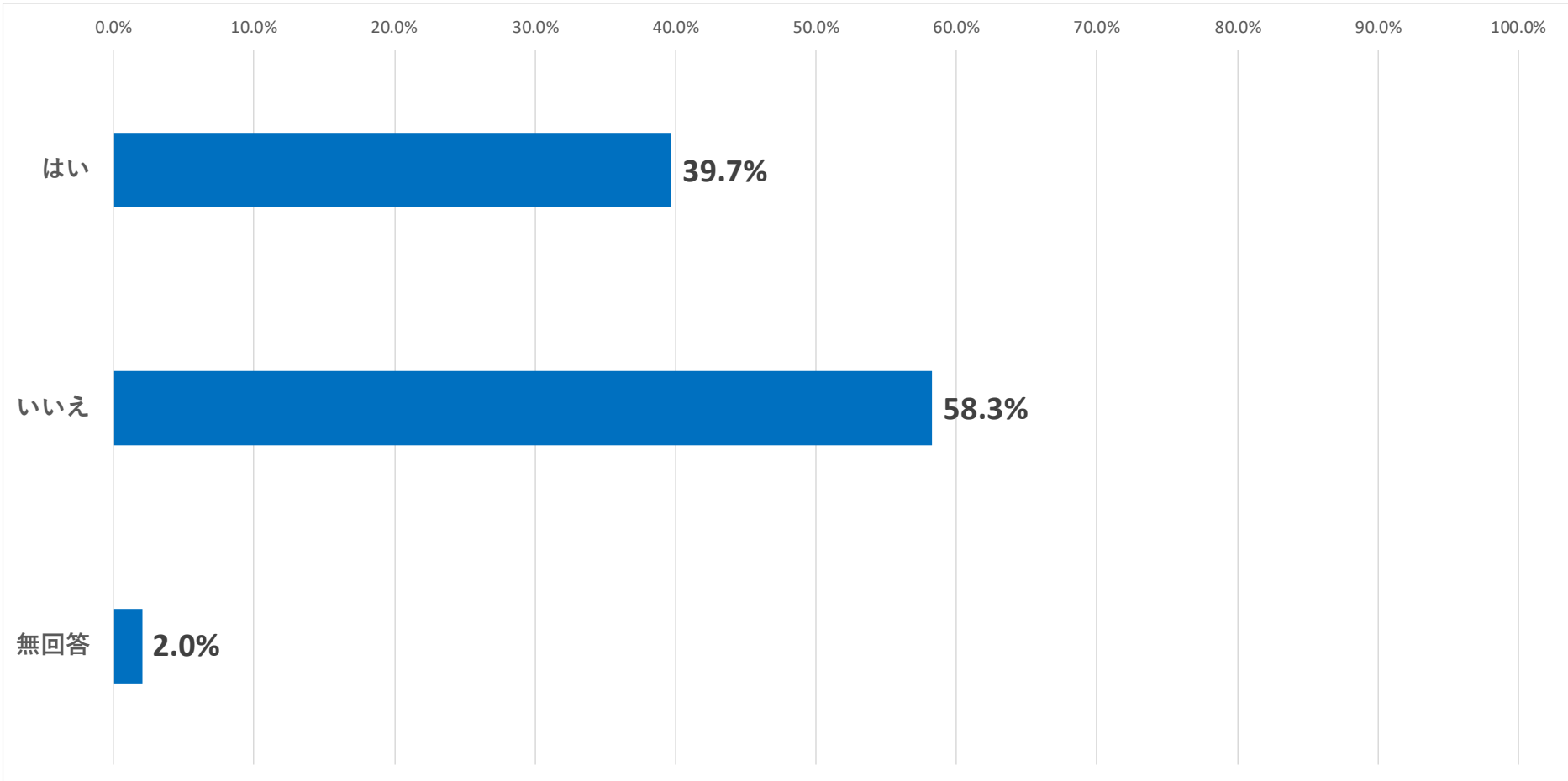
I 本人調査

Q7 この1ヵ月間, 気分が沈んだり, ゆうつな気持ちになったり
することがありましたか 回答者数=1,234



I 本人調査

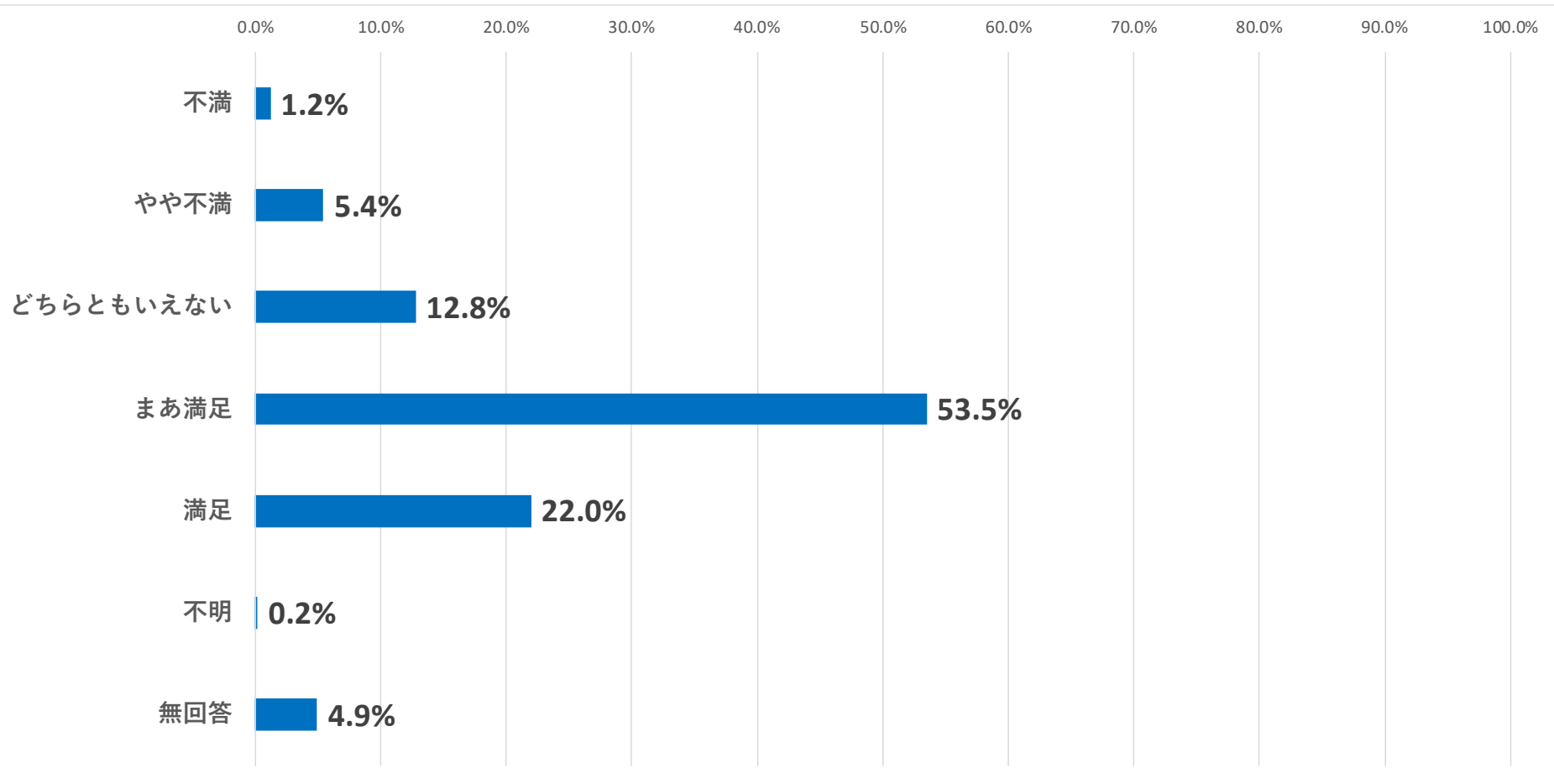
Q8 この1ヵ月間, どうしても物事に対して興味がわかない,
あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか 回答者数=1,234



I 本人調査

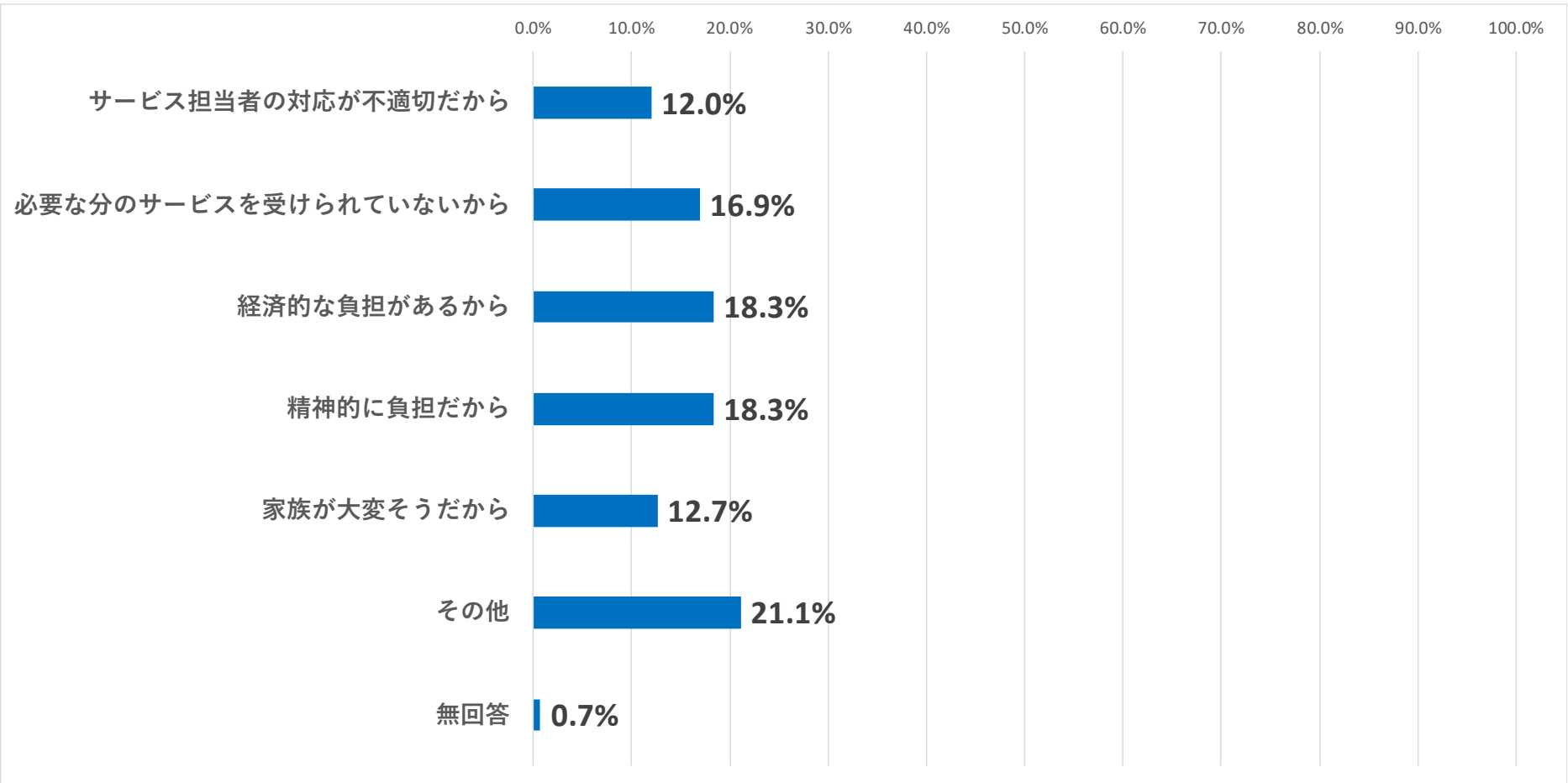
Q9 あなたが利用している介護(医療)サービスに どの程度満足していますか

回答者数=1,234



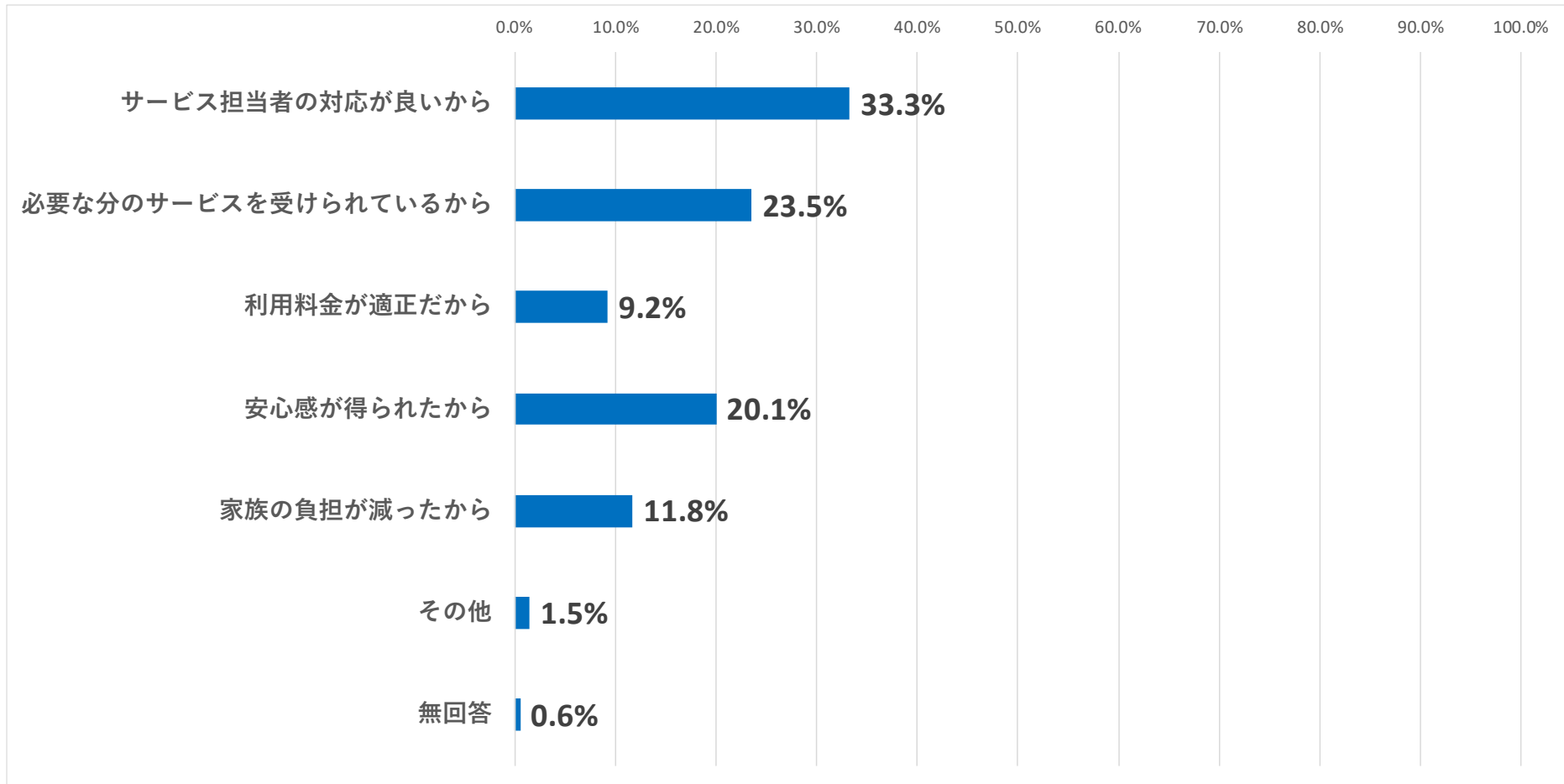
I 本人調査

Q10 「1. 不満／2. やや不満」と回答された理由をお聞かせください (複数回答可) 回答者数=82



I 本人調査

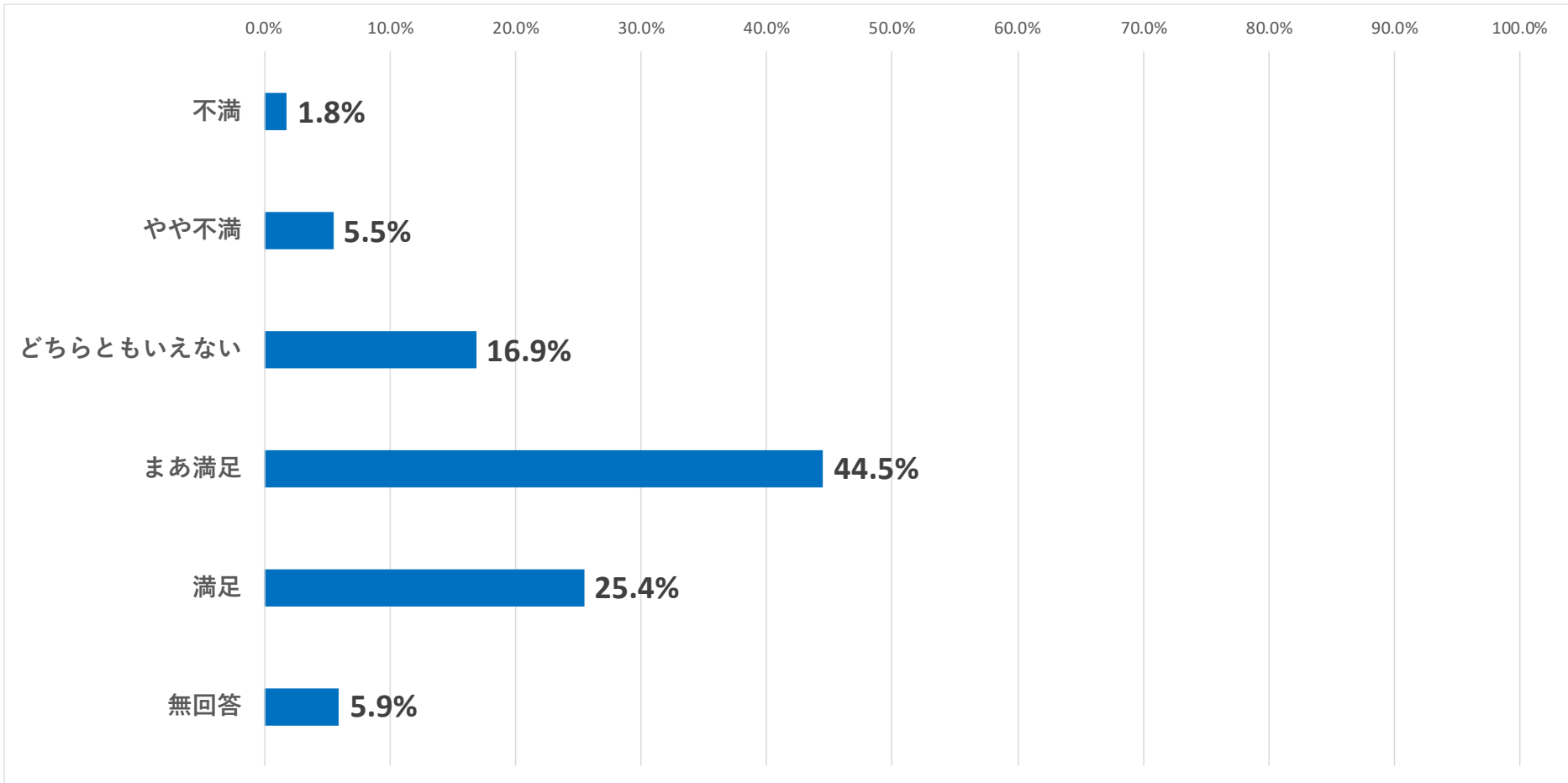
Q11 「4. まあ満足／5. 満足」と回答された理由をお聞かせください (複数回答可) 回答者数=931



I 本人調査

Q12 あなたは, 以下の内容について, どのように感じていますか

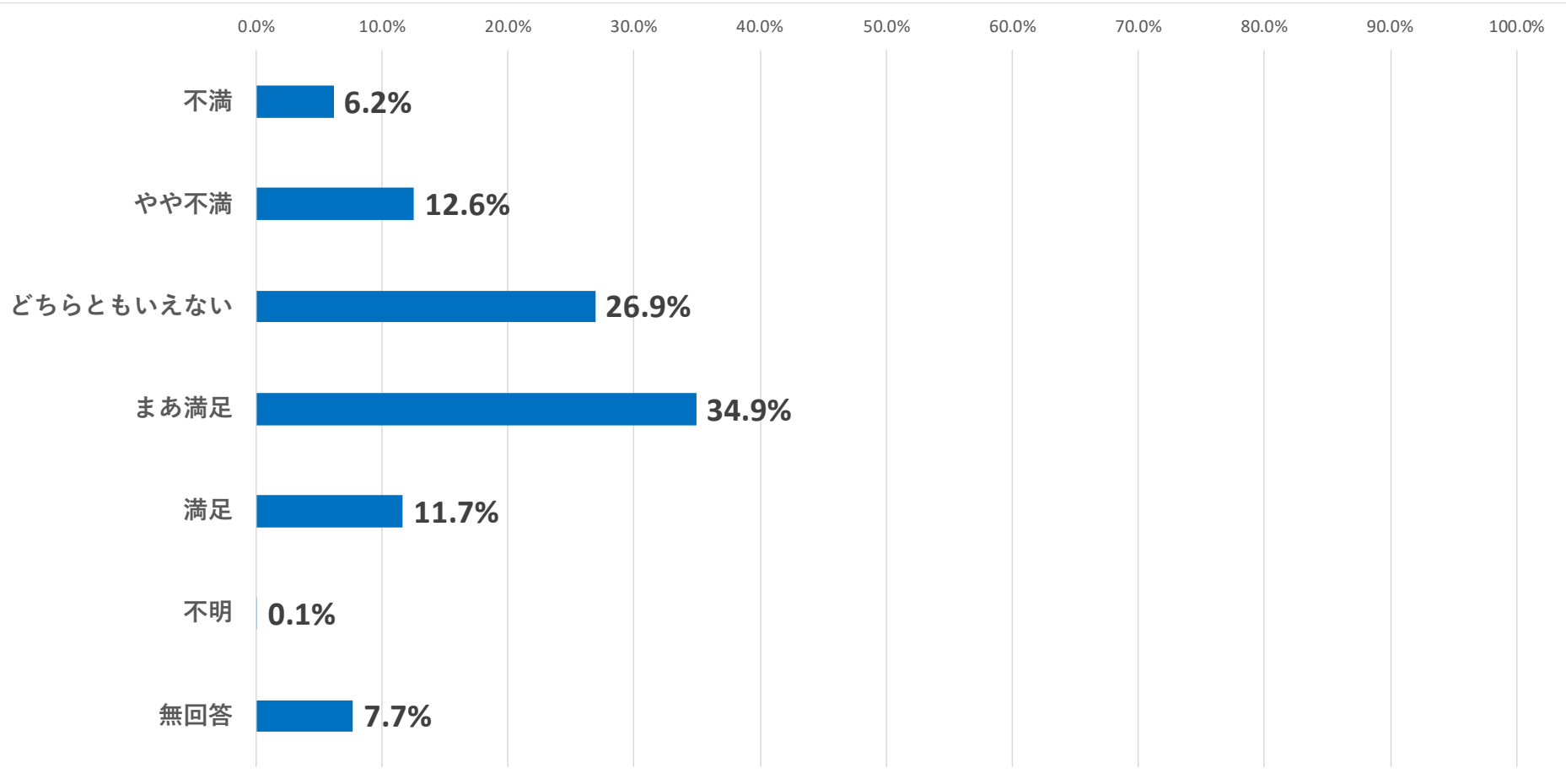
●食事 回答者数=1,234



I 本人調査

Q12 あなたは, 以下の内容について, どのように感じていますか

●身体的な痛みの緩和(コントロール) 回答者数=1,234

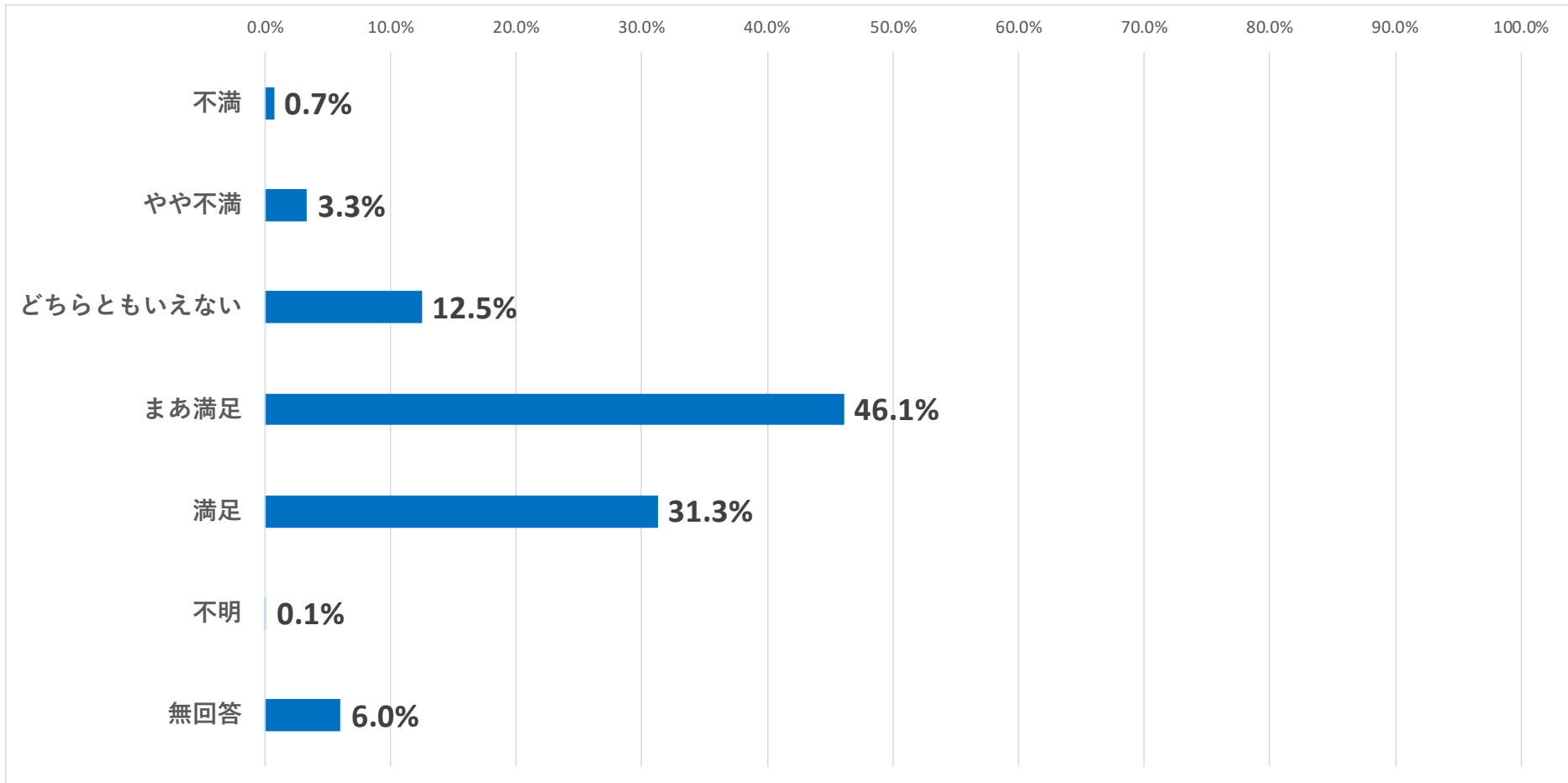


I 本人調査

Q12 あなたは, 以下の内容について, どのように感じていますか

●住環境の清潔さ

回答者数=1,234

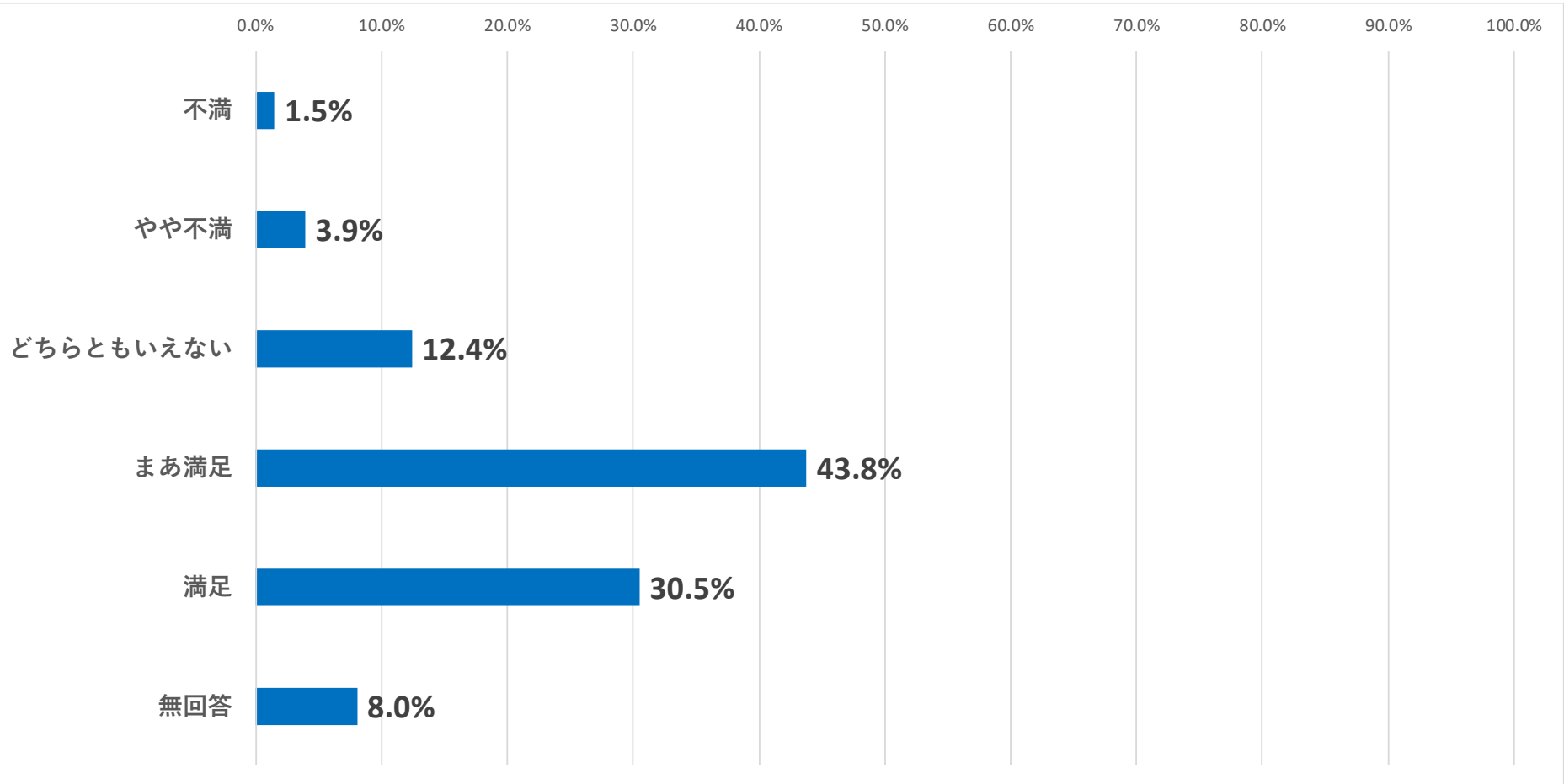


I 本人調査

Q12 あなたは, 以下の内容について, どのように感じていますか

●在宅生活の安心感

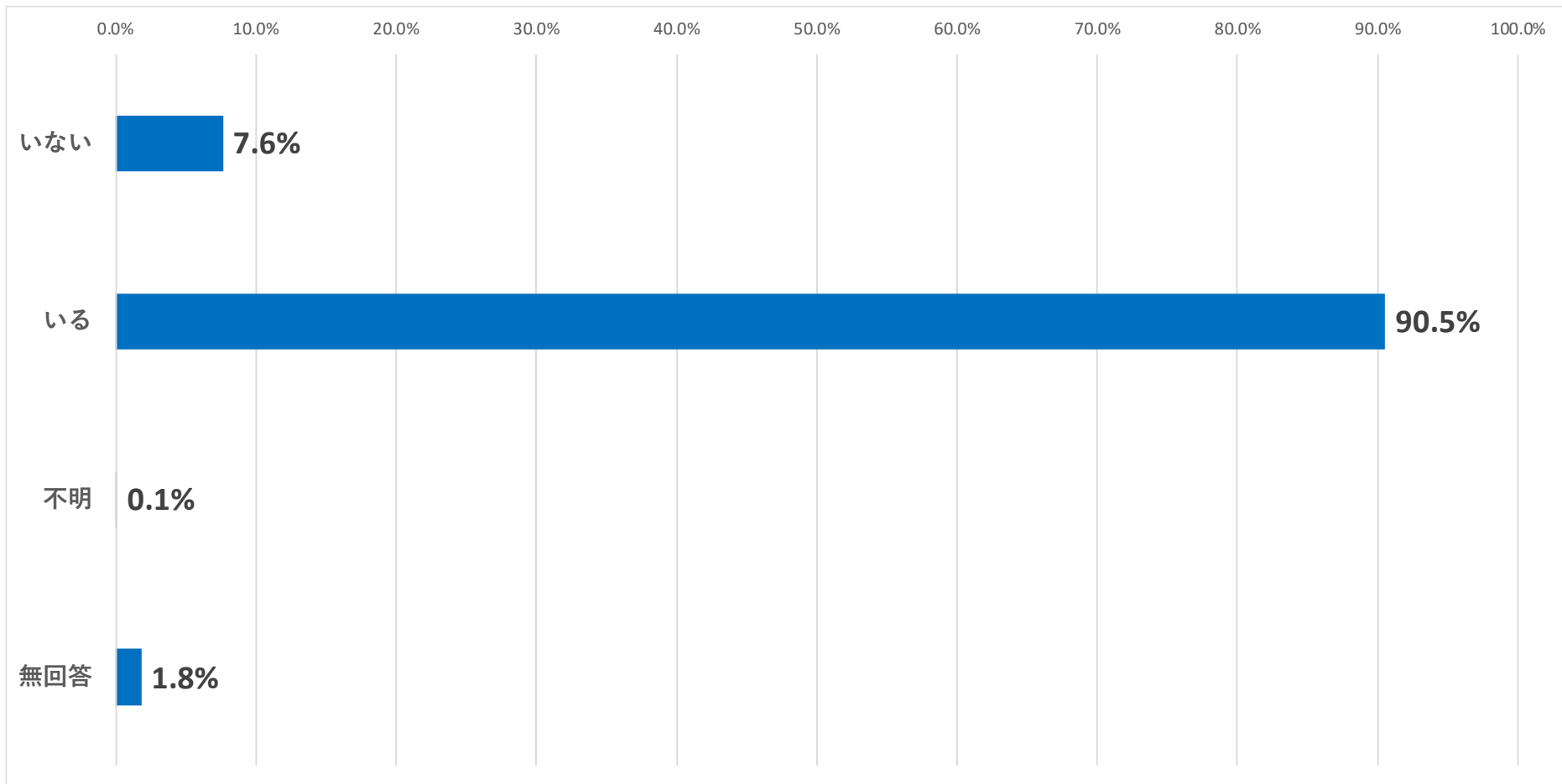
回答者数=1,234



I 本人調査

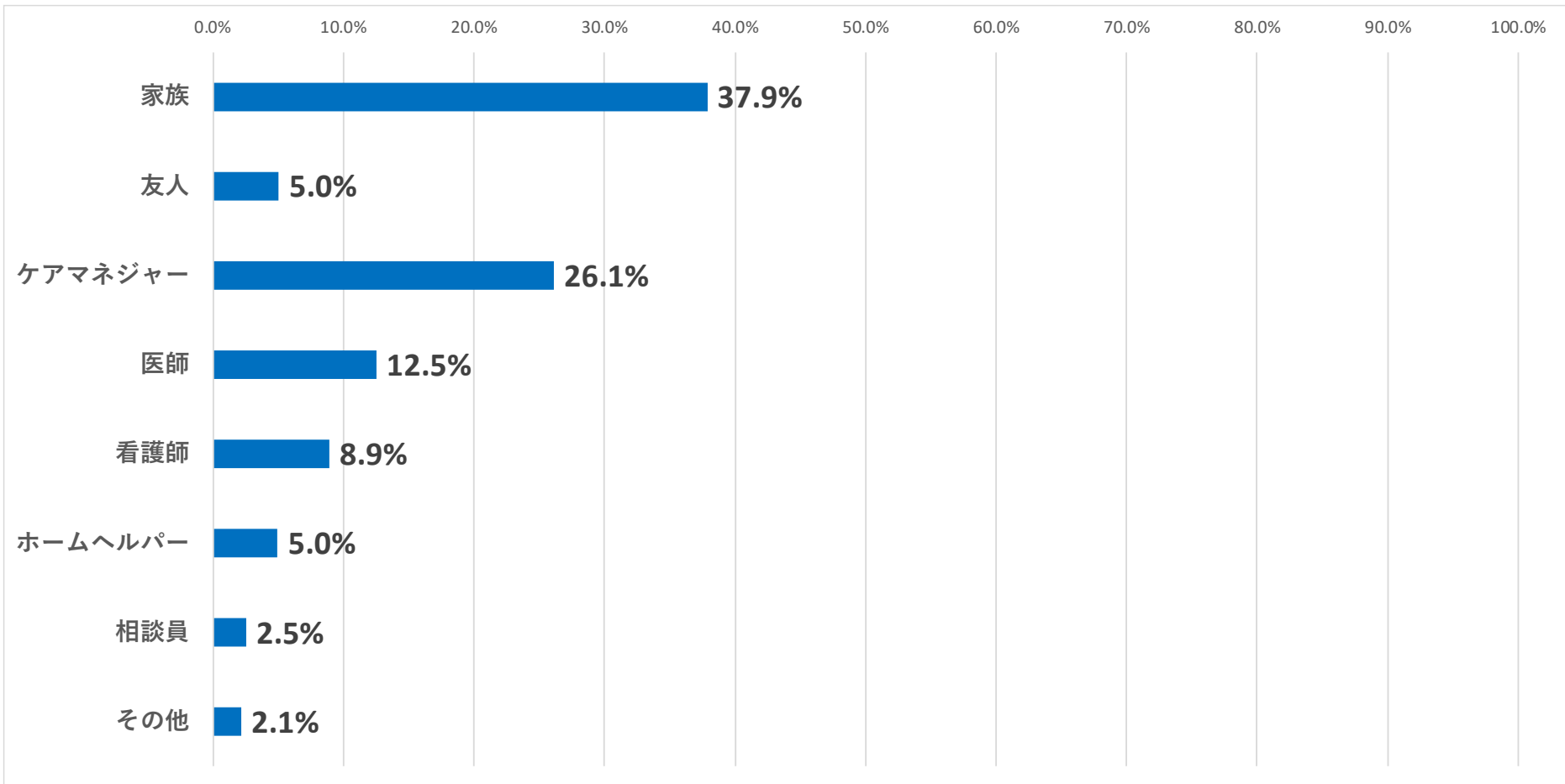
Q13 医療・介護を含めた生活上の心配ごとを気軽に相談できる相手はいますか

回答者数=1,234



I 本人調査

Q14 「2. いる」と回答された方の, 相談相手(複数回答可) 回答者数=1,117

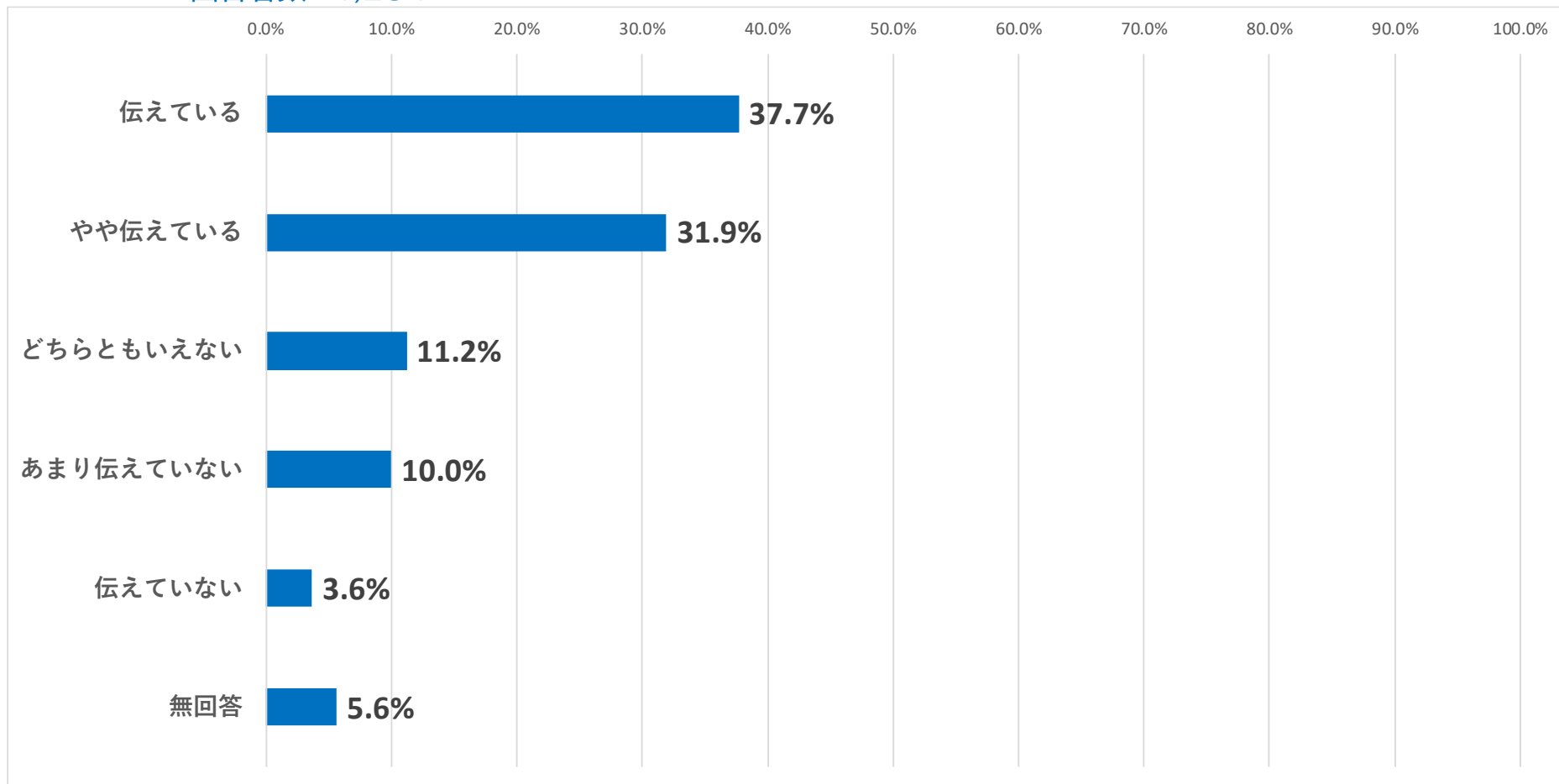


I 本人調査

Q15 あなたは, サービス担当者に自分の意向*を伝えていますか (家族を通じても含む)

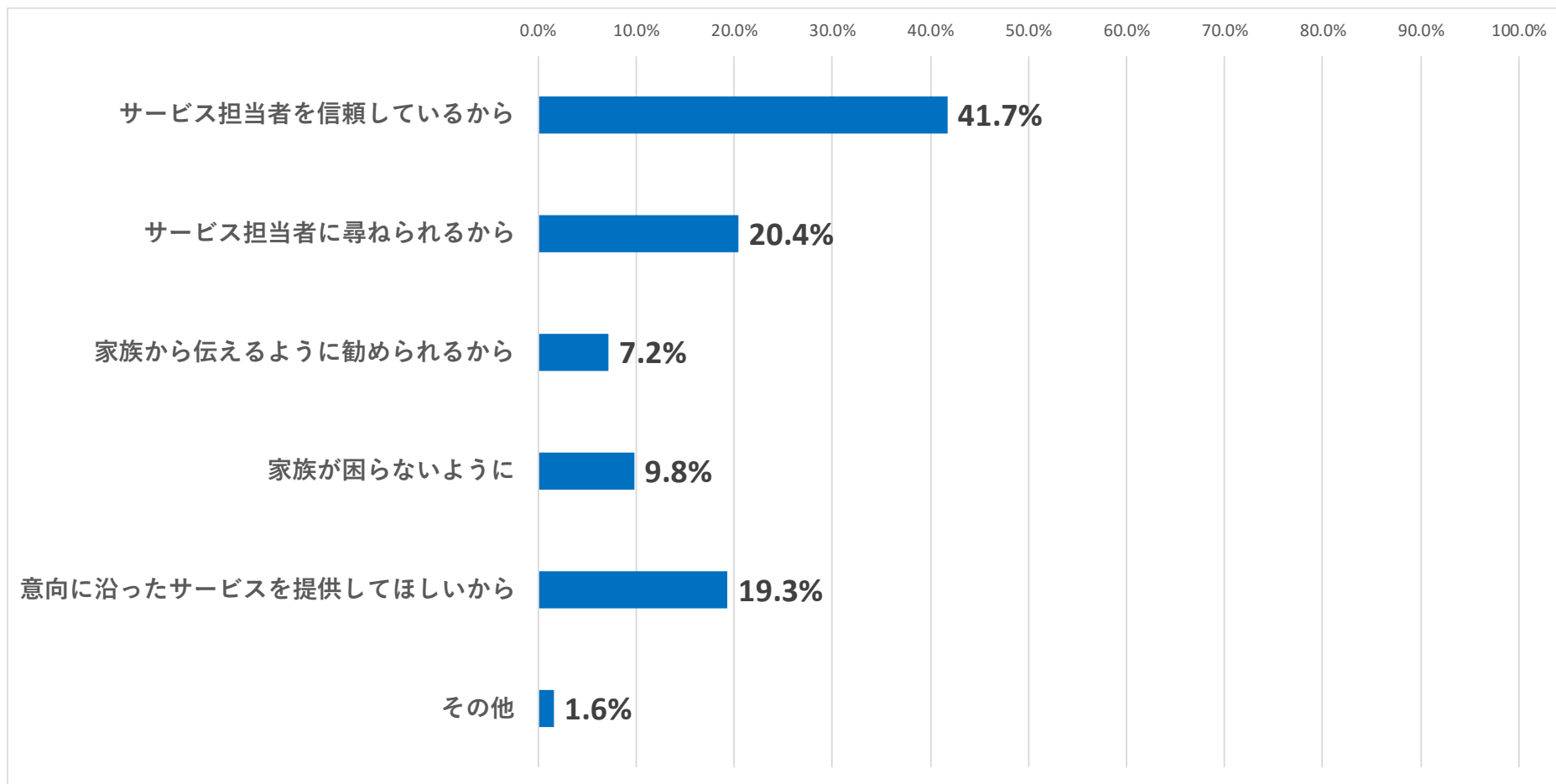
*意向とは: こういう風に暮らしたい, こういうサービスを受けたいなどの想いや考え

回答者数=1,234



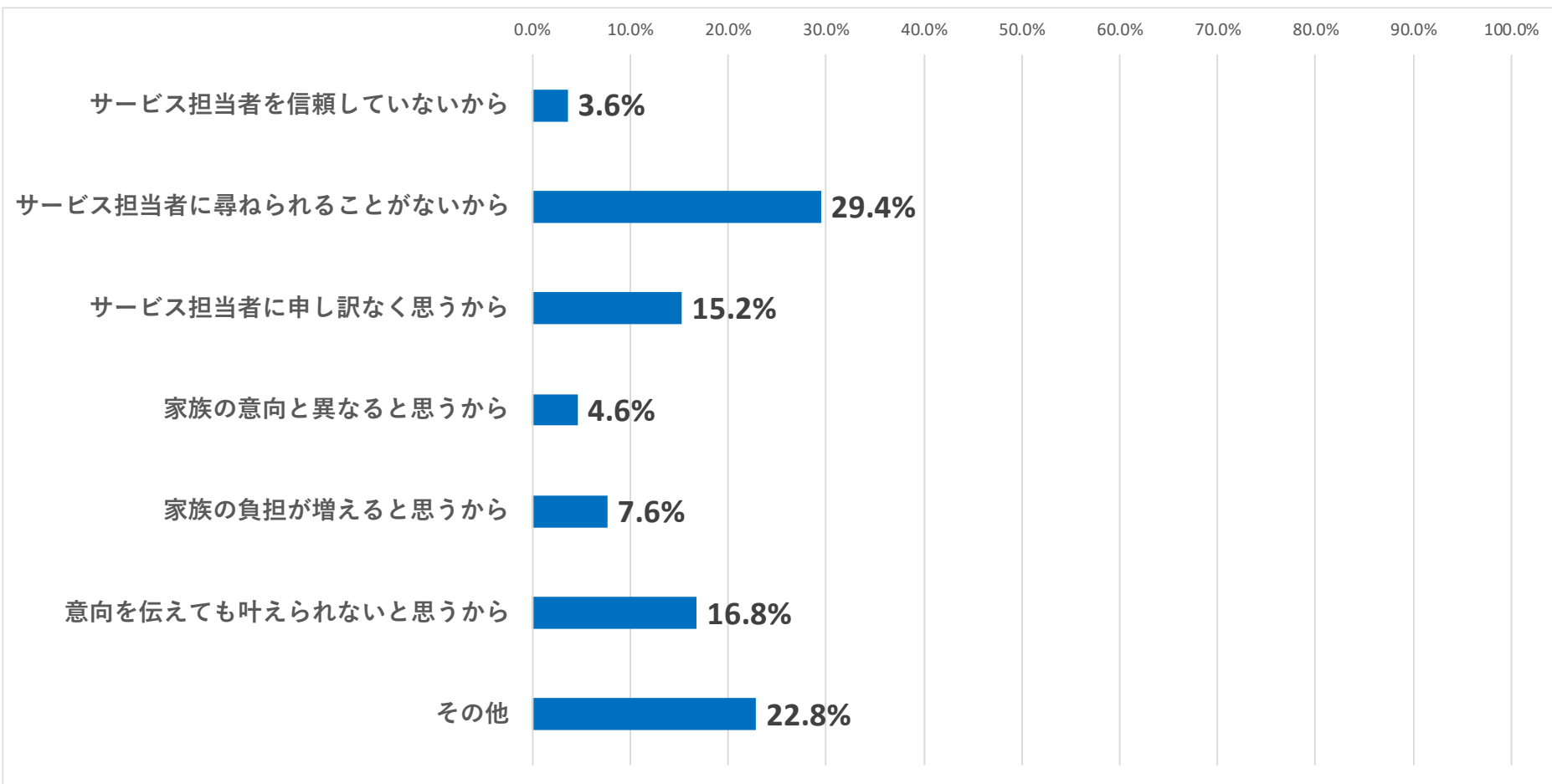
I 本人調査

Q16 「1. 伝えている／2. やや伝えている」と回答された理由をお聞かせください(複数回答可) 回答者数=859



I 本人調査

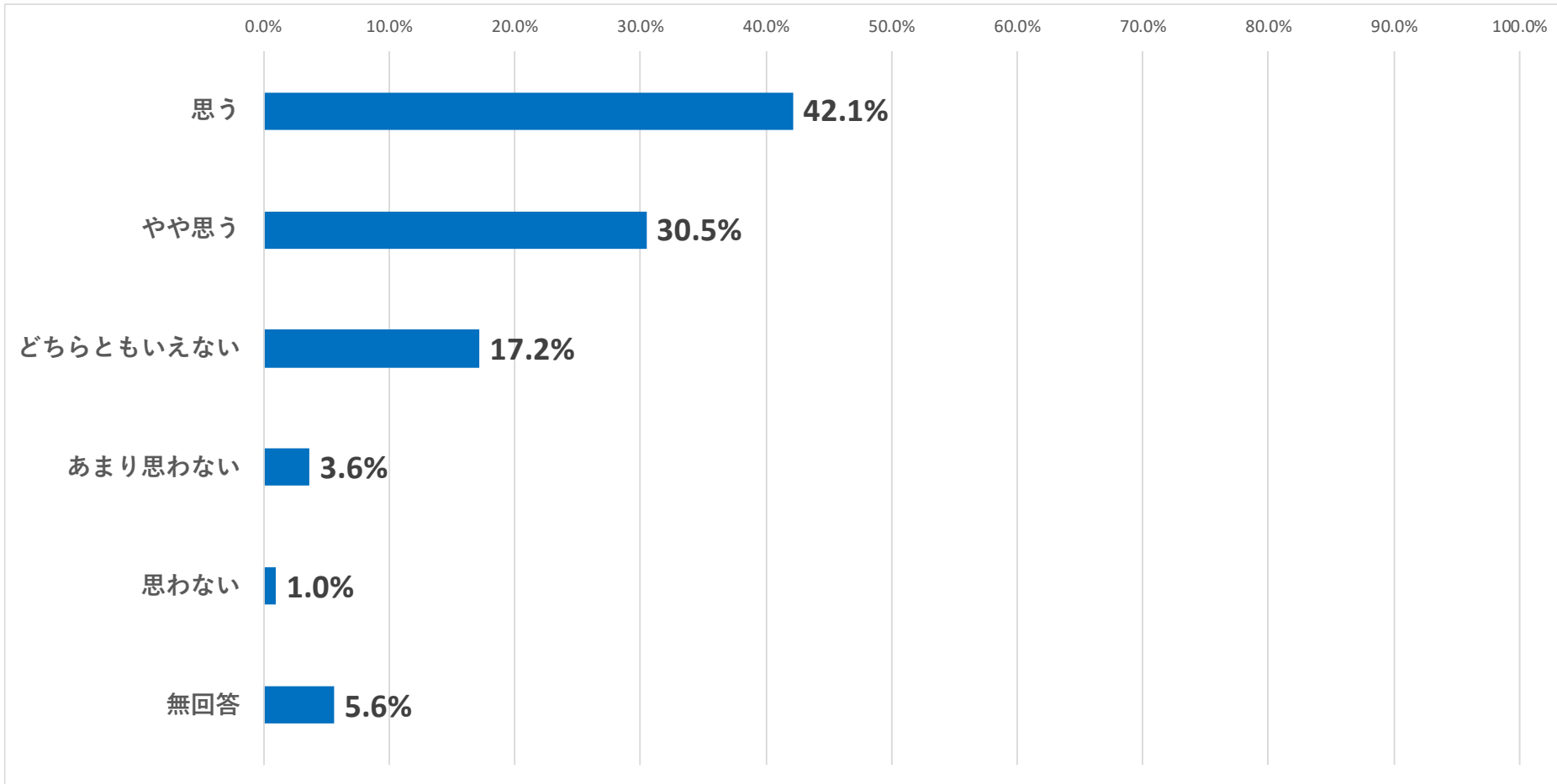
Q17 「4. あまり伝えていない／5. 伝えていない」と回答された理由をお聞かせください(複数回答可) 回答者数=168



I 本人調査

Q18 サービス担当者は, あなたの望む暮らしを実現しようとしてくれていると思いますか

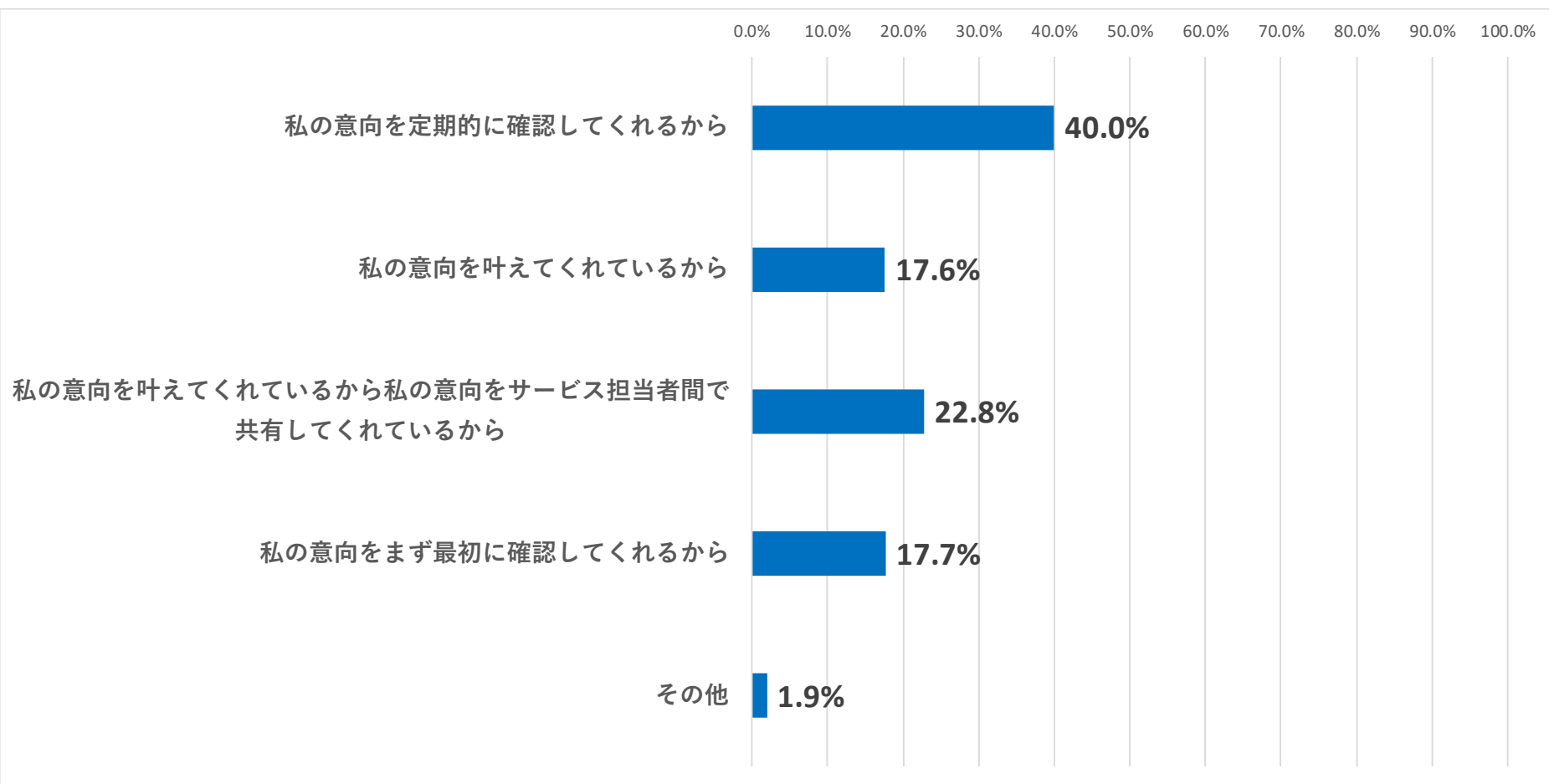
回答者数=1,234



I 本人調査

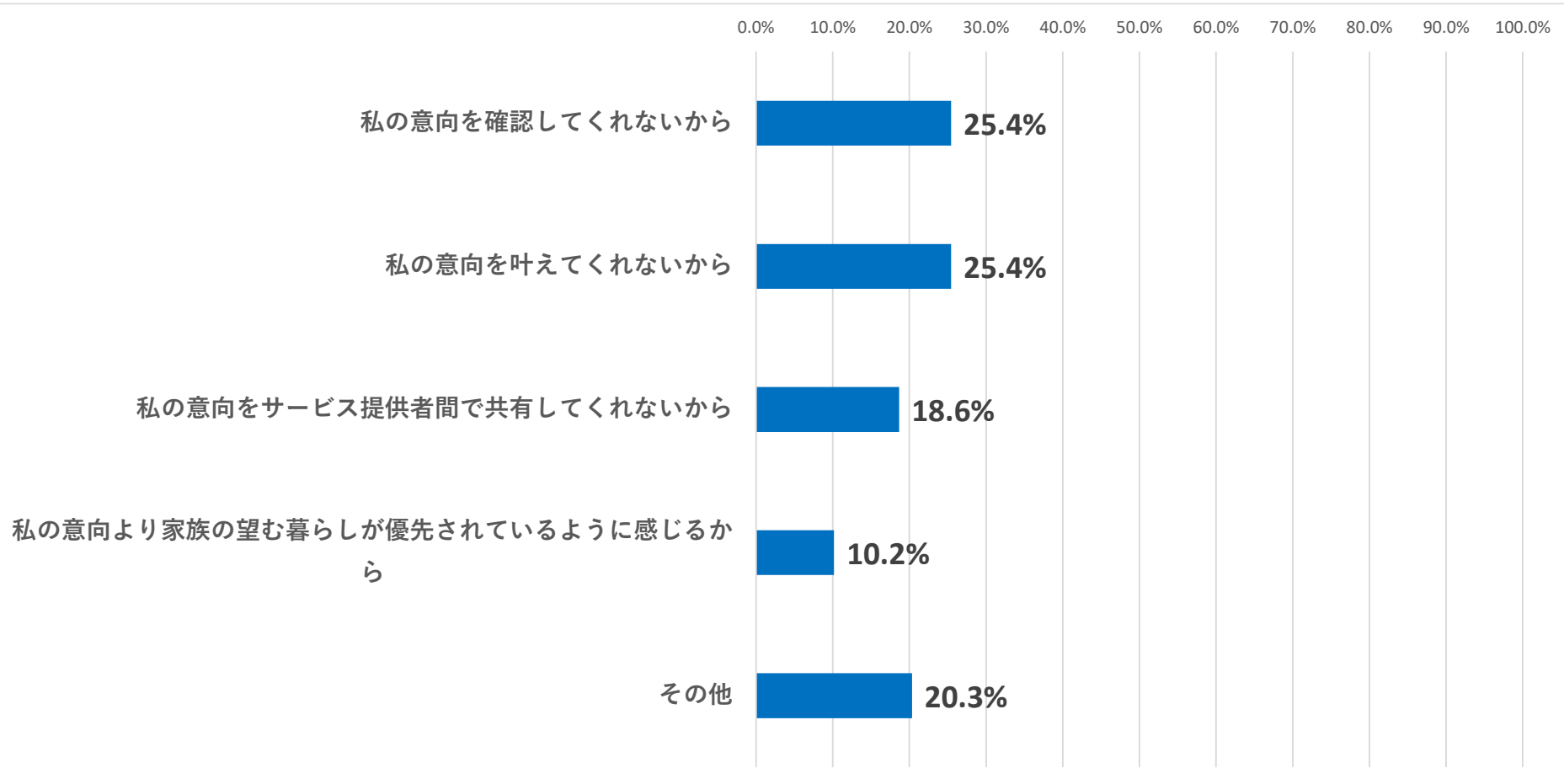
Q19 「1. 思う／2. やや思う」と回答された理由をお聞かせください (複数回答可)

回答者数=896



I 本人調査

Q20 「4. あまり思わない／5. 思わない」と回答された理由をお聞かせください(複数回答可) 回答者数=57



1 生活満足度調査

Ⅱ 家族調査

○調査概要

対象	…介護保険被保険者のうち、何らかの介護保険サービスを利用している者の家族3,128名
方法	…郵送
実施期間	…R7.10.14～R7.11.4
回収数	…1,521通(回収率48.6%)
有効回答数	…1,510通(有効回答率48.3%)

【設問】

Q1 アンケート記入者(続柄, 居住状況, 年齢, 健康状態, 就労状況, 家族)・・・33～38ページ

Q2 健康状態・・・39ページ

Q3 幸福度・・・40ページ

Q4 生活満足度・・・41ページ

Q5 憂鬱・・・42ページ

Q6 興味関心・・・ 43ページ

Q7・Q8・Q9 サービス満足度・・・44～46ページ

Q10 食事・痛み・住宅環境の清潔さ・在宅生活の安心感に関する満足度・・・47～50ページ

Q11・Q12 相談相手・・・51～52ページ

Q13・Q14・Q15・Q16 意向伝達・・・53～56ページ

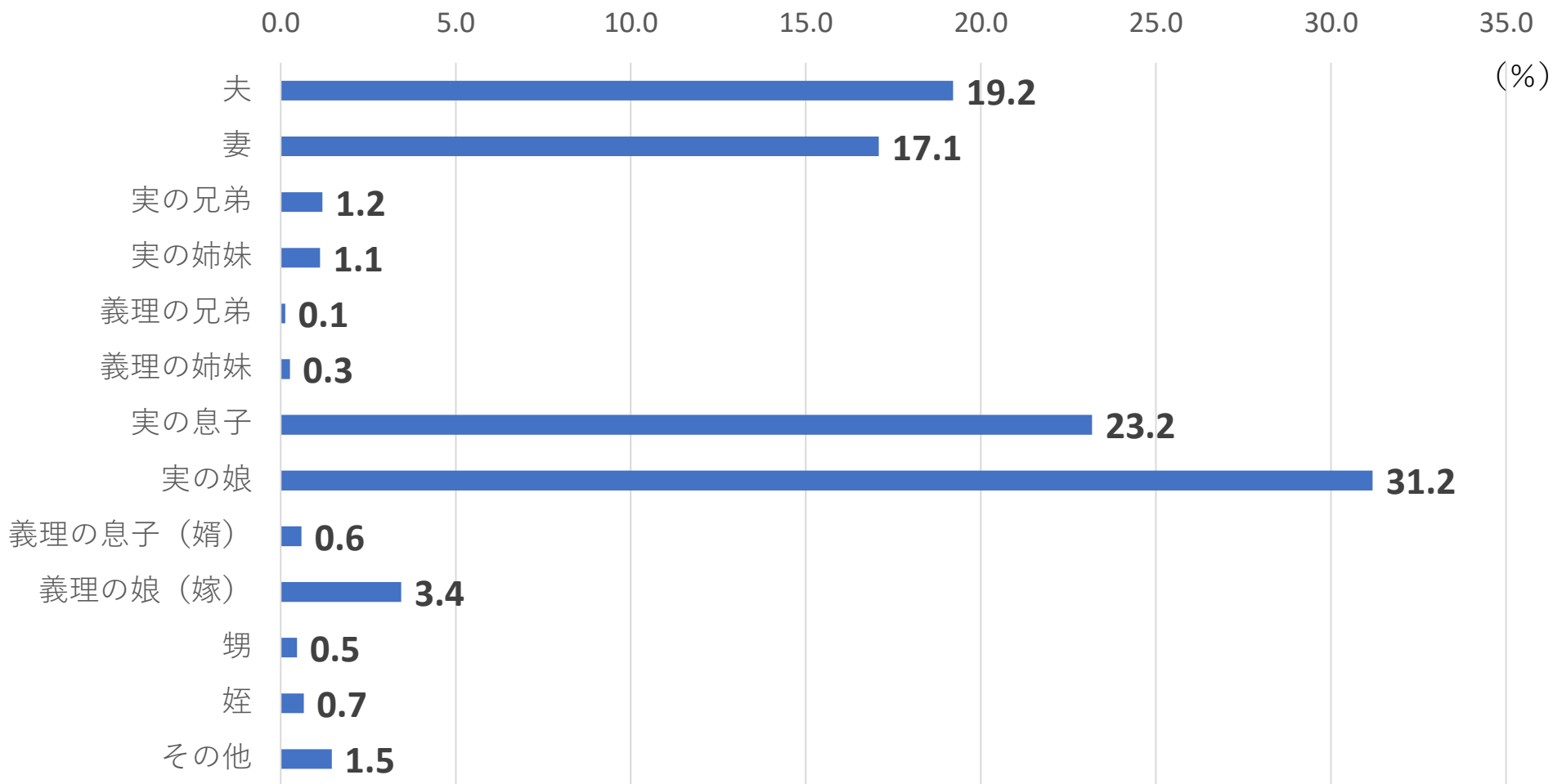
Q17・Q18・Q19 望む暮らし・・・57～59ページ

Q20 療養の支え・・・60ページ

Ⅱ 家族調査

Q1-1 ご本人(宛名に記載されている方)との続柄等(調査時点)について、教えてください ●ご本人からみた続柄

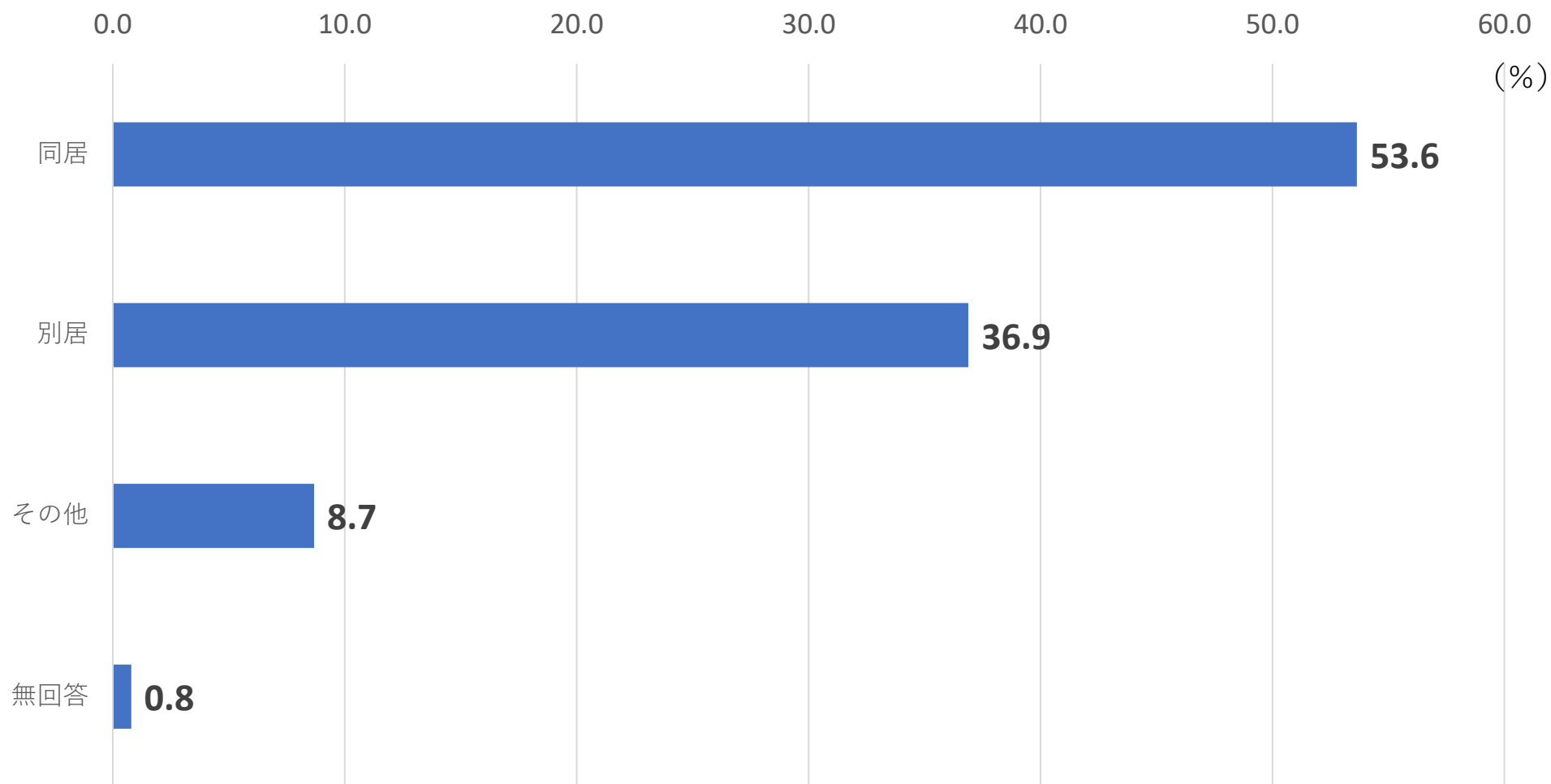
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q1-2 ご本人(宛名に記載されている方)との続柄等(調査時点)について、教えてください ●ご本人との居住状況

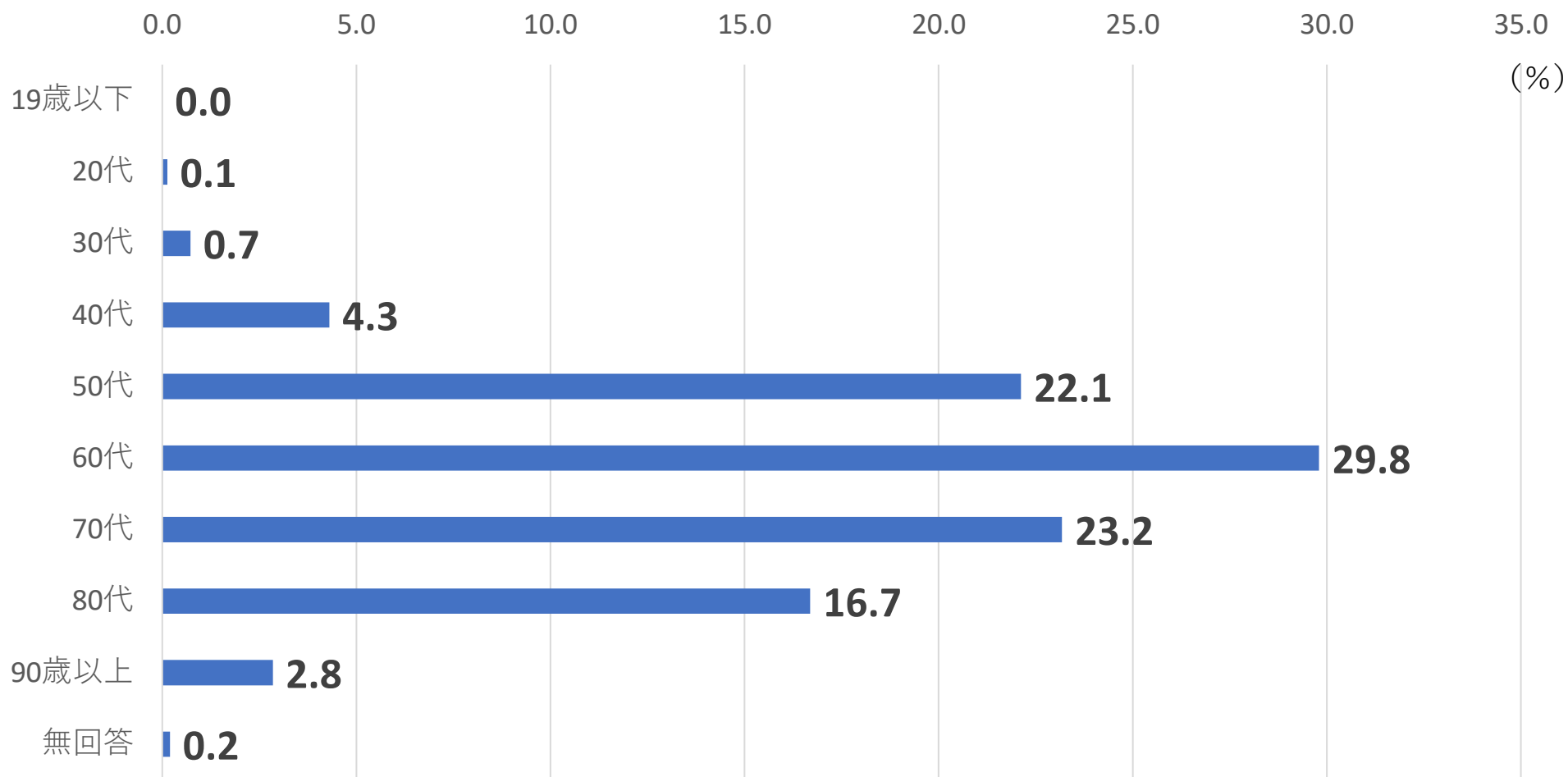
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q1-3 ご本人(宛名に記載されている方)との続柄等(調査時点)について、教えてください ●あなたの年齢

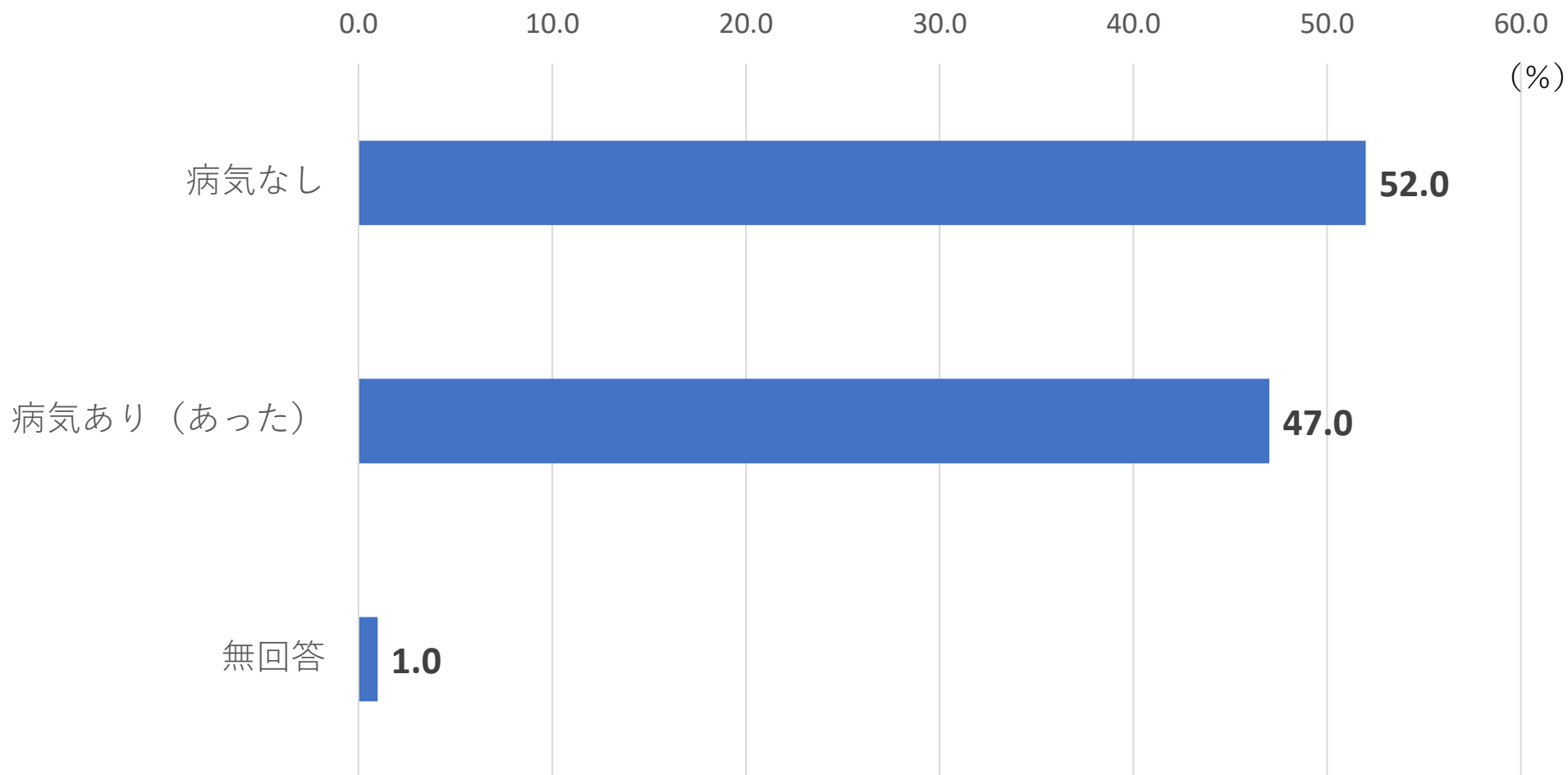
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q1-4 ご本人(宛名に記載されている方)との続柄等(調査時点)について、教えてください ●あなたの健康状態

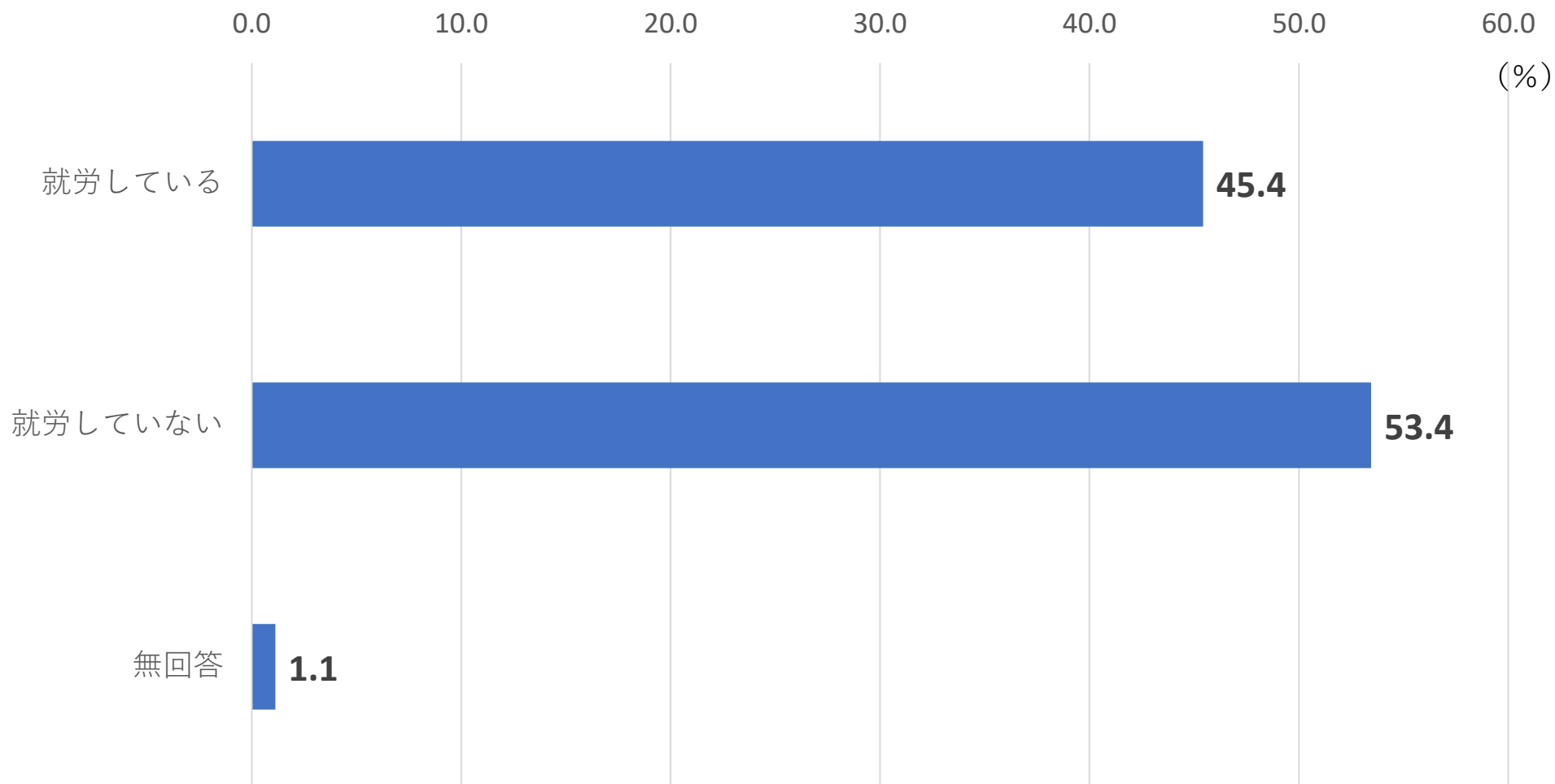
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q1-5 ご本人(宛名に記載されている方)との続柄等(調査時点)について、教えてください ●あなたの就労状況

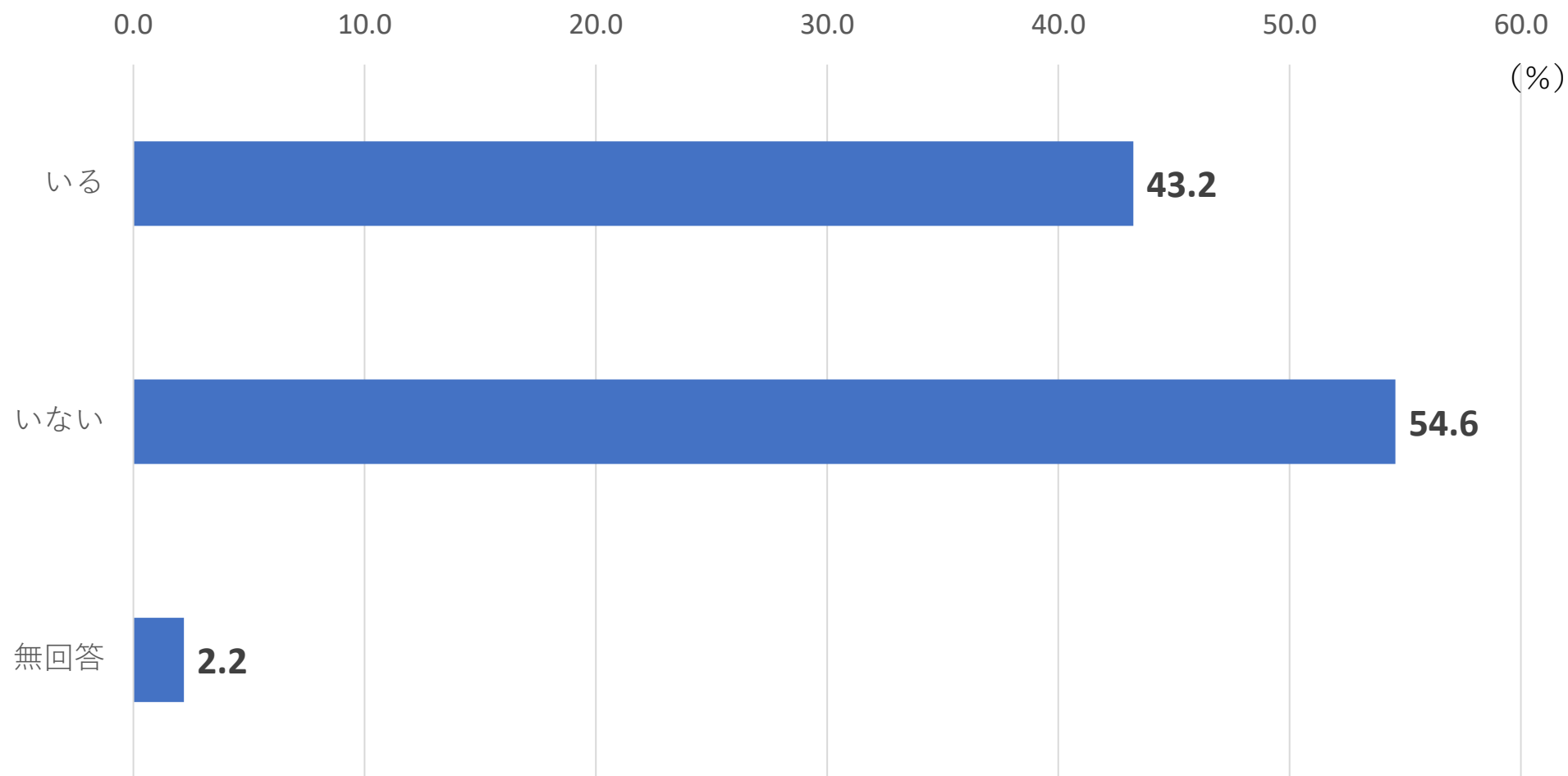
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q1-6 ご本人(宛名に記載されている方)との続柄等(調査時点)について、教えてください ●あなたと共に介護を行っている家族

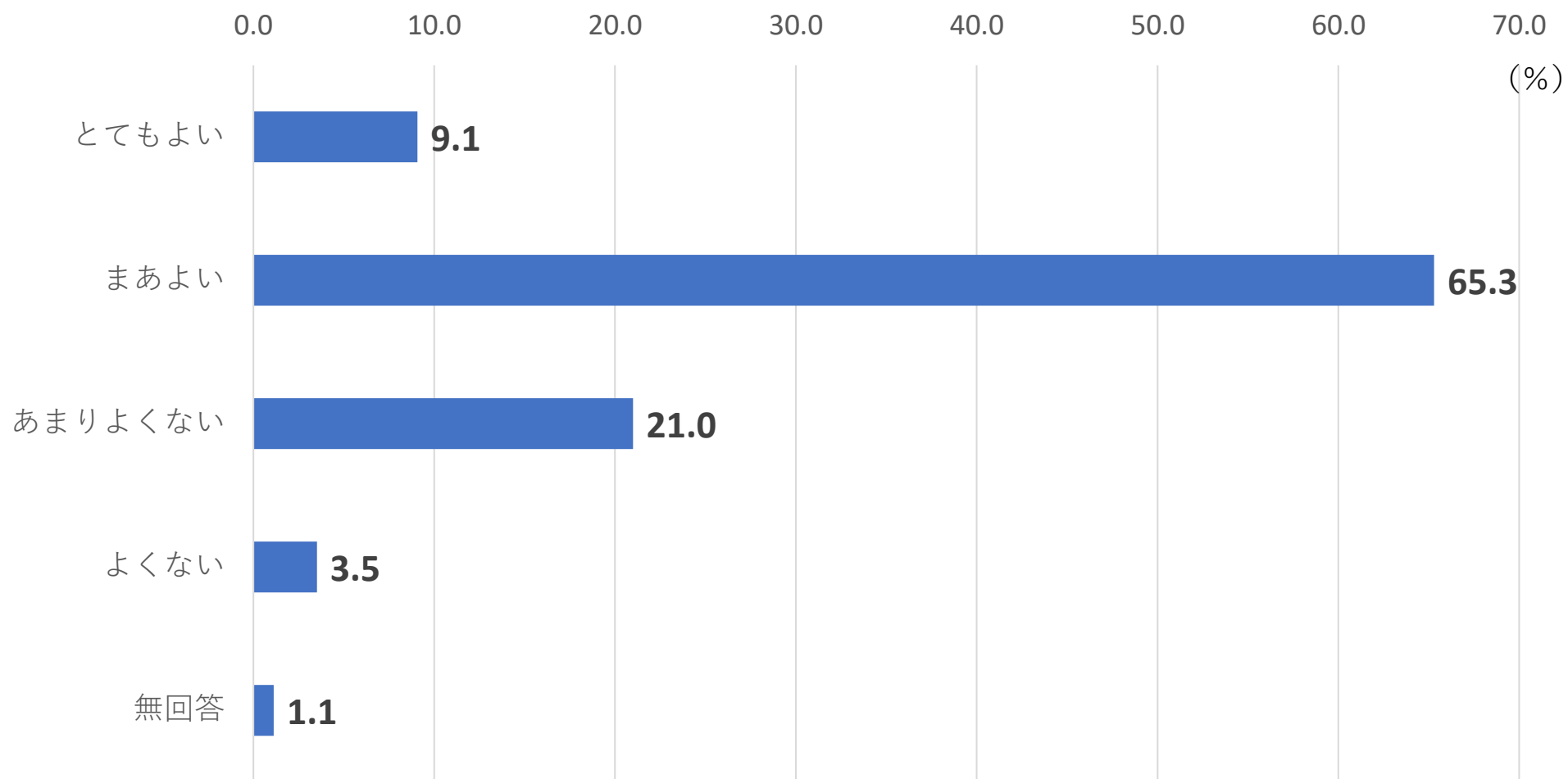
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q2 現在のあなたの健康状態はいかがですか

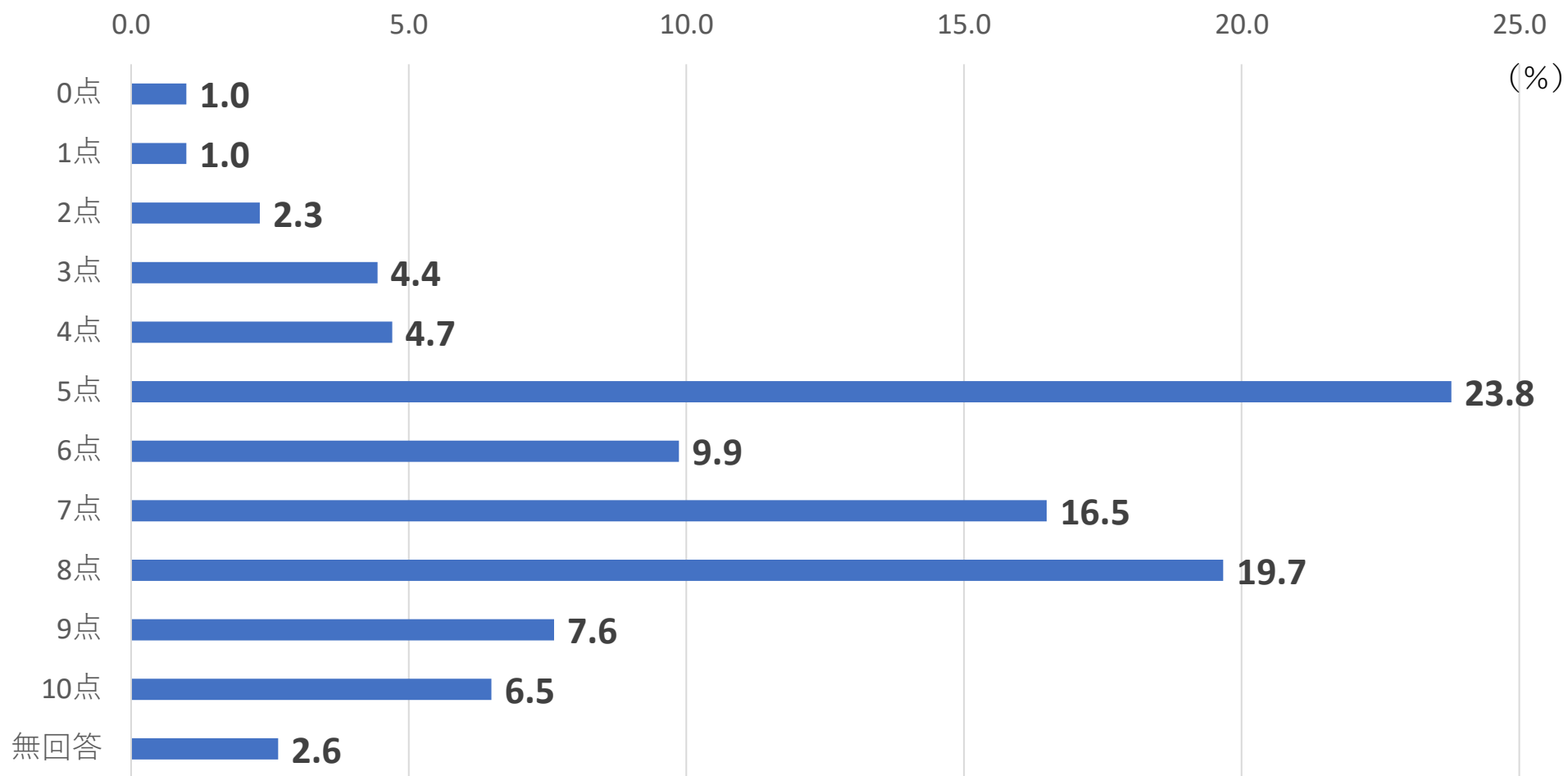
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q3 あなたは、現在どの程度幸せですか

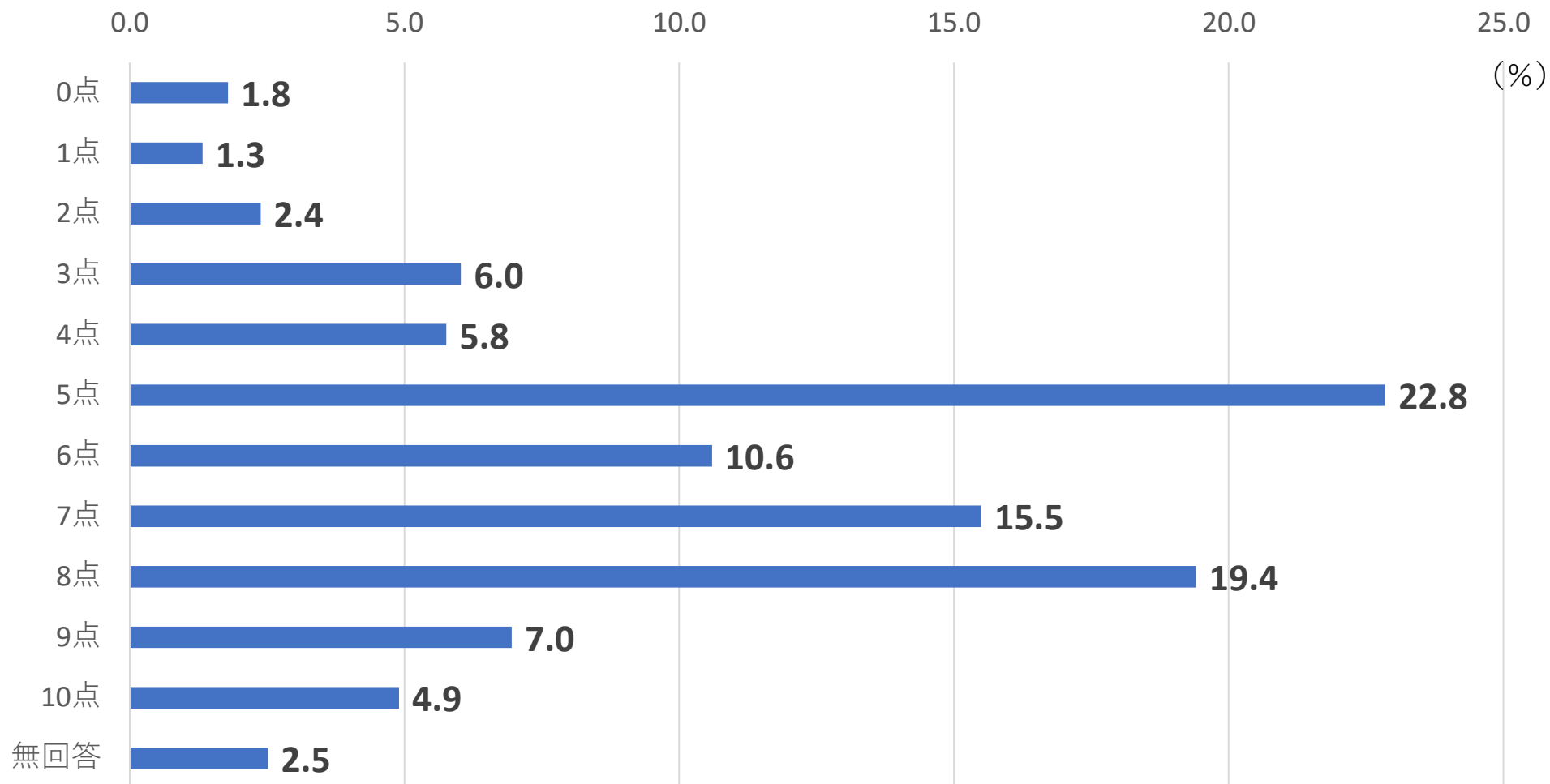
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q4 あなたは, 全体として, 最近の生活にどの程度満足していますか

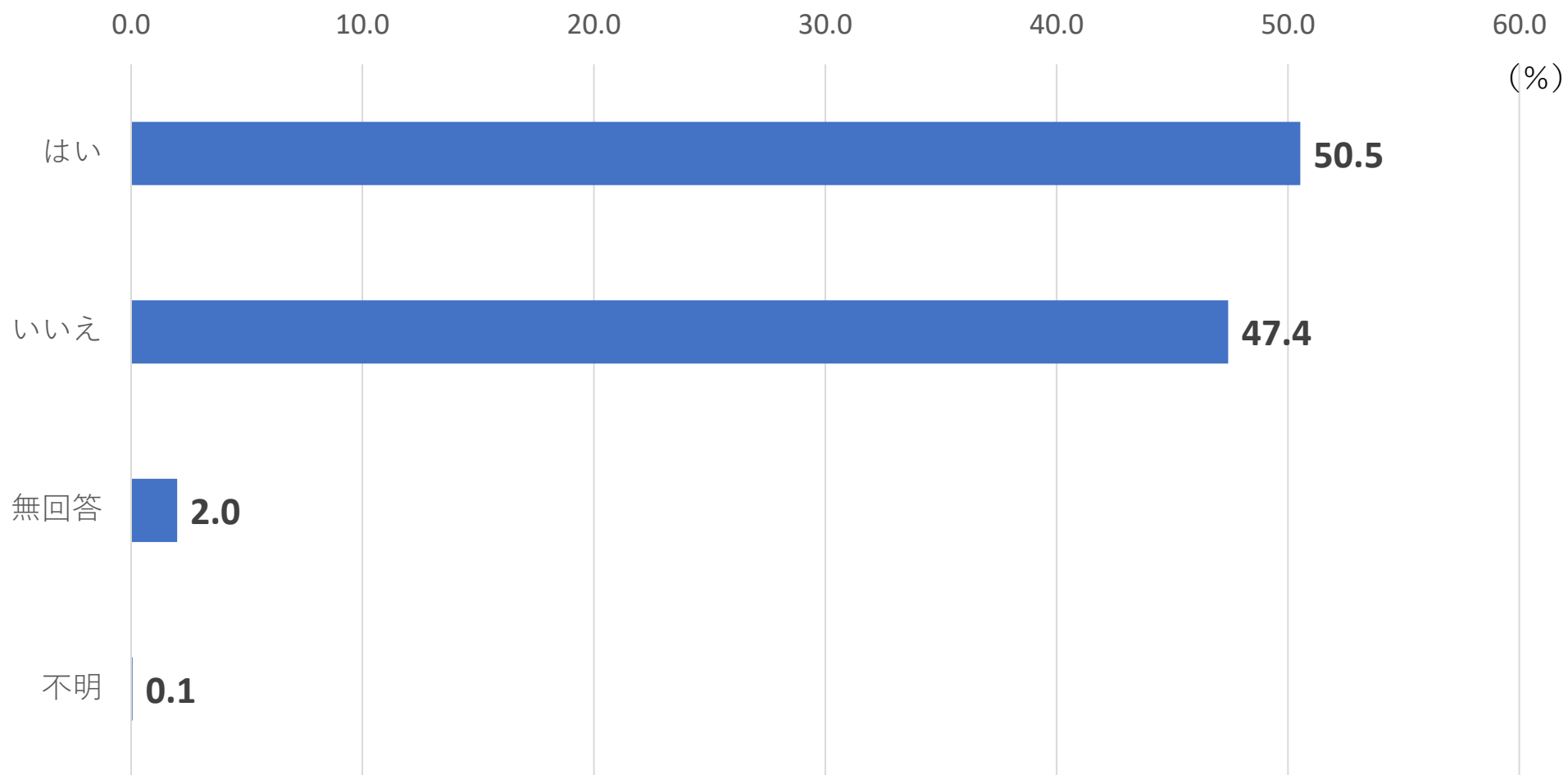
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q5 この1ヵ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

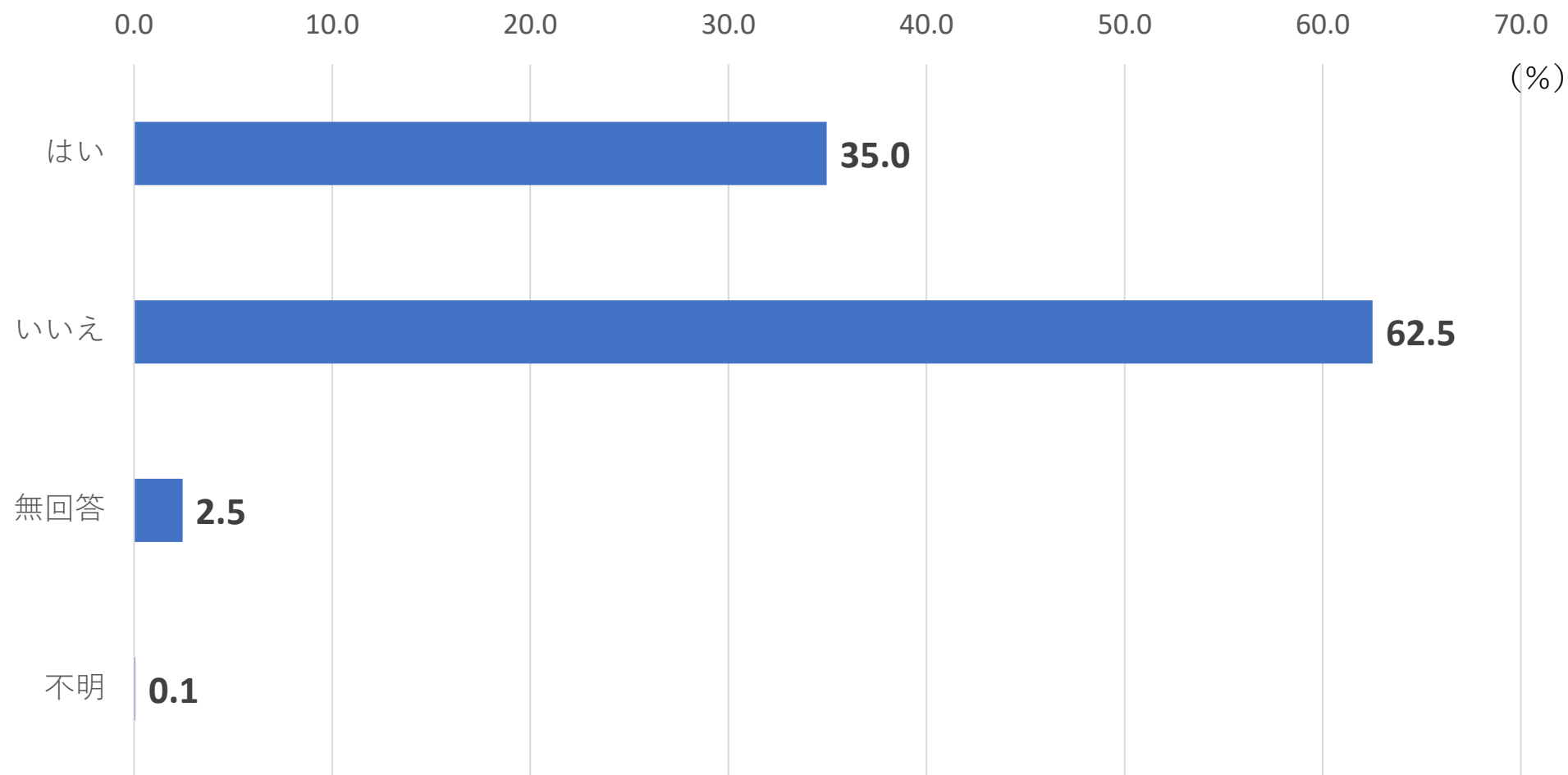
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q6 この1ヵ月間, どうしても物事に対して興味がわかない, あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

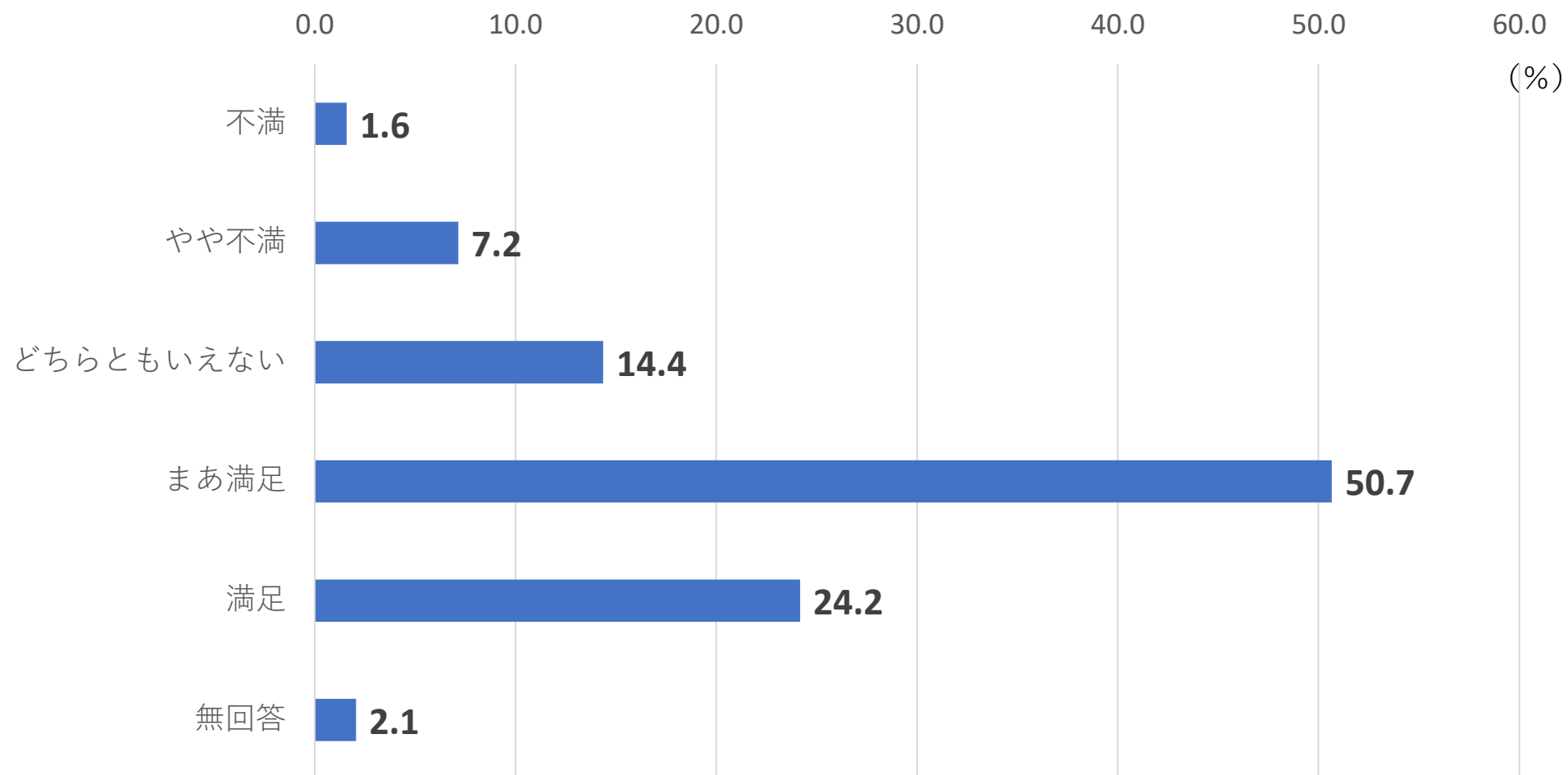
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q7 ご本人(宛名に記載されている方)が利用している介護(医療)サービスに、あなたはどの程度満足していますか

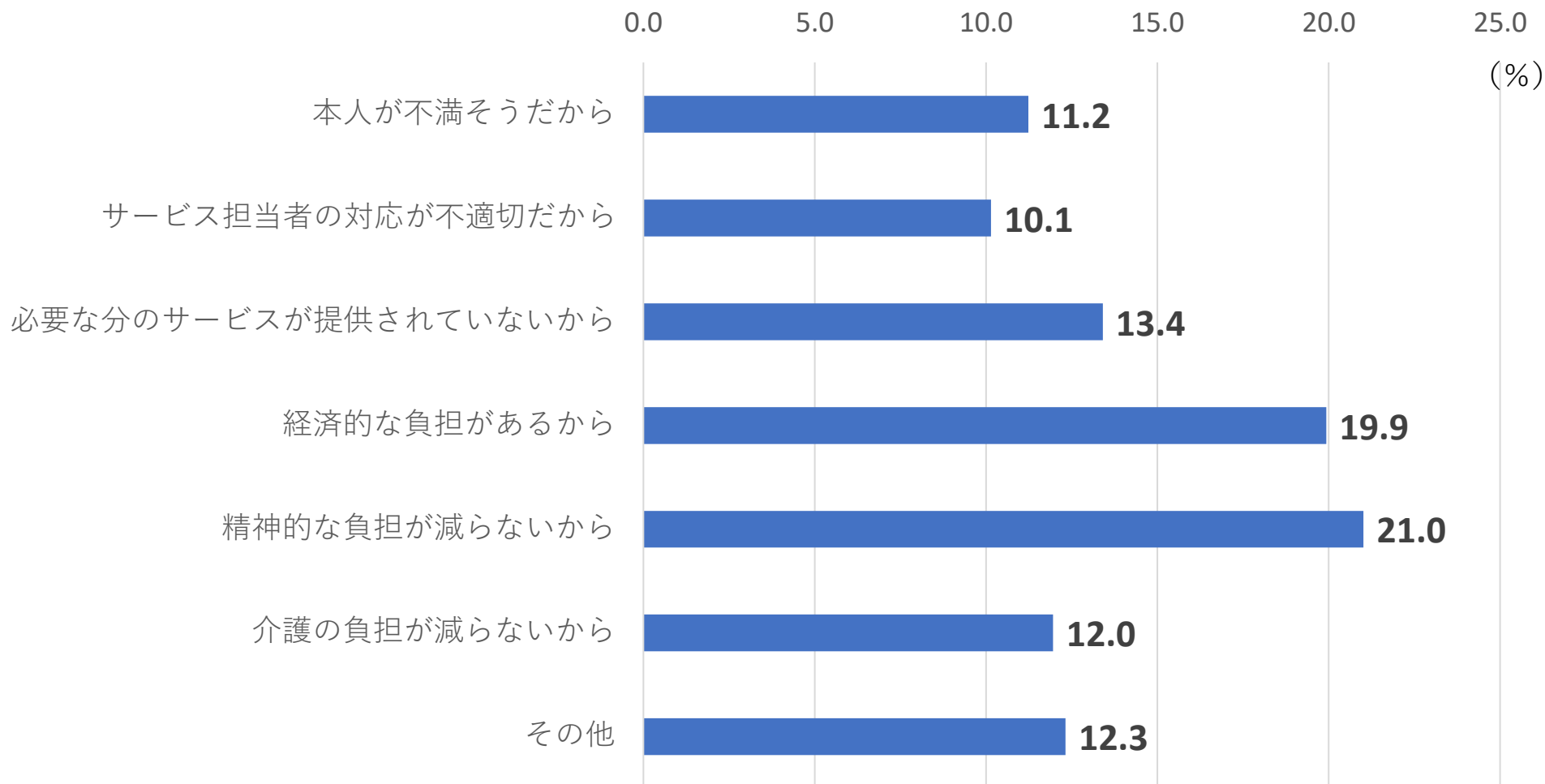
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q8 「1. 不満／2. やや不満」と回答された理由をお聞かせください

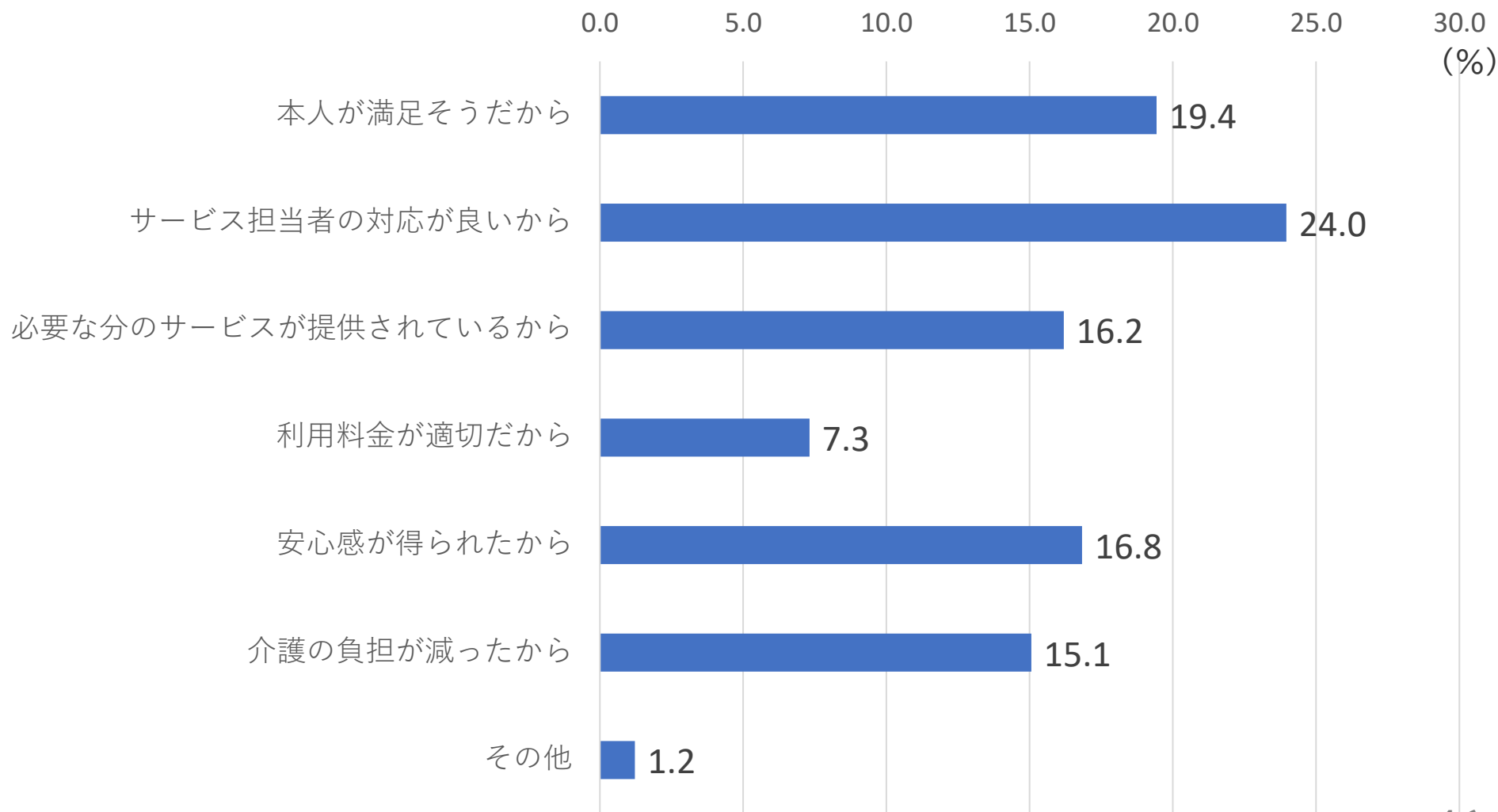
複数回答, 回答者数=276



Ⅱ 家族調査

Q9 「4. まあ満足／5. 満足」と回答された理由をお聞かせください

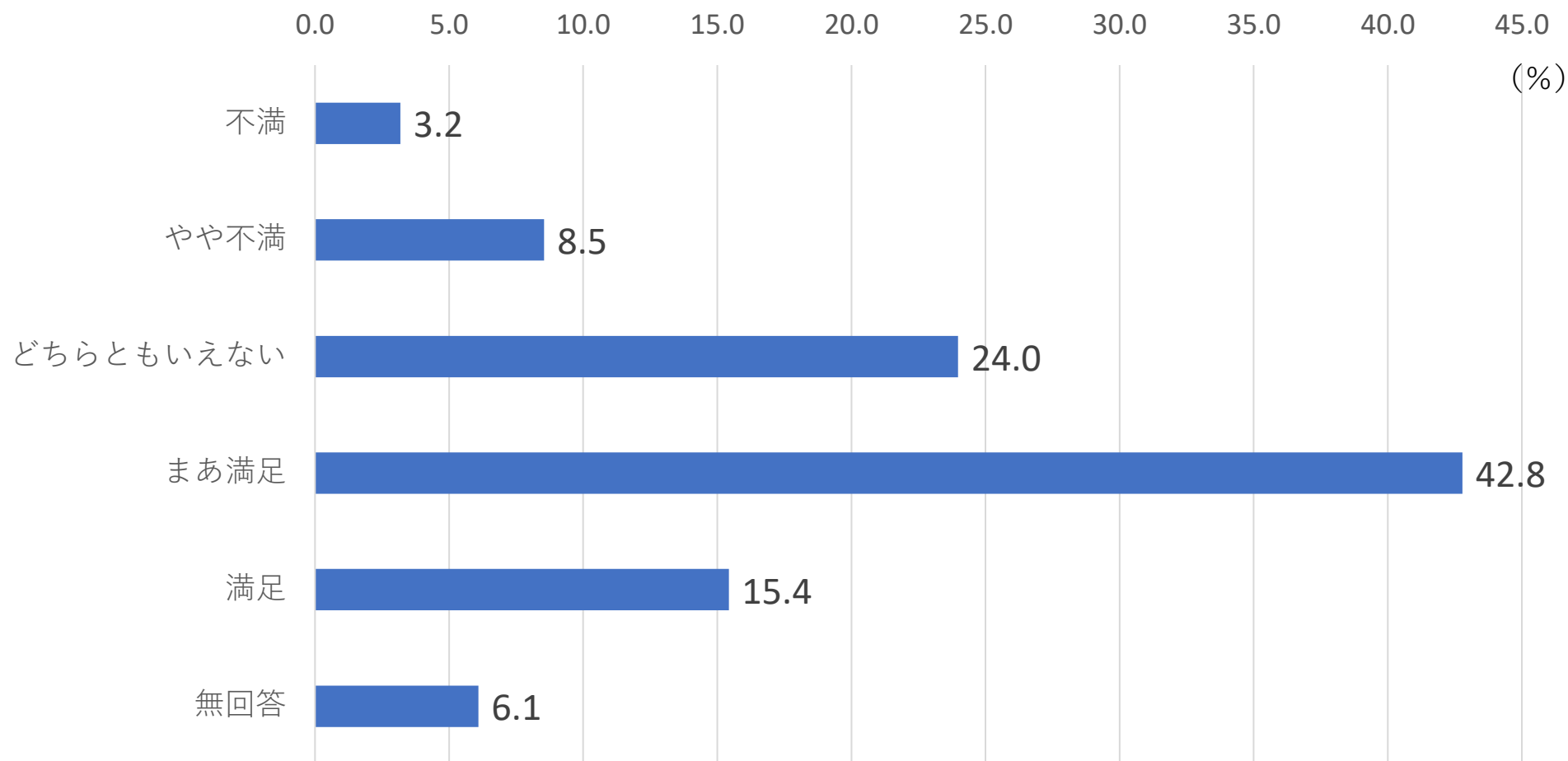
複数回答, 回答者数=3,268



Ⅱ 家族調査

Q10-1 あなたは、以下の内容について、ご本人(宛名に記載されている方)が、それぞれどのように感じていますか？ ●食事

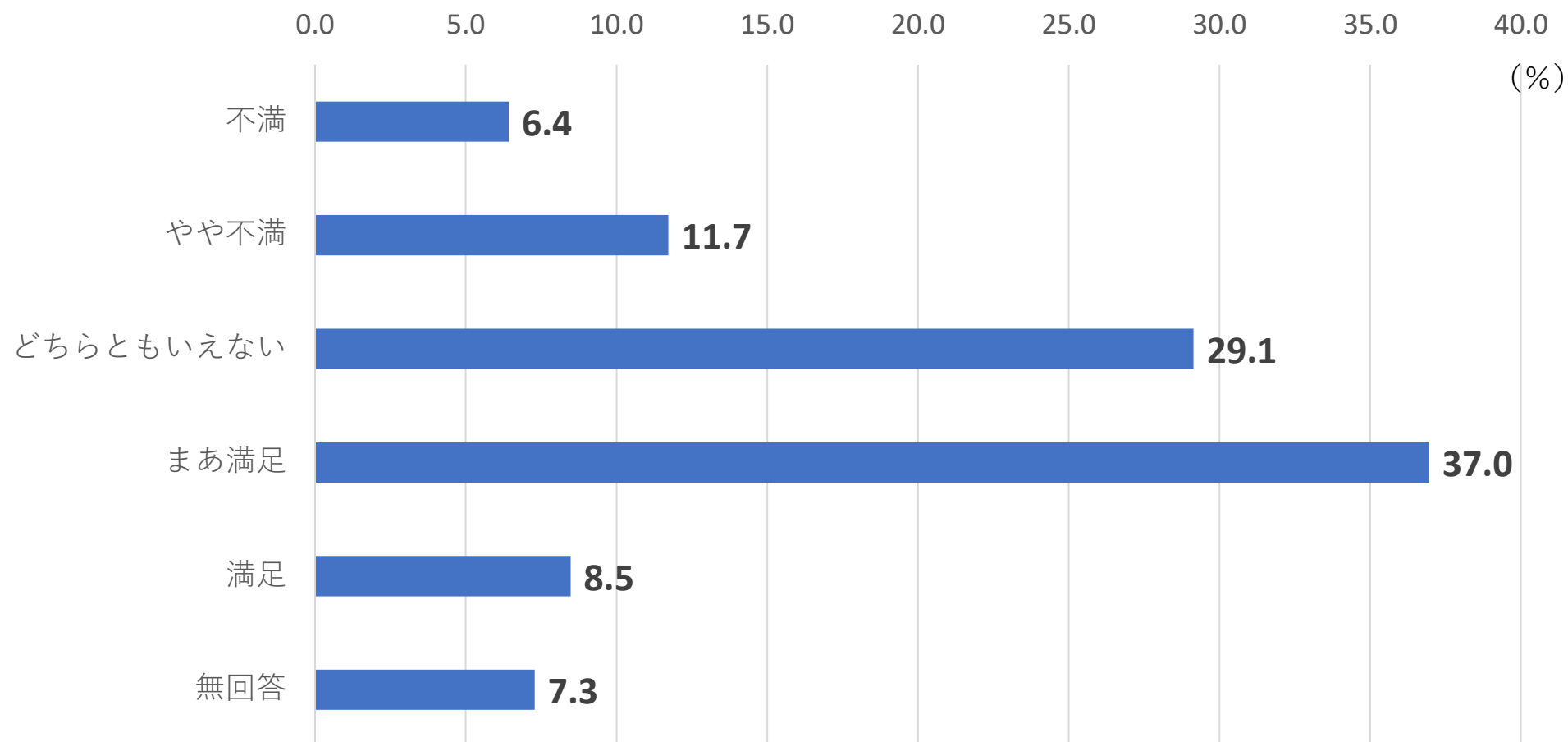
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q10-2 あなたは、以下の内容について、ご本人(宛名に記載されている方)が、それぞれどのように感じていると思いますか？ ●身体的な痛みの緩和(コントロール)

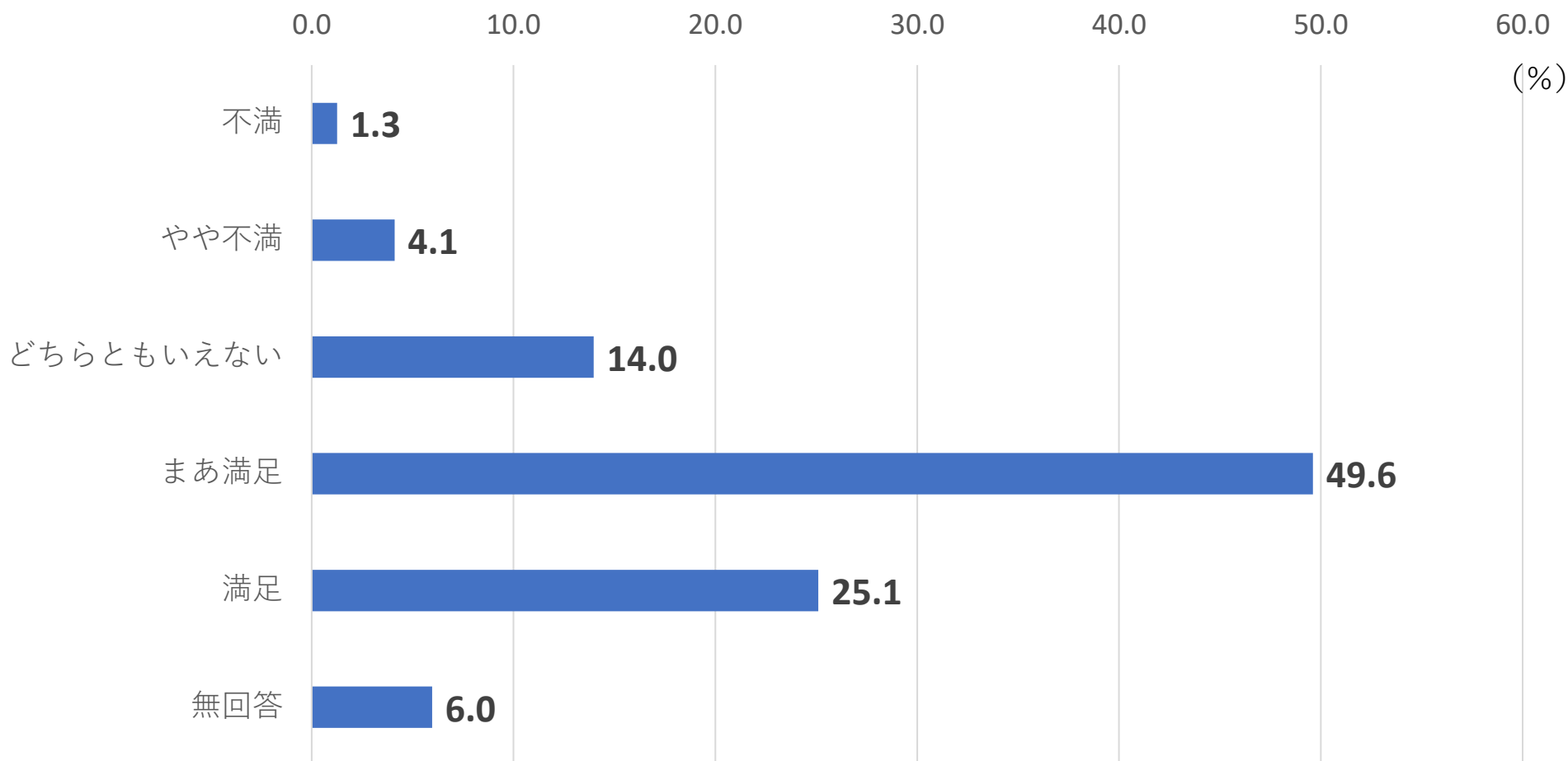
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q10-3 あなたは、以下の内容について、ご本人(宛名に記載されている方)が、それぞれどのように感じていますか？ ●住環境の清潔さ

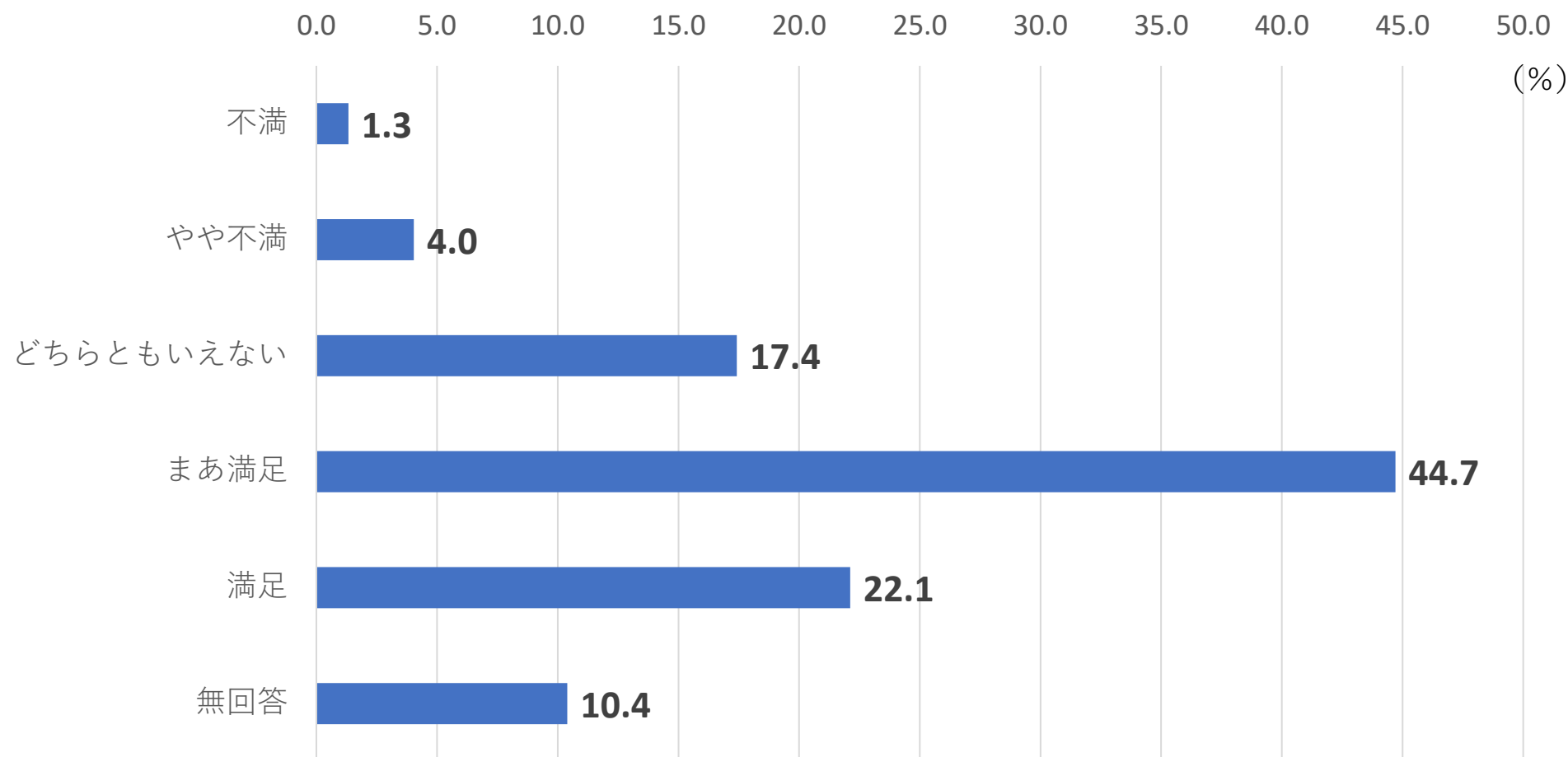
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q10-4 あなたは、以下の内容について、ご本人(宛名に記載されている方)が、それぞれどのように感じていますか？ ●在宅生活の安心感

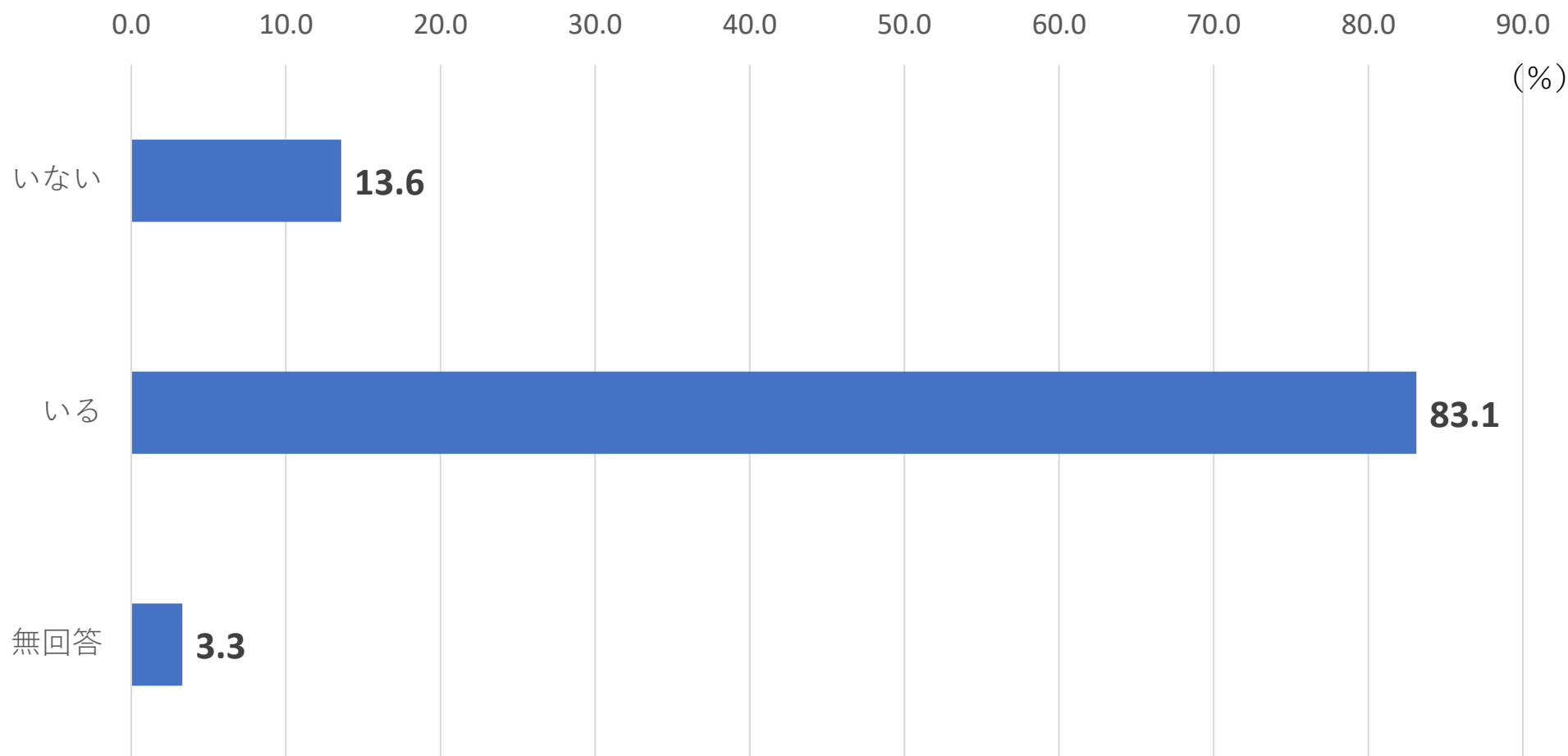
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

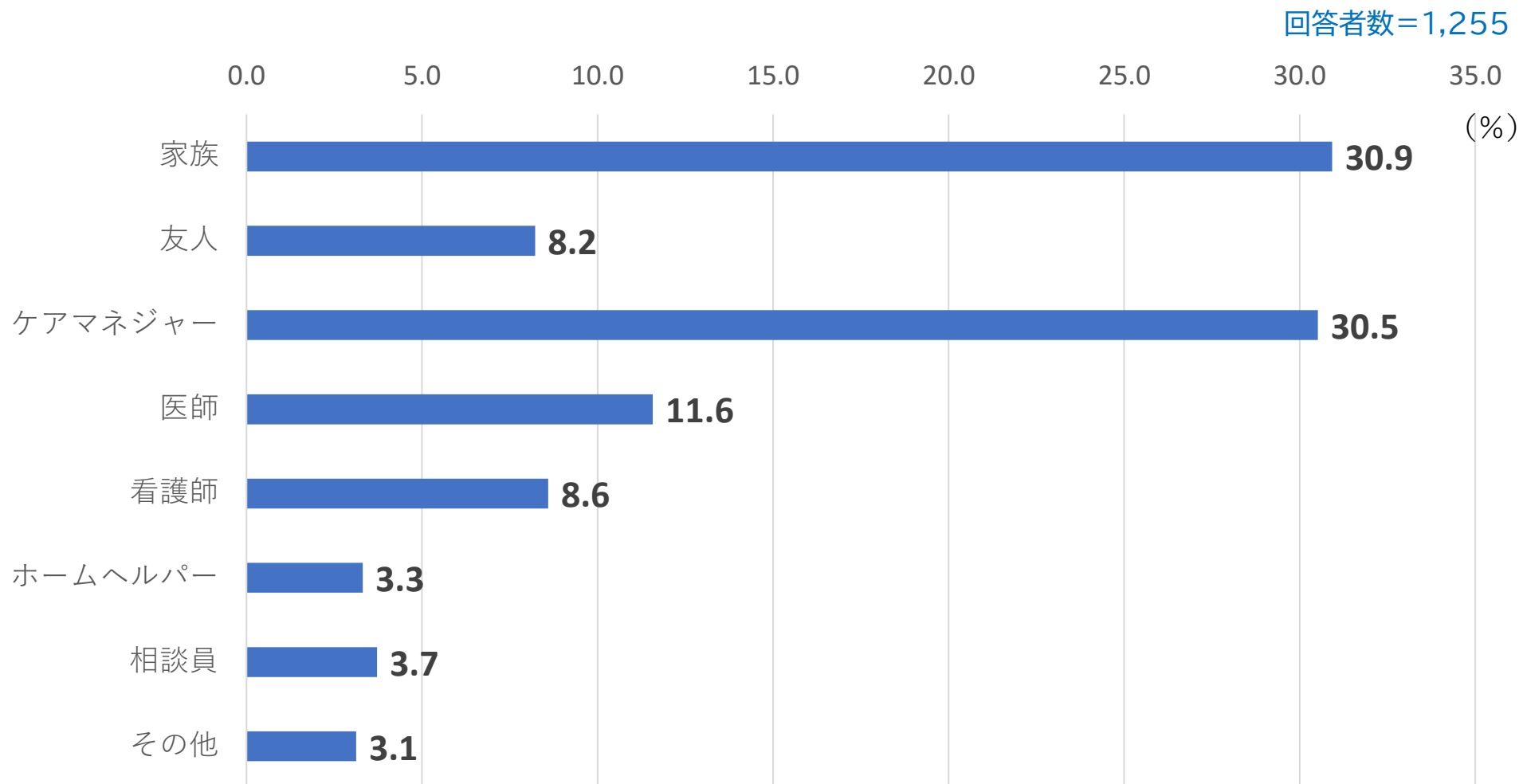
Q11 医療・介護を含めた生活上の心配ごとを気軽に相談できる相手はいますか

回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

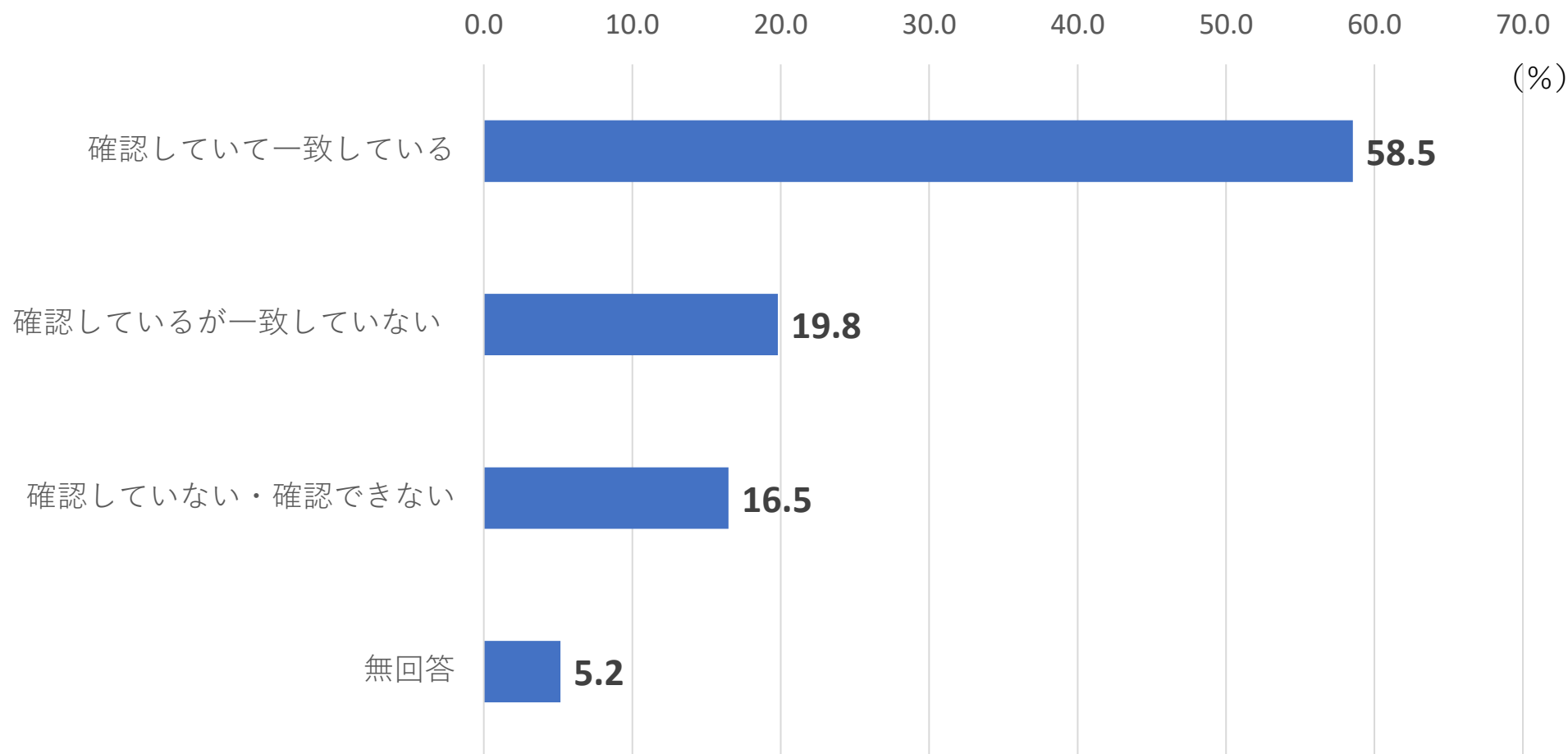
Q12 Q11で「2. いる」と回答された方のみ, あてはまるものを選んでください。



Ⅱ 家族調査

Q13 あなたは、ご本人(宛名に記載されている方)の意向を日頃から確認していますか

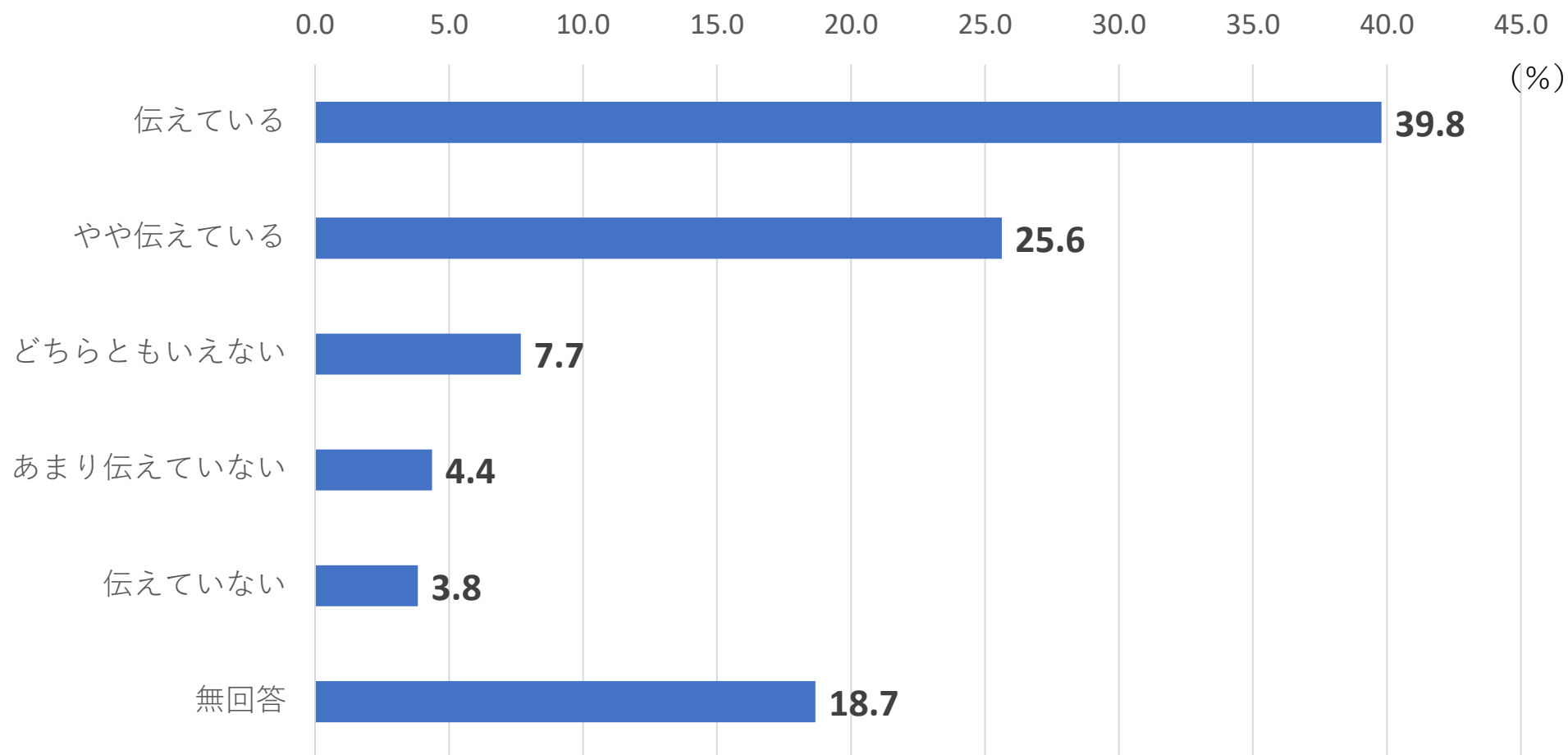
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q14 あなたは、サービス担当者にご本人(宛名に記載されている方)の意向を伝えていますか

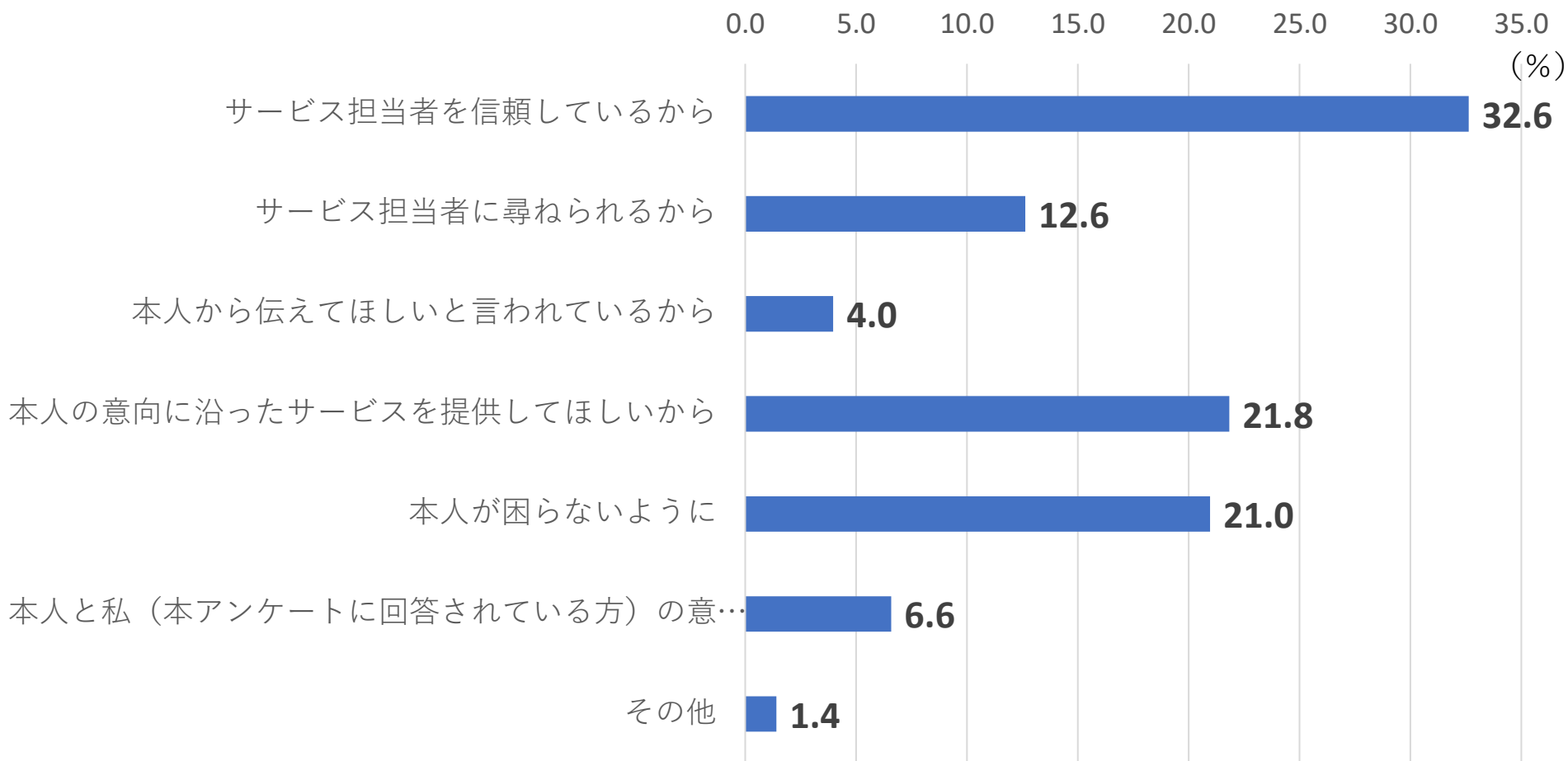
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q15 Q14で「1. 伝えている／2. やや伝えている」と回答された理由をお聞かせください

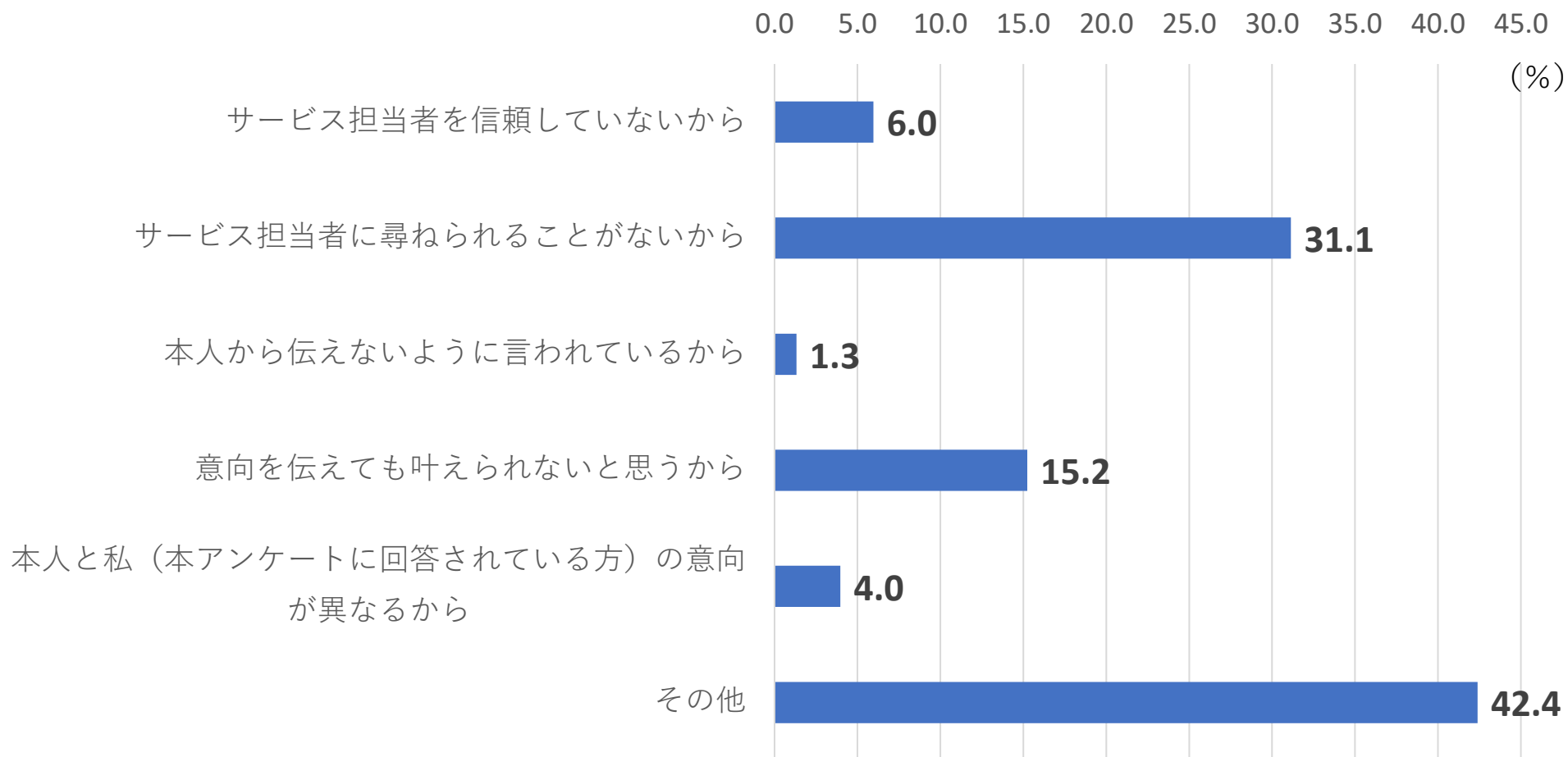
複数回答, 回答者数=2,066



Ⅱ 家族調査

Q16 Q14で「4. あまり伝えていない／5. 伝えていない」と回答された理由をお聞かせください

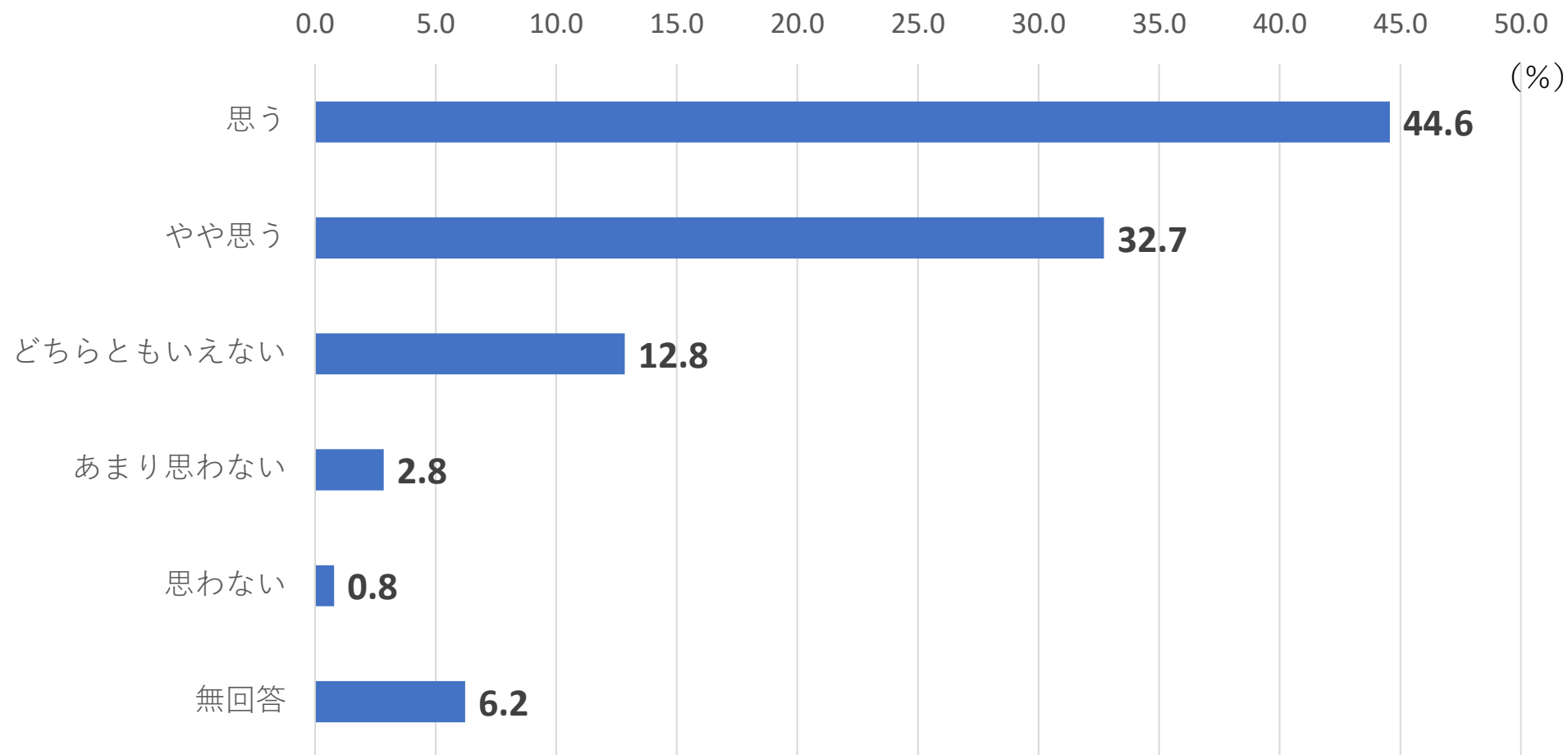
複数回答, 回答者数=151



Ⅱ 家族調査

Q17 サービス担当者は, ご本人(宛名に記載されている方)の望む暮らしを実現しようとしてくれていると思いますか

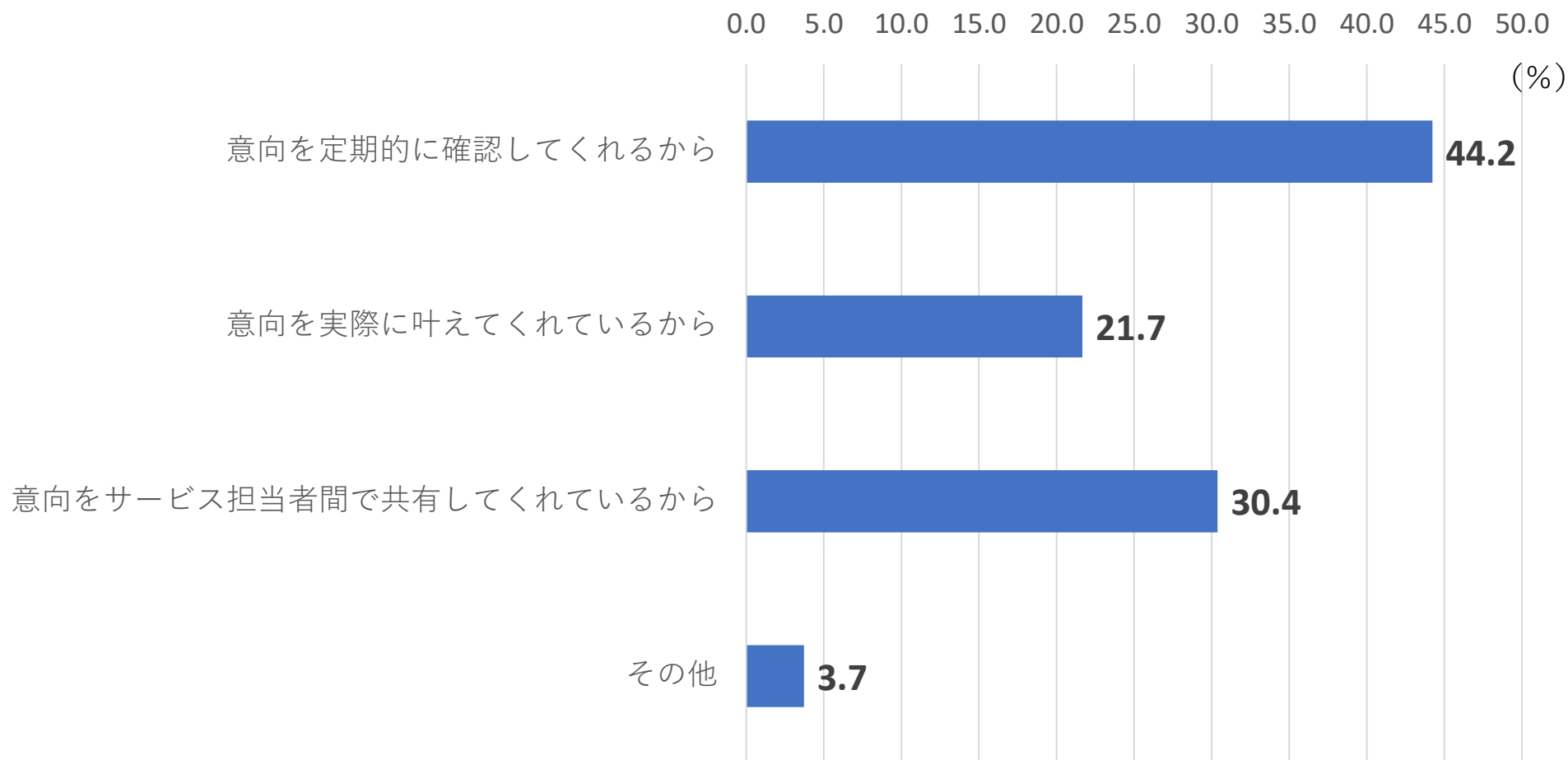
回答者数=1,510



Ⅱ 家族調査

Q18 「1. 思う／2. やや思う」と回答された理由をお聞かせください

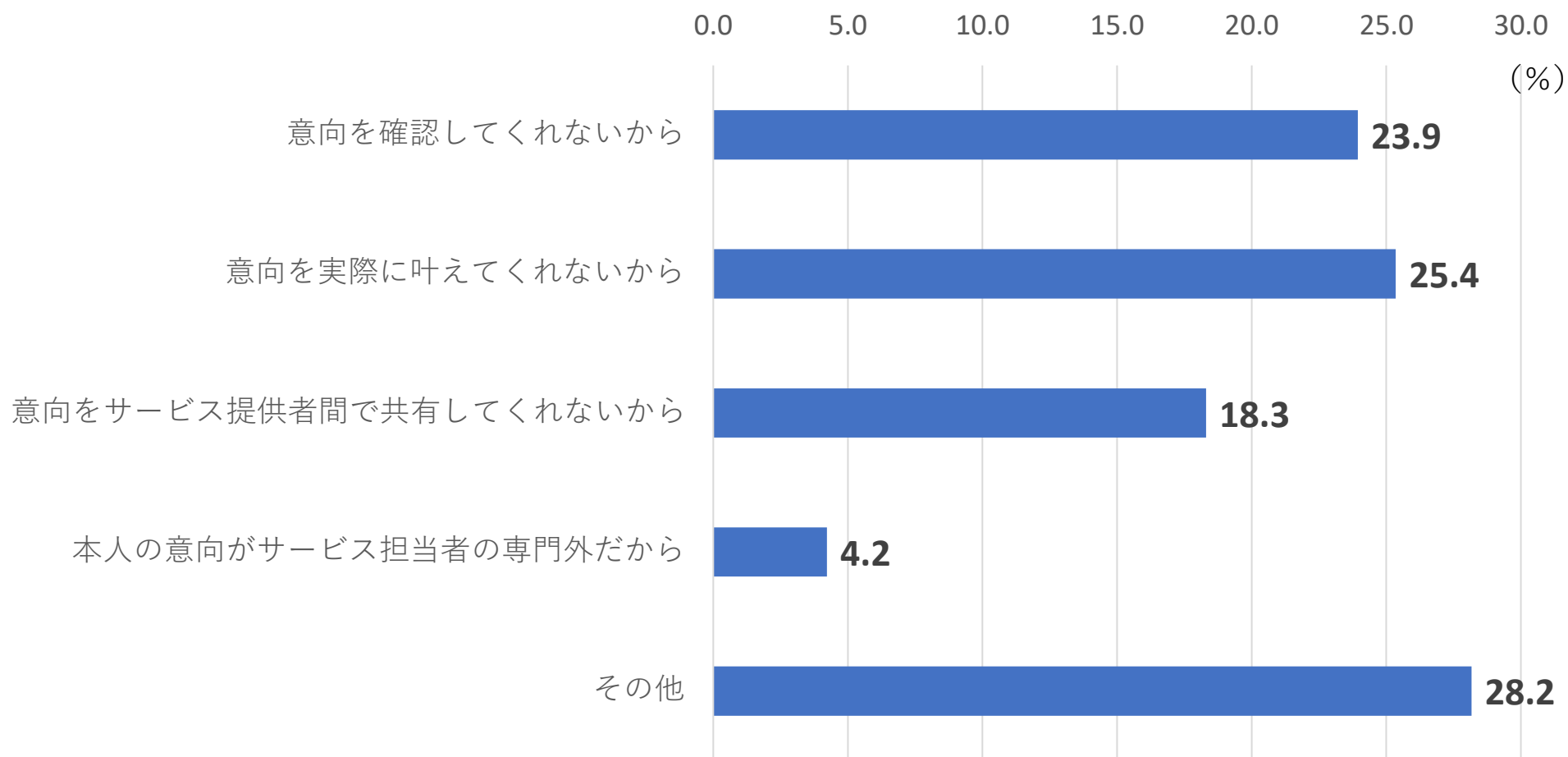
複数回答, 回答者数=1,804



Ⅱ 家族調査

Q19 「4. あまり思わない／5. 思わない」と回答された理由をお聞かせください

複数回答, 回答者数=71



Ⅱ 家族調査

Q20 あなたは、今後もご本人(宛名に記載されている方)の療養を支えていけそうですか

回答者数=1,510

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0
(%)

問題なく、支えていけそう

22.1

問題はあるが、何とか支えていけそう

58.9

支えていくのは、やや難しい

10.2

支えていくのは、かなり難しい

3.5

2 医療従事者調査

○調査概要

対象

・・・在宅医療に携わる医療従事者(医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 薬剤師, 診療所看護師および管理栄養士で, 常勤・非常勤を問わず。)約1,814名

方法

・・・WEBフォーム

実施期間

・・・R7.9.1～R7.9.30

回収数

・・・95名(回収率5.2%)

有効回答数

・・・91名(有効回答率5.0%)

【設問】

Q1・Q2・Q3・Q4 アンケート記入者・・・63～66ページ

Q5・Q6 満足度・・・67～68ページ

Q7・Q8・Q9・Q10 意向確認・・・69～72ページ

Q11・Q12 連携先・・・73～78ページ

Q13・Q14・Q15・Q16・Q17 相談先・・・79～88ページ

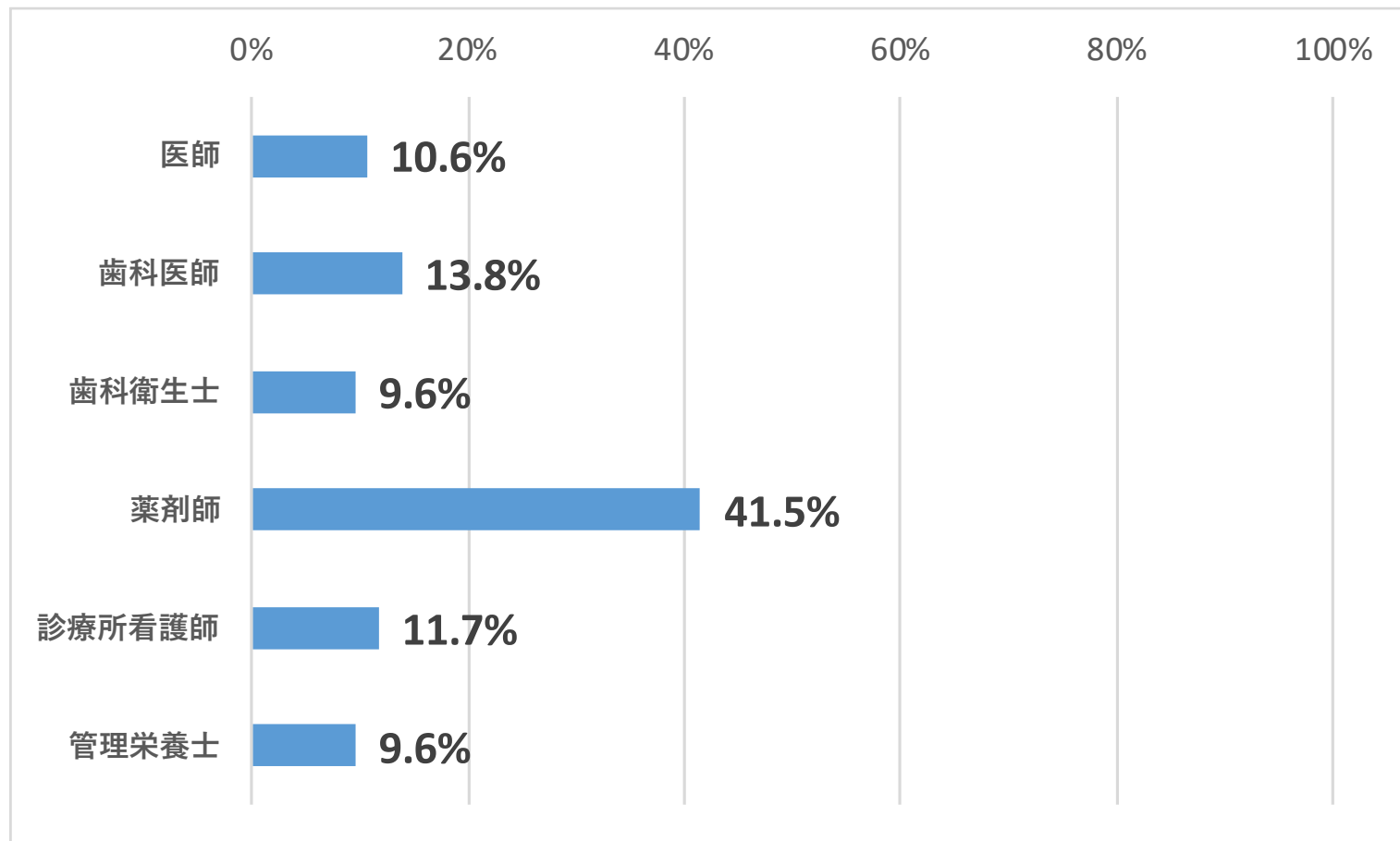
Q18・Q19 病院との連携・・・89～92ページ

Q20 医療・介護連携への意見, 提案・・・93ページ

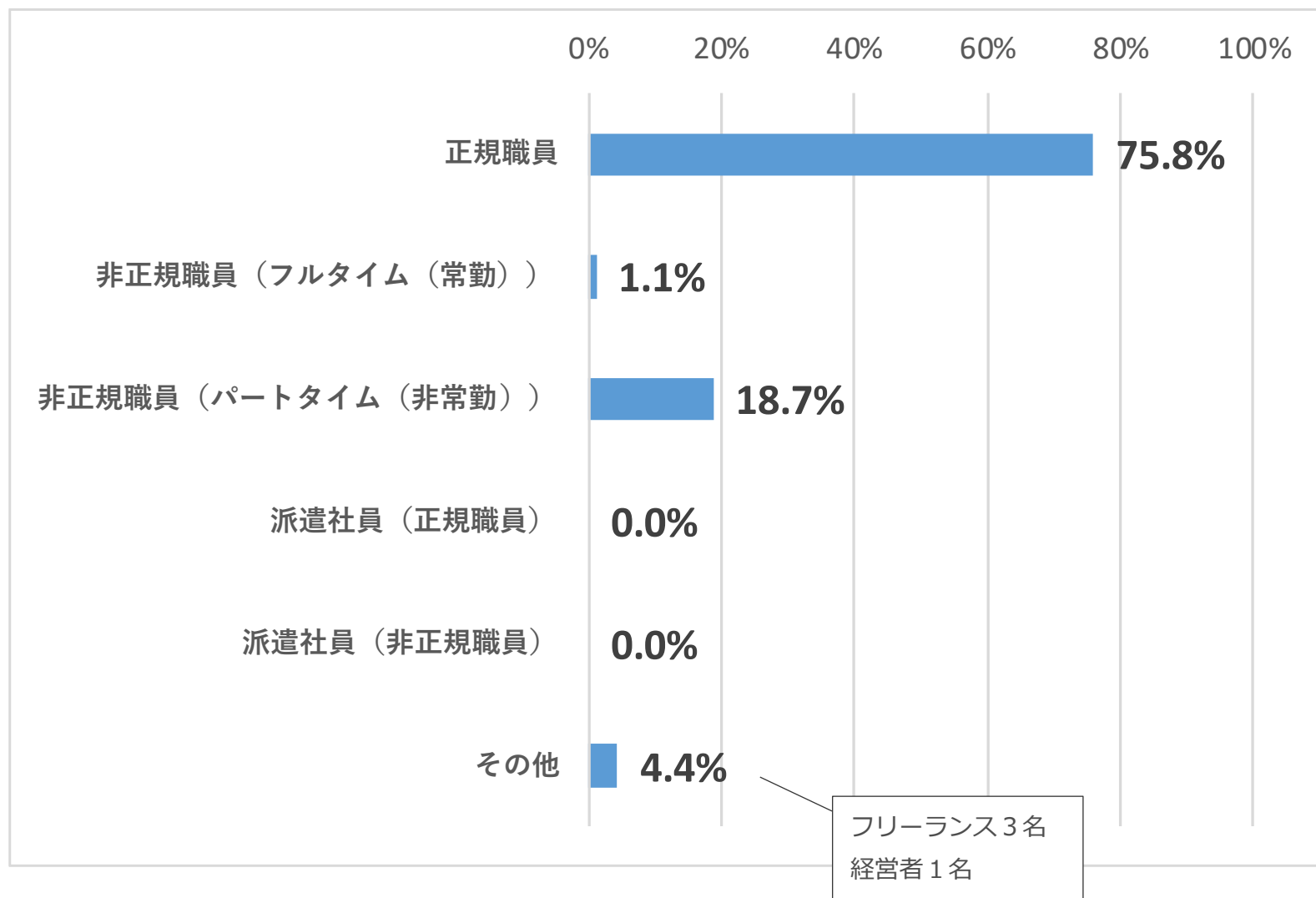
医療従事者調査

Q1 あなたの職種に該当するもの(主なもの)を1つ選択してください

回答者数=91



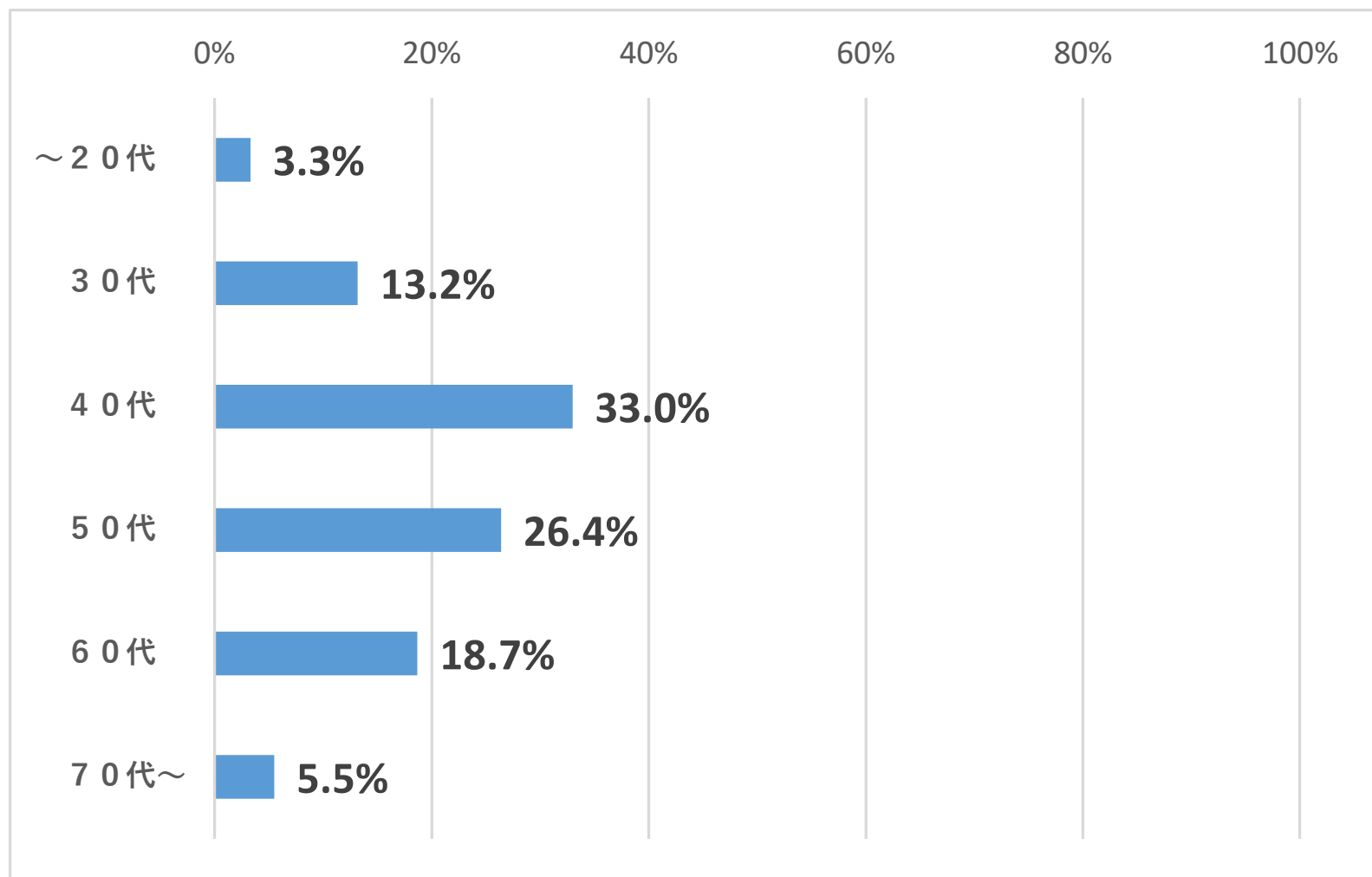
Q2 勤務先での雇用形態を選択してください 回答者数=91



医療従事者調査

Q3 年代

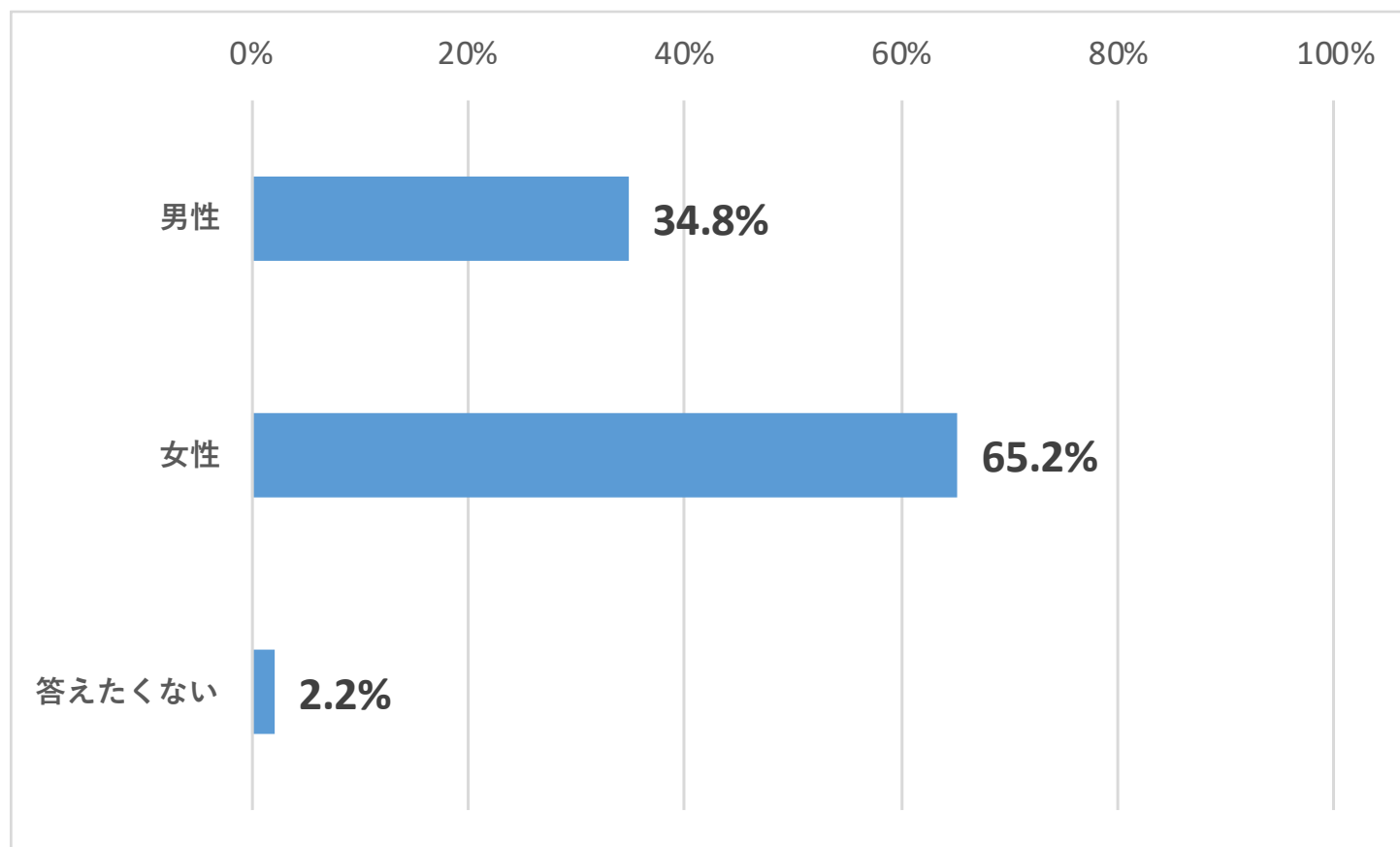
回答者数=91



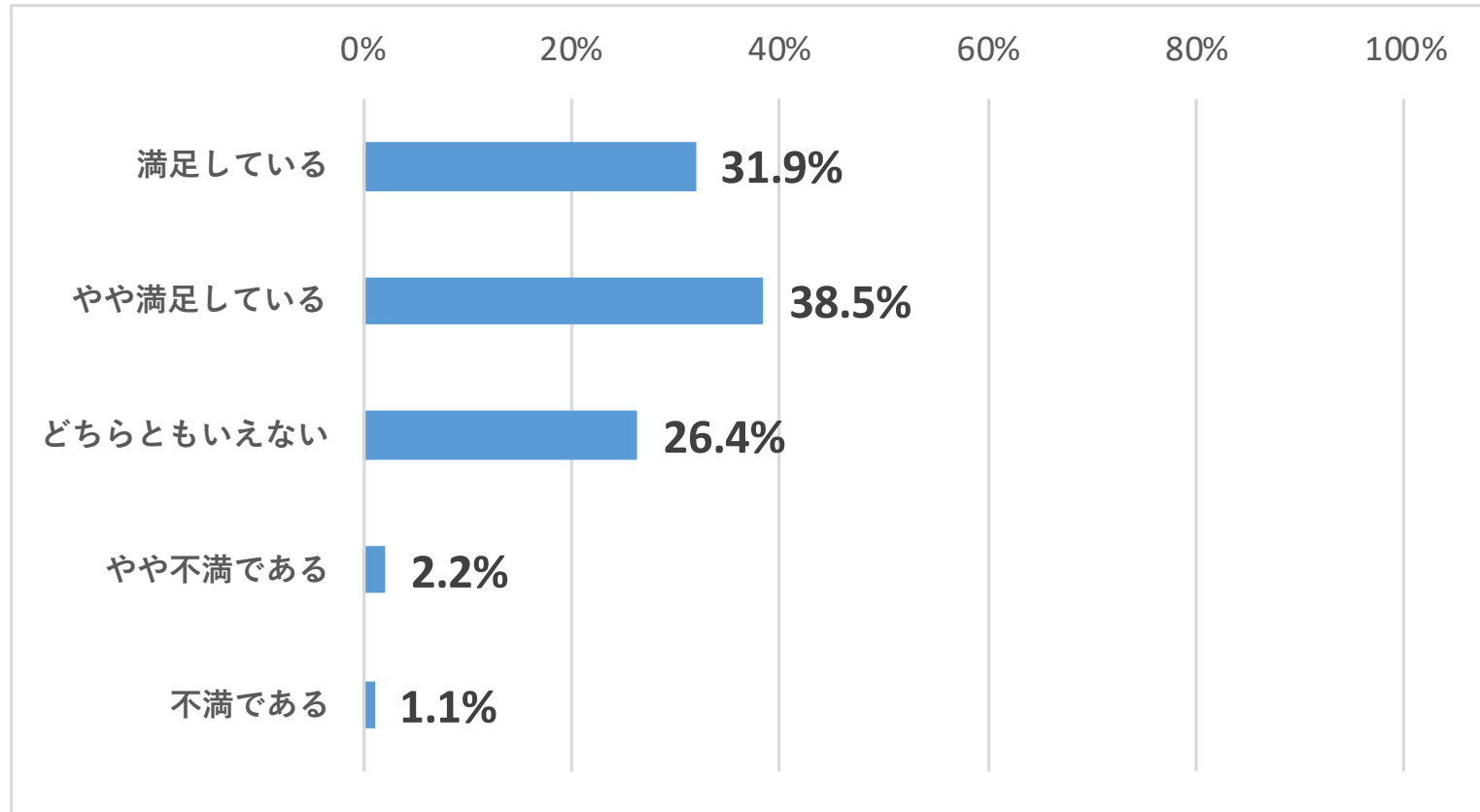
医療従事者調査

Q4 性別

回答者数=91

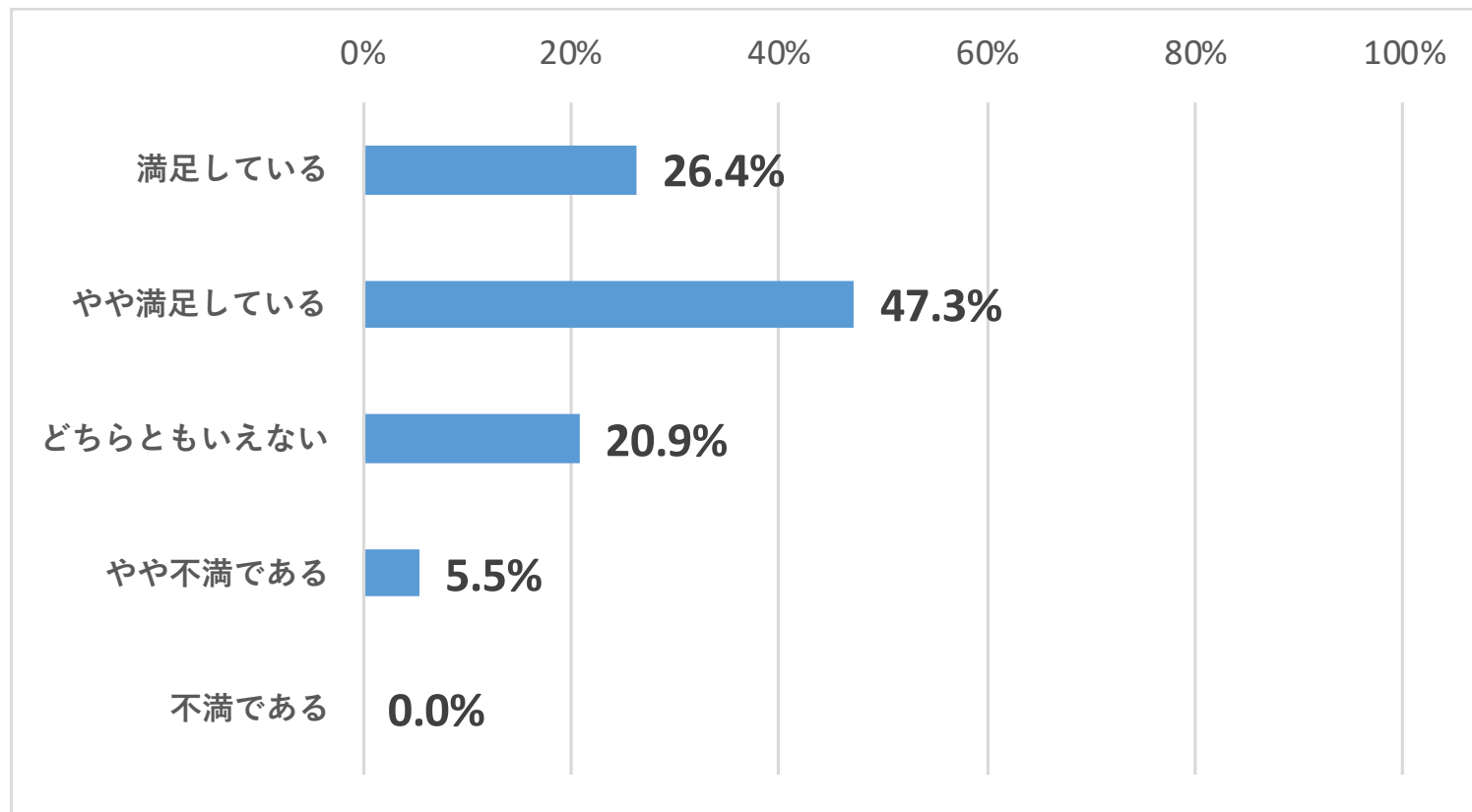


Q5 あなたは、現在の仕事に、どの程度満足していますか 回答者数=91



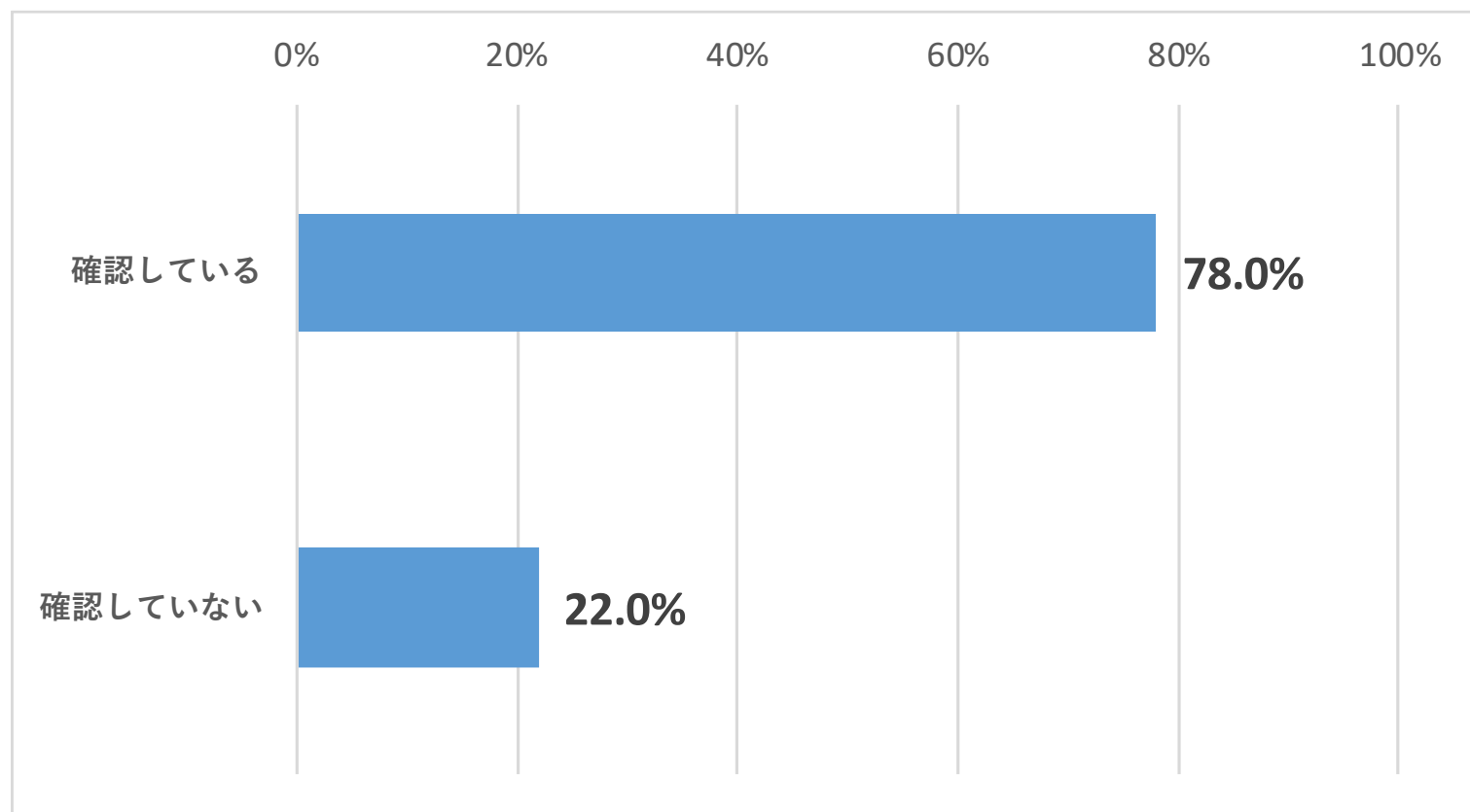
Q6 あなたは、全体として、現在の生活に、どの程度満足していますか

回答者数=91



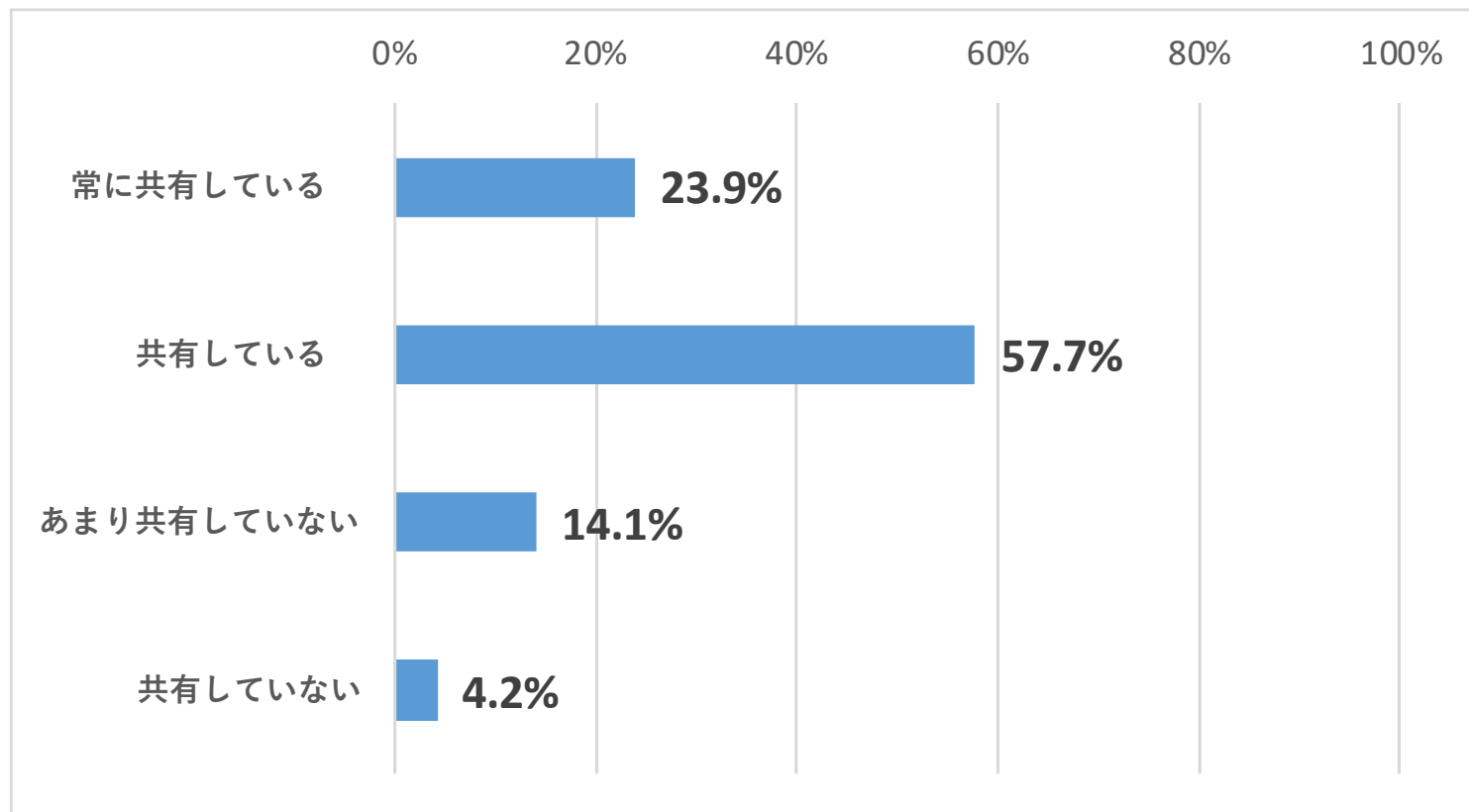
Q7 あなたは、サービスを提供する本人・家族の意向を、
日頃から確認していますか

回答者数=91

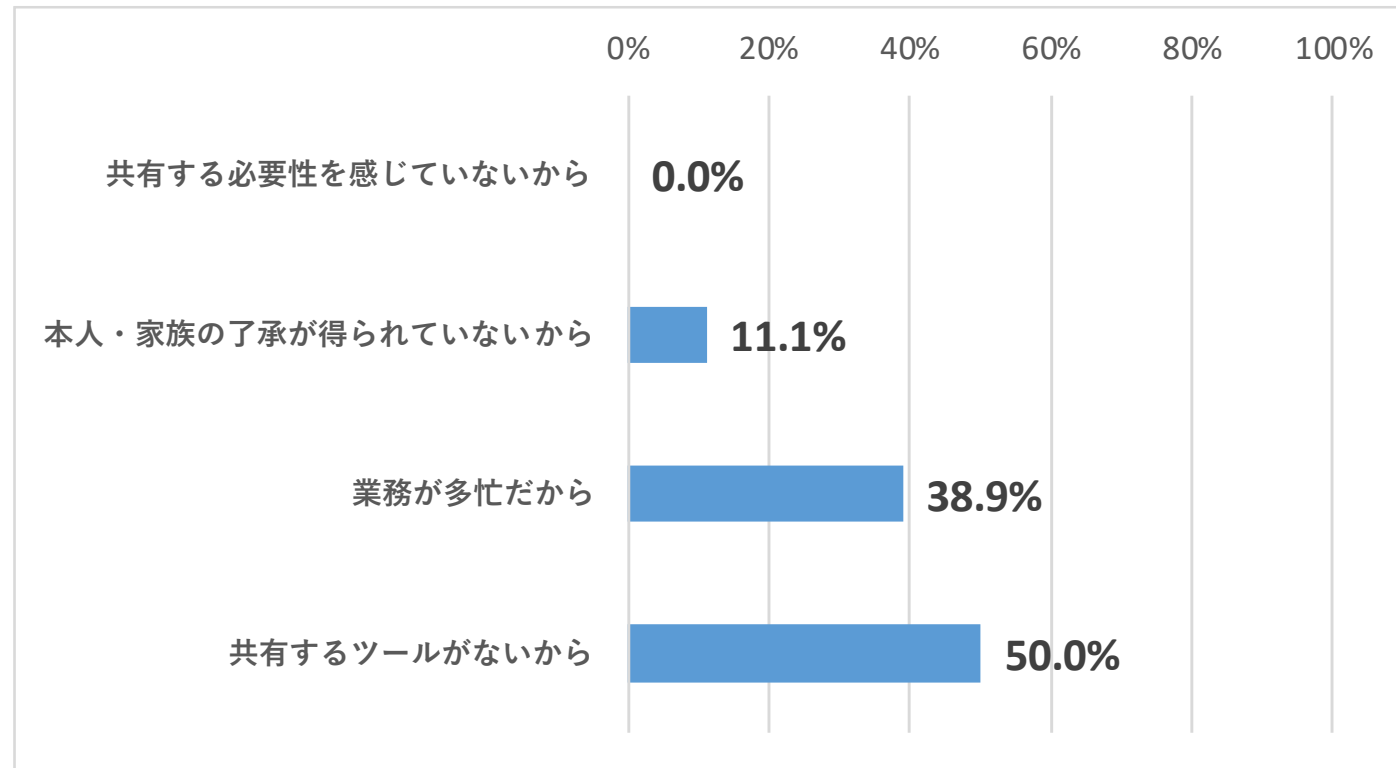


Q8 Q7で「1. 確認している」と回答した方に伺います。確認した本人・家族の意向は、共にサービスに関わる多職種と共有していますか

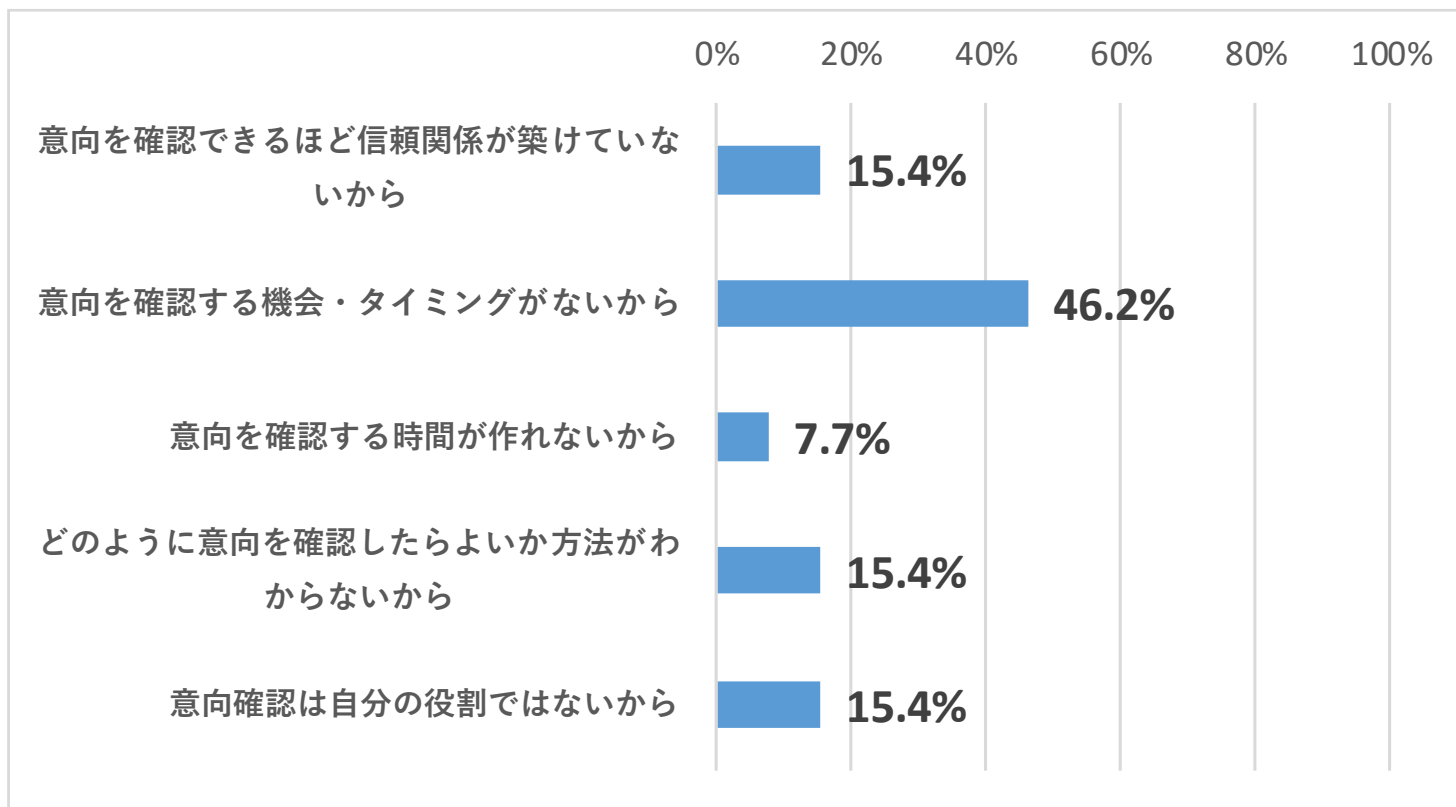
回答者数=71



Q9 Q8で「3. あまり共有していない」「4. 共有していない」と回答した方に伺います。理由を教えてください(複数回答可)

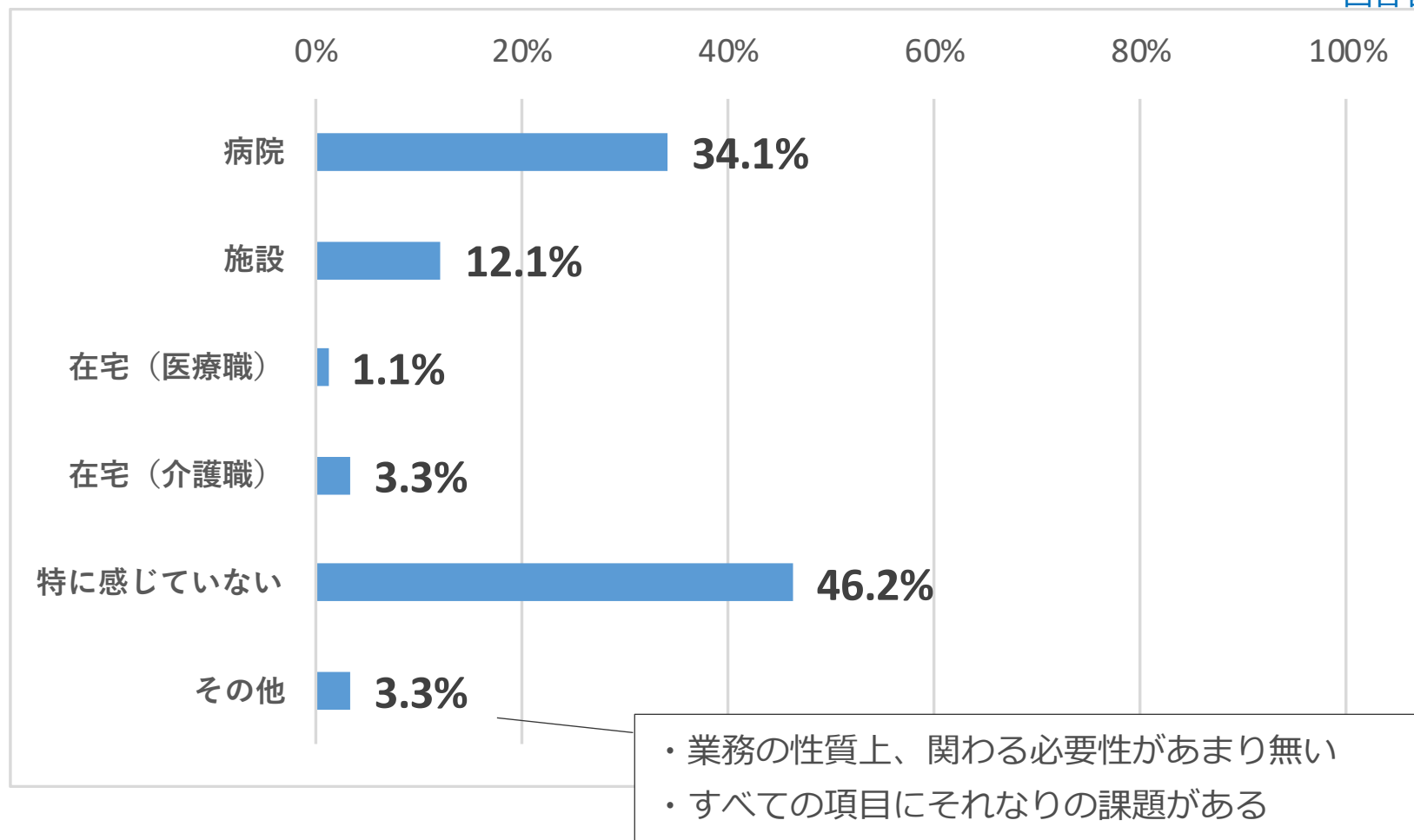


Q10 Q7で「2. 確認していない」と回答した方に伺います。 理由を教えてください(複数回答可)



Q11 多職種連携において課題を感じる連携先について教えてください。

回答者数=91



Q12 Q11で選んだ連携先について、具体的にどのような課題を感じていますか？

【一方通行・未確認】

- ・情報が一方通行
- ・医師によっては、報連相が一方通行
- ・果たしてこちらの情報をどこまで確認されているか、いまいちよくわからない
- ・報告書を見ていただけてないと感じる
- ・提案事項や情報共有事項などを記載しても反映されず、コミュニケーションがとれていない
- ・報告書のみのやりとりで、医師の意向がわからない

【手段・スピードの不足】

- ・連絡手段が電話のみ
- ・連絡手段があまりない
- ・ファクスなどを用いて、情報提供
- ・頻繁に緊密な連絡が取れない
- ・疑義照会がスムーズにいかない
- ・連携体制が確立していない

医療従事者調査

【内容の不備・不足】

- ・医師の処方意図や病名が不明
- ・要領よくまとめられた診療情報提供書が、おおい
- ・食形態の内容の違い
- ・転院してきた場合の過去の投薬状況
- ・栄養情報提供書がいつも、いただける訳ではないので、進まないことがある
- ・薬剤供給が難しい時があるが、提案を見てくれていない

【心理的ハードル・態度】

- ・医師と話すのは敷居が高く感じるから
- ・先生を神聖化して先生の意見は絶対と言う病院の事務員がいるせいで、患者が要望を伝えにくい
- ・病院のドクターは忙しくてお会いできない
- ・気軽に問い合わせが出来ない
- ・病院によって対応が横柄で連携が取れない
- ・歯医者に対して威圧感を感じている所を改善した方が良い

医療従事者調査

【職種別の状況】

- ・歯科医師とは連携がとりやすいですが医師とはなかなか難しい
- ・一般歯科の参入がしづらい
- ・施設側(介護食側)が歯科(歯科関係者)について関心が薄いように感じる
- ・提携歯科医院との齟齬がある
- ・広域病院の処方医と在宅医療の現場の意思疎通ができない
- ・話が通じない施設やケアマネがいる
- ・病院の高齢者への対応が悪い

【人手不足・多忙】

- ・多忙過ぎるのでは
- ・人手不足により希望通りの依頼ができないことがある
- ・施設職員のマンパワーが足りない為、こちらからの指導が届かず、使用ツールの統一化も難しい
- ・近年、外国の技能実習生が多く日本語自体が通じない
- ・ツールが紛失する事もあり、管理の件は「人手が足りず難しい」との回答になることも多い

医療従事者調査

【退院時・施設入所時のズレ】

- ・入院後にこちらに連絡なく退院後施設入居が決まるなど、退院後の方向が連絡がない。
- ・往診患者に急変があったときもなかなか頼めない
- ・病状の報告と受入れの可否
- ・施設によって対応できる内容や程度に差がある
- ・施設によっては職員と連携とれにくい場合がある
- ・お伝えしたい事が上手く伝わらない事がある
- ・病院の医師と直接対話したことがない
- ・施設と家族の連携がとれていないと、医療の内容や訪問方法について介入しにくい

【退院調整の不備】

- ・病院SWが、かかりつけ医(・薬剤師)があるのに無視して別の所に依頼することがある。患者の歴史への配慮が弱い。

【責任と役割の押し付け】

- ・施設スタッフの把握・報告が決定的に遅いのに、非常に悪くなってから「先生から家族に説明(引導)を」と依頼してくる

医療従事者調査

【施設での医学的判断のリスク】

- ・介護職が自覚症状のない患者に独自判断で血圧測定や入浴禁止を指示するが、合法なのか。
- ・心不全患者にむやみに水を飲ませて増悪させている例が非常に多い。熱中症予防のつもりが危険であることを知ってほしい。

【患者の権利侵害】

- ・施設入居時に、施設指定の医師へ強制的に変更させる(虚偽の説明を含む)ケースがある。自己決定権の侵害。

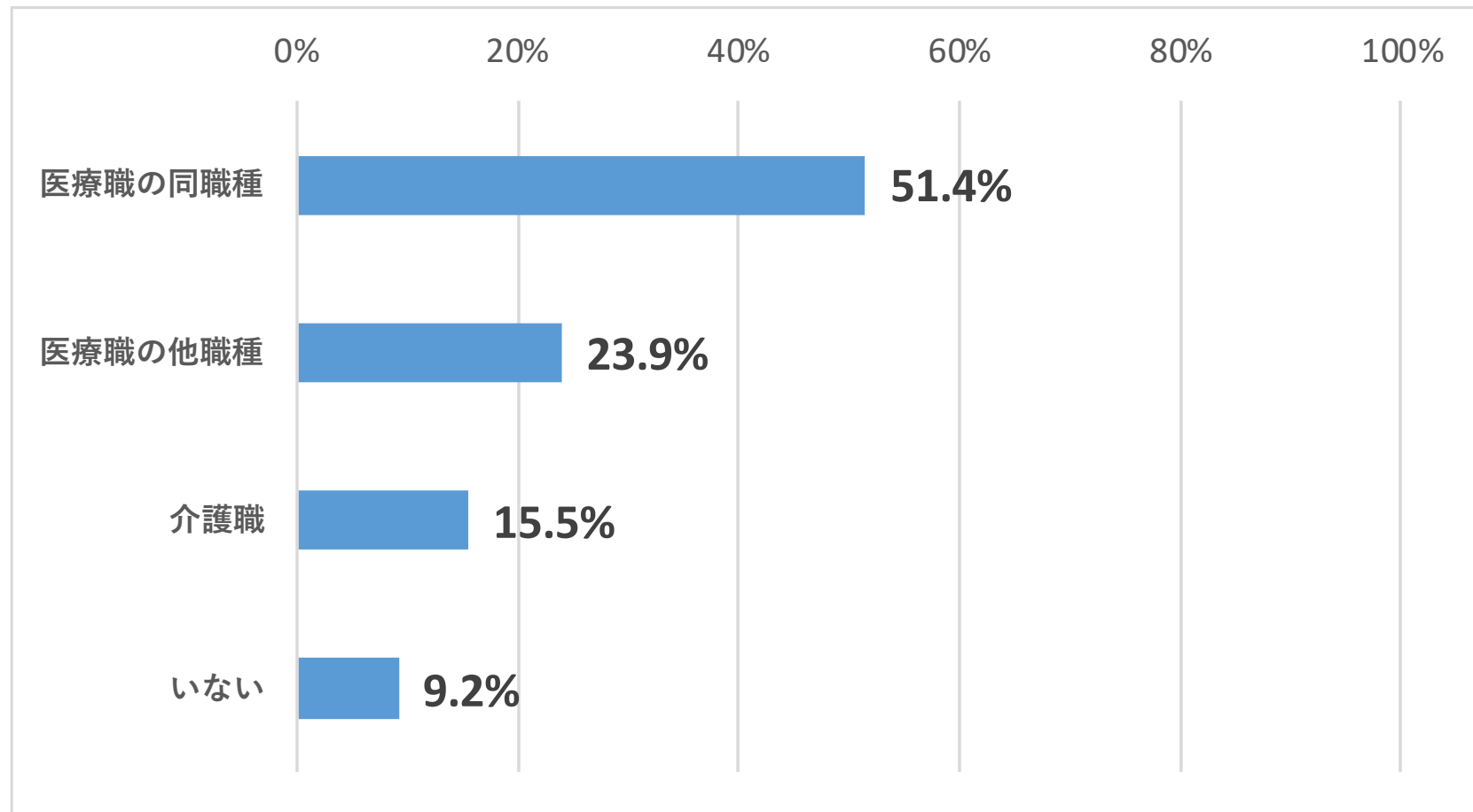
【ケアマネとの連携】

- ・医師の助言を採用しないケアマネがいて、生命の危険に陥った例がある。
- ・福祉用具や訪問看護の選定において、勉強不足や相談不足が散見される。
- ・在宅医療機関の質営利目的で運営しているように見える機関がある。患者を単価(収入源)として見ている。

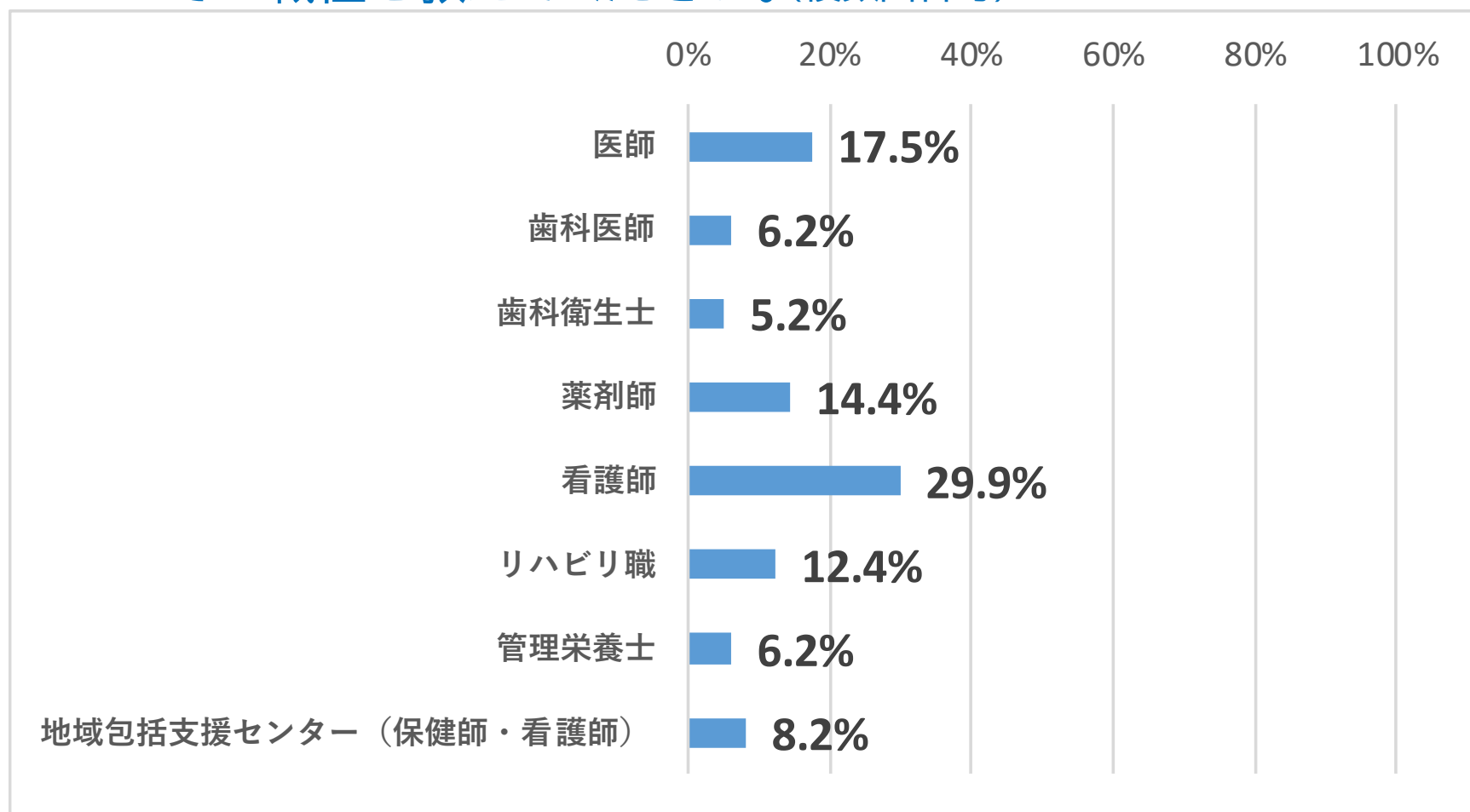
【歯科からの提言】

- ・歯科から医師へ問い合わせる際、医師からも口腔状態や嚥下状態の助言を記載してほしい

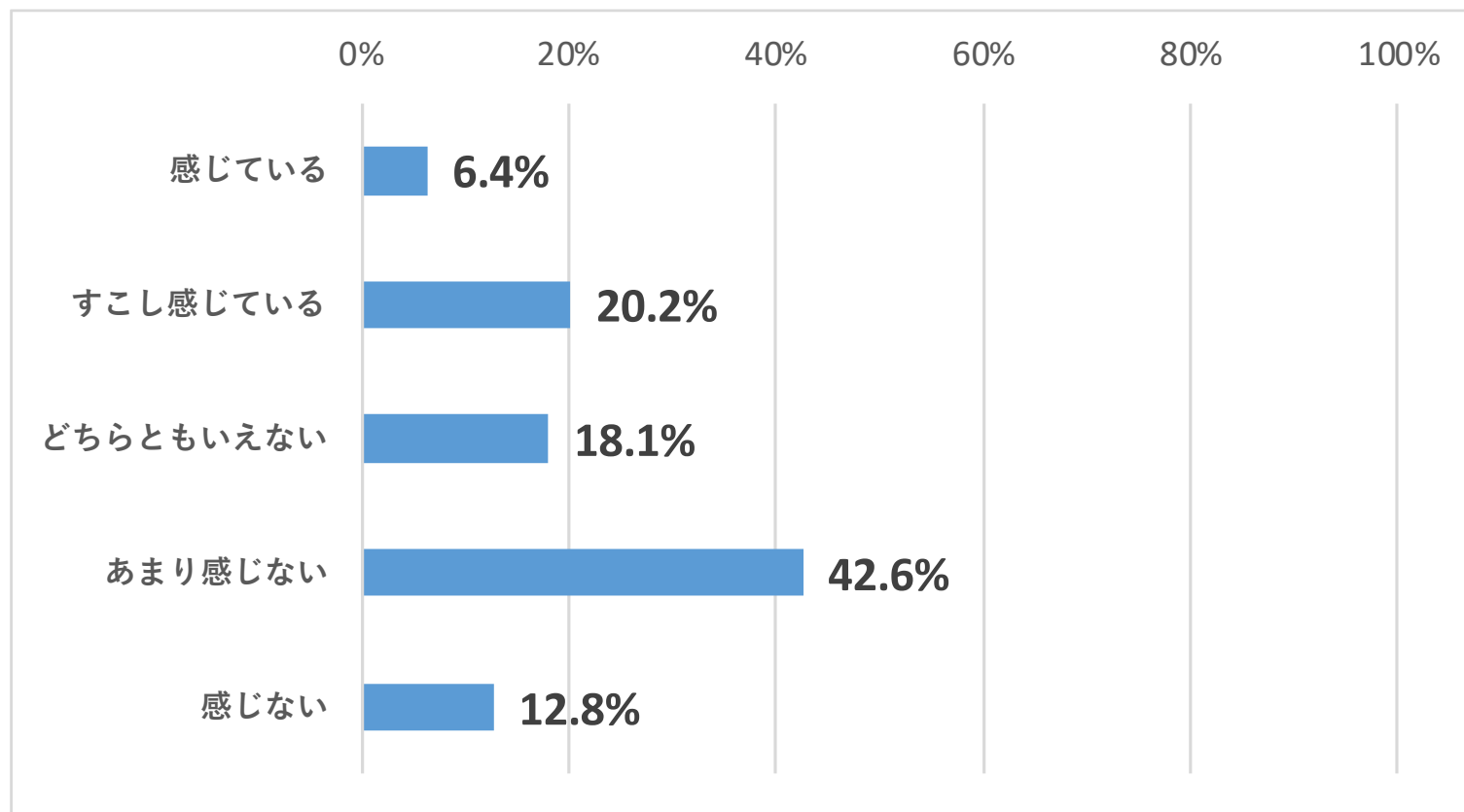
Q13 気兼ねなく相談できる専門職はいますか(複数回答可)



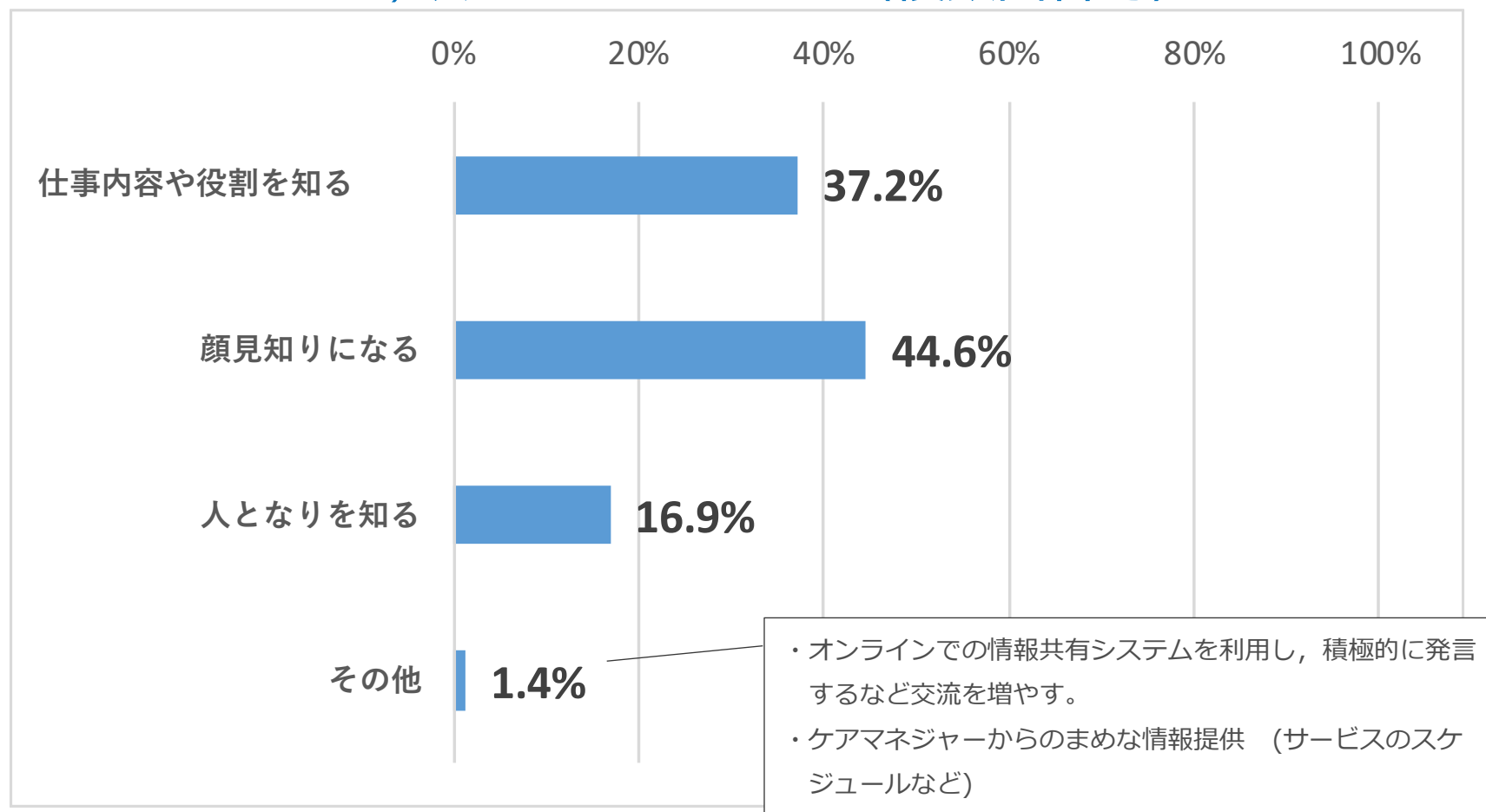
Q14 Q13で「2. 医療職の他職種」と回答した方に伺います。
その職種を教えてください。(複数回答可)



Q15 介護職に相談したり話をすることに、敷居が高いと感じますか



Q16 医療職・介護職間の敷居を下げるために行なった方がよいと思うことは、次のうちどれですか(複数回答可)



Q17 Q16で回答した医療職・介護職間の敷居を下げるために行なった方がよいことについて、具体的な方法があれば教えてください

【仕事内容や役割を知る】

- ・求められる役割の確認。依頼主に聞く。
- ・顔の見える関係会議等への参加と議題にミニ職種紹介を継続して加えていく。必要な職種間との意見交換会など。
- ・自己紹介
- ・業務内容や、成功例、困難事例、課題を聞いてみたい
- ・利用者様、患者様及び家族共に連絡、連携を図り、まめに話し合いを持つ
- ・事業所に挨拶に行って、自分がどういう仕事ができるかを話す
- ・どこに行けば良いのか、連絡先、どんなことを相談していいのかわからない
- ・介護職員さんはお忙しいので、相手の都合の良さそうな時間帯に連絡をとり、情報共有する事により、患者様の意向や薬の内容の共有をしています
- ・医療従事者も介護の現場で体験実習をする
- ・仕事内容を知る

医療従事者調査

- ・多職種連携会議で顔見知りになる
- ・一緒に仕事をする
- ・話しやすい環境づくり
- ・電話で、いろいろな質問を試みる
- ・顔の見える関係会議、ケースカンファレンスなど
- ・気になることがあれば連絡する
- ・コミュニケーションプラットフォーム
- ・どのような仕事をどこで行っているのか分かりやすく教えてほしい
- ・顔の見える関係会議
- ・介護度の高い方の場合、なるべく介護が入っている時間の前後に訪問診療に行くように調整しています
- ・相互に相手の仕事内容について勉強することに尽きる
- ・顔あわせ会議
- ・管理栄養士に食事介護もしてもらいたい

医療従事者調査

- ・会議や打合せに参加する。対面web
- ・共通の話題について多職種で語らう。例えば、映画「まちをつなぐもの」を参加者で鑑賞し、
①登場する自身の職種について感想や意見交換してみる ②自身が仮に利用者の立場だったらこうして欲しいこれが嬉しかったなど感想、意見を交換してみるのはいかがでしょうか。
- ・グループワーク
- ・ホワイト社会化の中でのかつての部活のような顔会議は困難かと思いますが、場作りは必要かと思います
- ・電話、対面で話す機会を増やす
- ・一度、お会いすることで、お互いに細かな相談を電話等で行える
- ・事業所に挨拶に行く
- ・定期的な担当者会議の開催
- ・患者さんの事で得た情報や変化を共有する
- ・交流会や勉強会、担当者会議への参加

医療従事者調査

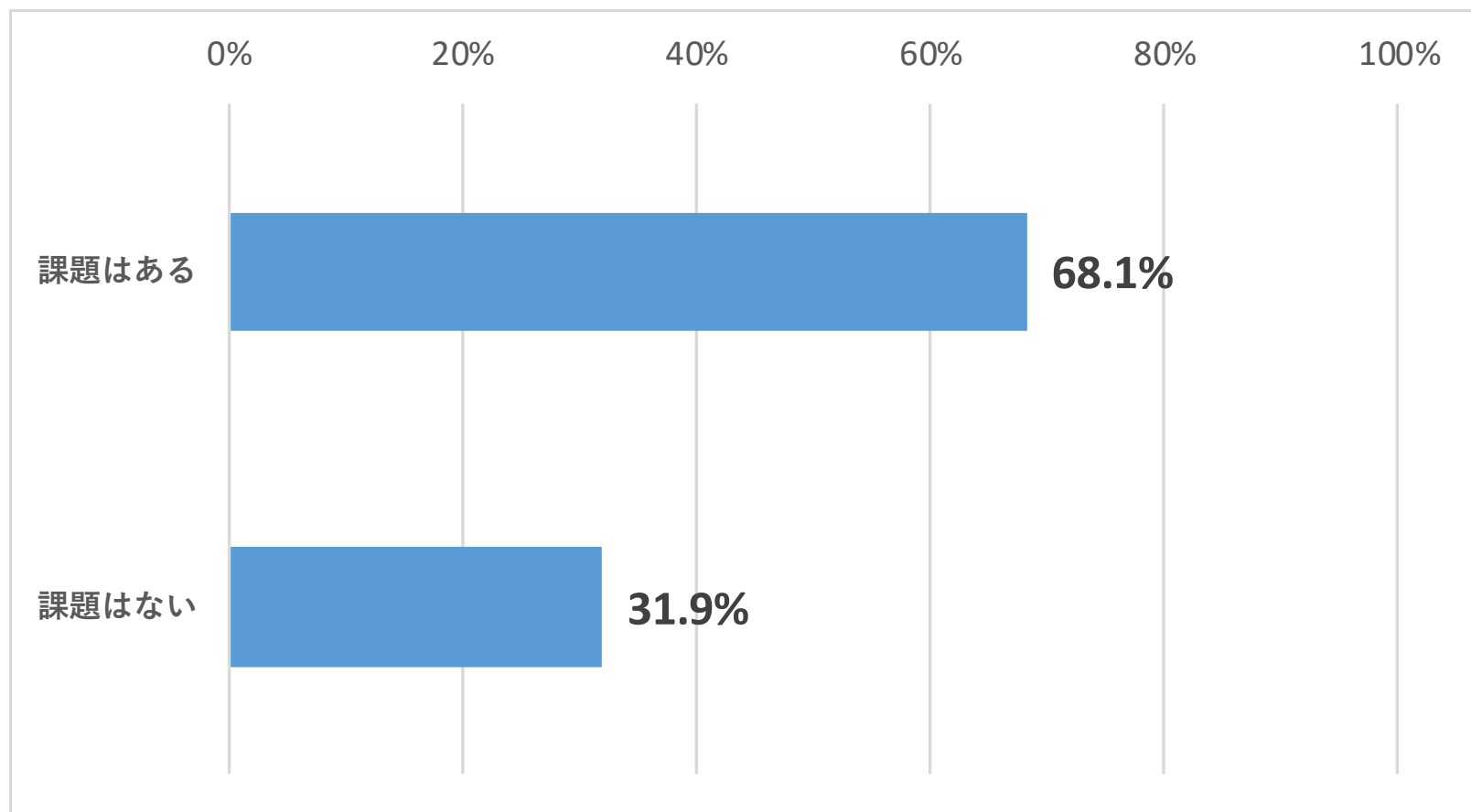
- ・毎回の挨拶や話が通る人の把握
- ・連携会議に積極的に参加する
- ・一緒に仕事をする。
- ・カンファレンス
- ・顔の見える関係会議、ケースカンファレンスなど
- ・定期的に患者宅に同行する
- ・敷居が高いと感じたことは無い
- ・気軽に声かけを行い、清掃ツールの紹介や簡潔に出来る方法などを折に触れて話していく
- ・分かりやすい窓口が必要
- ・いろいろな職種な人とあえる機会をつくって欲しい
- ・顔見知りになると話しやすくなり相談等もしやすくなると思う
- ・定期的でフランクな懇親会を開催する
- ・実際の症例について協議する、サービス担当者会議で会う、専門職団体での交流
- ・顔あわせ会議
- ・その地域だけでの多職種食事会

医療従事者調査

- ・相手の話の中から考え方などの真意を読み取る
- ・アイスブレイク
- ・仕事内容を聞く
- ・医療職、介護職の前に、一人の人間である事を自覚する
- ・事業所に挨拶に行く。礼儀正しい普段からの行動
- ・交流会や勉強会、担当者会議への参加
- ・交流できる会を企画する
- ・一緒に仕事をする
- ・顔の見える関係会議、ケースカンファレンスなど
- ・カナミック活用
- ・実際の症例について協議する、サービス担当者会議で会う、専門職団体での交流
- ・多職種合同レクリエーション

- ・敷居が高くて話しにくいと感じたことが無いので、日常的に何かしたいと考えたことがない
- ・最近は担当者会議が減っている様に思うのですが
- ・薬局側が色々お手伝いできることを知らない他職種がおおいので、その辺りをどうしたら良いかと思いますが…
- ・飲み会、飲めないのですが、語り合うことの大切さ人となりも分かるので
- ・顔あわせ会議

Q18 病院との連携について、課題はありますか。



Q19 Q18で「1. 課題はある」と回答した方に伺います。その内容を教えてください。

- ・救急搬送を要すると判断した時の報告の仕方
- ・患者さんがドクターに治療内容を質問し難い場合もあると感じております
- ・殆ど交流がない
- ・入院時の栄養情報が中々聞けない
- ・大学病院等だと、医師までの距離が遠い
- ・他職種連携はある程度同等の発言権を有して初めて成り立つものなので先生絶対主義ならやらない方がいい。病院で引き取りみてください
- ・退院時共同指導などに行く機会がない
- ・密な共有、情報交換
- ・粉碎指示を疑義して追加したが、次で反映されてない
- ・特に大きな病院ですと、医師や介護職員さんと意志の疎通がしにくいと感じます
- ・診察時に患者さんへ何を伝えたかなどの記録がなく、医師の意向が確認できない。薬局が情報提供していても伝わっていないことが多く、報告書など読まれていないと感じる。
- ・問い合わせをしても回答が直ぐに来ない

医療従事者調査

- ・病院の診療が縦割りすぎて、複数の問題で頼診療をしても、一部の問題にしか対処してくれない
- ・受診、転院など受け入れ困難な時
- ・報告書を見ていただけてないと感じる
- ・入院させたいのにすぐに入院させてくれない
- ・医者と相談しやすい環境づくり在宅だけを見ているのとは違い病院、クリニックでの患者さんも診ているため連携が大変なこともある
- ・医師が忙しいのでお話する機会が少ないです
- ・当該薬局の在宅医療の取り組みを知られているのか疑問
- ・病院でどのような治療を行ってきたのかなど連絡がとりにくい
- ・退院時カンファレンスに出れない
- ・なかなか連携が取りづらい
- ・統一された連絡手段の確保
- ・この先改善する事は、必ずあると思うから

医療従事者調査

- ・患者に対しては医科歯科連携は必要と考えるが、各々の立場への理解が乏しく難しい局面もある。医科と歯科で使用する電子カルテや診療記録のシステムが異なる場合が多く、情報の共有がスムーズに行えない事やセキュリティやプライバシー保護の観点から、データ連携が難しい場合も多い。また、医科と歯科の両方に精通した人材が不足しており、連携の重要性を理解する教育機会が限られている。医科側の口腔健康への認識不足もあり、患者の口腔状態を把握していないことと、口腔ケアの重要性が十分に認識されていないと感じる。また、診療報酬制度の制約があり、周術期口腔機能管理などの制度はあるものの、制度の活用が進んでいない。

Q20 医療・介護連携へのご意見, ご提案がございましたら, ご記入ください。(自由記載)

- ・業務上、病院との連携は無いので、課題となるものがない
- ・顔の見える会議や、他の会議も夜遅い時間は出にくい。8:30には終了して欲しい
- ・お互いを、リスペクトする事です
- ・可能な連携先がわからないため、それぞれの職場に情報を提供してほしい。また、それが宣伝にも繋がると思う
- ・薬局は在宅に関わっていても情報がこなかったり、会議に呼ばれなかったりすることもありました。まずは薬剤師も一員であると認識してほしい。オンライン情報共有システムなどでの連携が一般的になるとよいと思います。
- ・病院への、出張顔会議をどんどんやりましょう
- ・柏地域医療連携センターは、弱者目線での支援が不足しており、積極的に困っている人を探し、地域の様々な支援機関と連携する必要がある。センター職員は、情報弱者や社会的弱者に積極的に接触し、医療支援を提供すべきである。

3 令和7年度介護サービス実態調査結果 (概要版)

○調査概要
対象

…介護保険サービス従事者(介護支援専門員, 訪問介護員, 介護職員, 生活(支援)相談員・福祉用具相談員, 訪問看護師, 施設看護師, 保健師, リハビリ職等)約8,000名

方法

…WEBフォーム

実施期間

…R7.9.12~R7.10.14

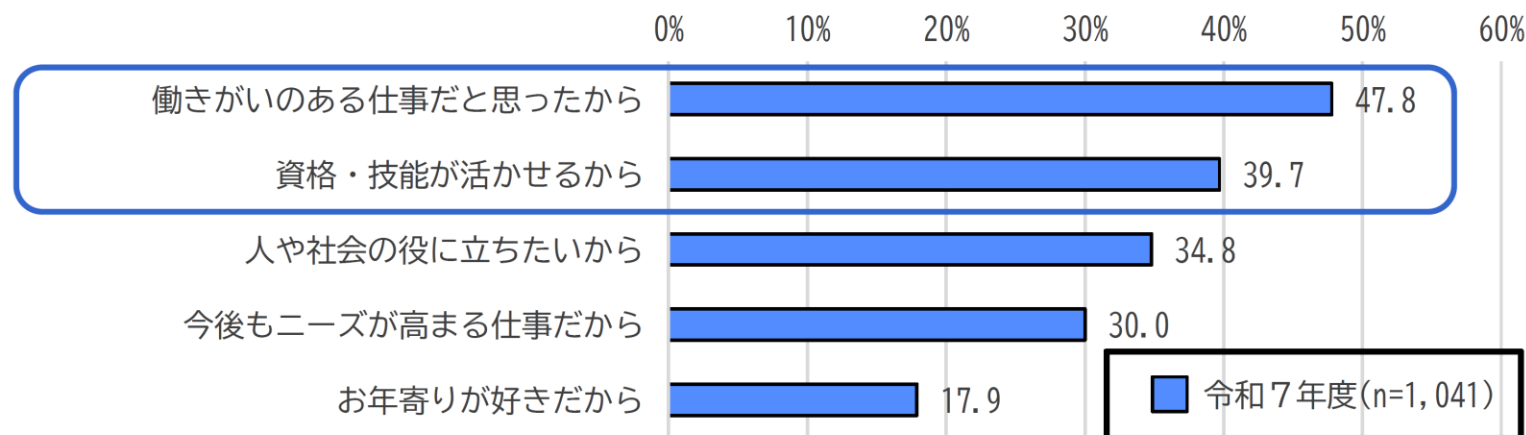
回答数

…1,041名(回収率13.0%)

介護サービス実態調査

(1) 介護職種を選んだ理由（上位5項目）

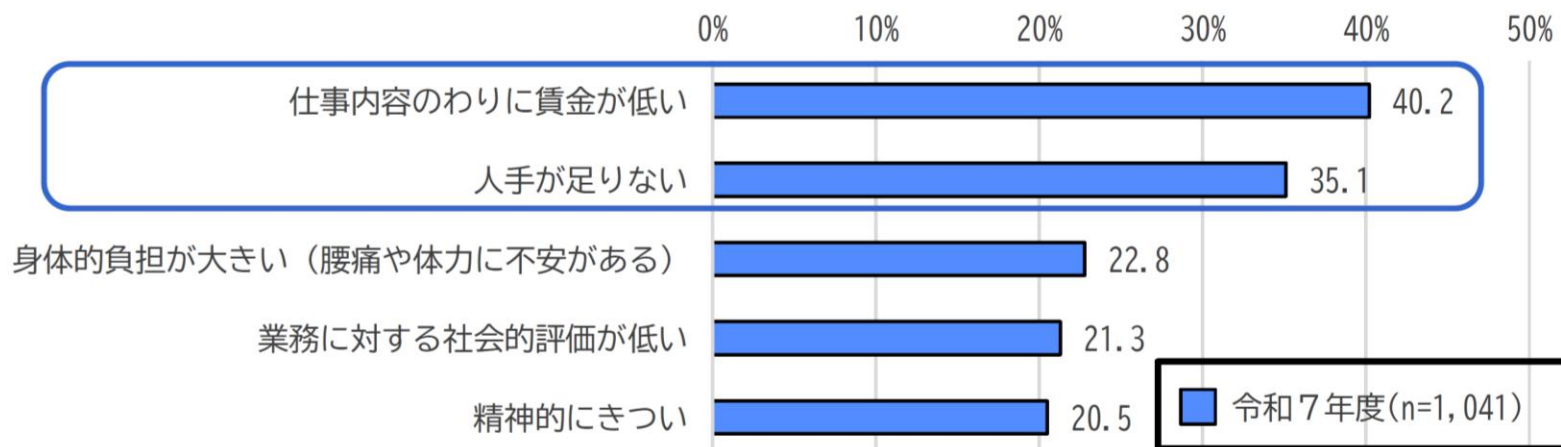
介護職種を選んだ理由について、「働きがいのある仕事だと思ったから」が約5割、「資格・技能が活かせるから」が約4割となっています。やりがいや社会的意義を感じられる職種として受け止められているとともに、専門性やこれまでに培った資格・技能を活かせる職業として認識されている状況がうかがえます。



介護サービス実態調査

（２）働く上での悩みや不安、不満等について（上位５項目）

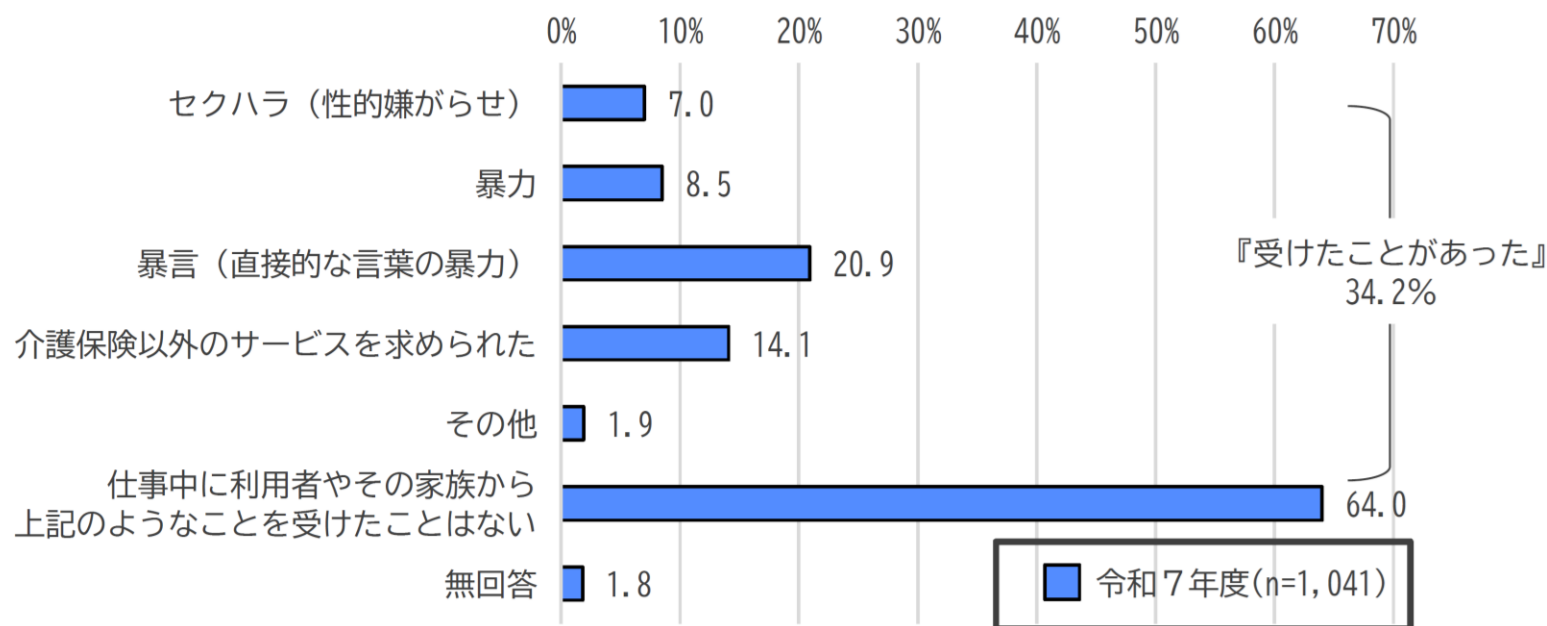
悩みや不安、不満等を感じていることについて、「仕事内容のわりに賃金が低い」が約４割、「人手が足りない」が３割を超えています。処遇面に対する不満と慢性的な人手不足が大きな課題となっており、職員一人ひとりの業務負担の増大が懸念される状況がうかがえます。



介護サービス実態調査

(3) カスタマーハラスメント

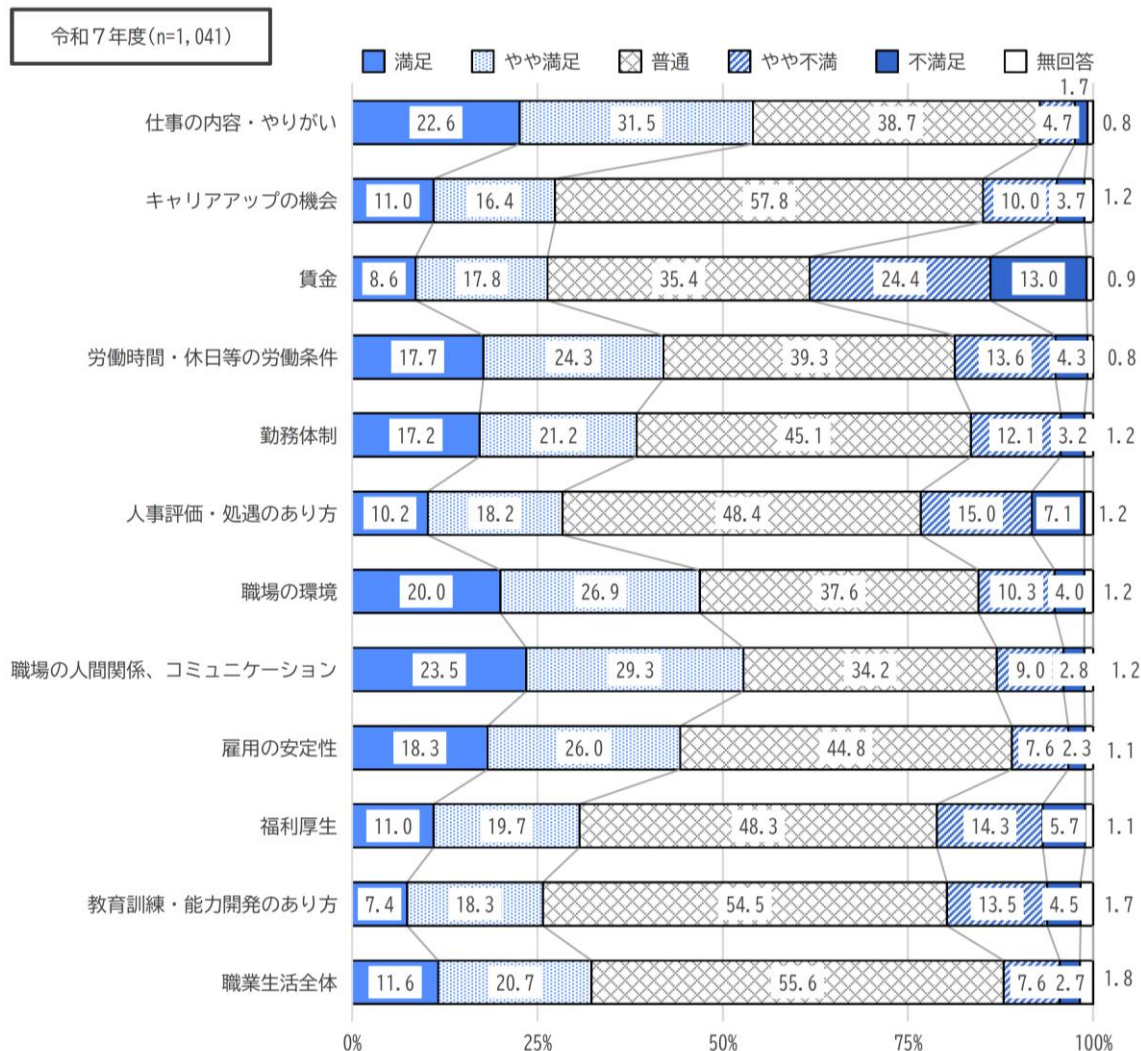
暴言（直接的な言葉の暴力）を受けたなど、利用者やその家族からハラスメントを受けたことがあると回答した介護従事者は3割を超えています。精神的負担を受ける場面が少なくなく、安心して働ける職場環境の確保が喫緊の課題となっている状況がうかがえます。



介護サービス実態調査

(4) 仕事の満足度

「仕事の内容・やりがい」や「職場の人間関係、コミュニケーション」では満足度が高くなる一方、「賃金」や「人事評価・処遇のあり方」について満足度が低くなっています。仕事の価値や専門性が適切に処遇や評価に反映される仕組みづくりを進めることが、人材の確保・定着の観点から重要であることがうかがえます。



介護サービス実態調査

（５）仕事（職種）に関する今後の希望

今の仕事（職種）を続けたいと考えている人は約６割となっています。多くの介護職員が現在の業務に一定のやりがいや意義を感じ、継続して働きたいという意向を持っている状況がうかがえます。

